

平成25年度 業務実績報告書

平成26年6月

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター（病院法人）

I 法人の概要

1 法人の現況

「地方独立行政法人岐阜県総合医療センター」は、岐阜県の政策医療を担う県全域の中核基幹病院として平成18年11月に新築オープン、平成22年4月地方独立行政法人化した。

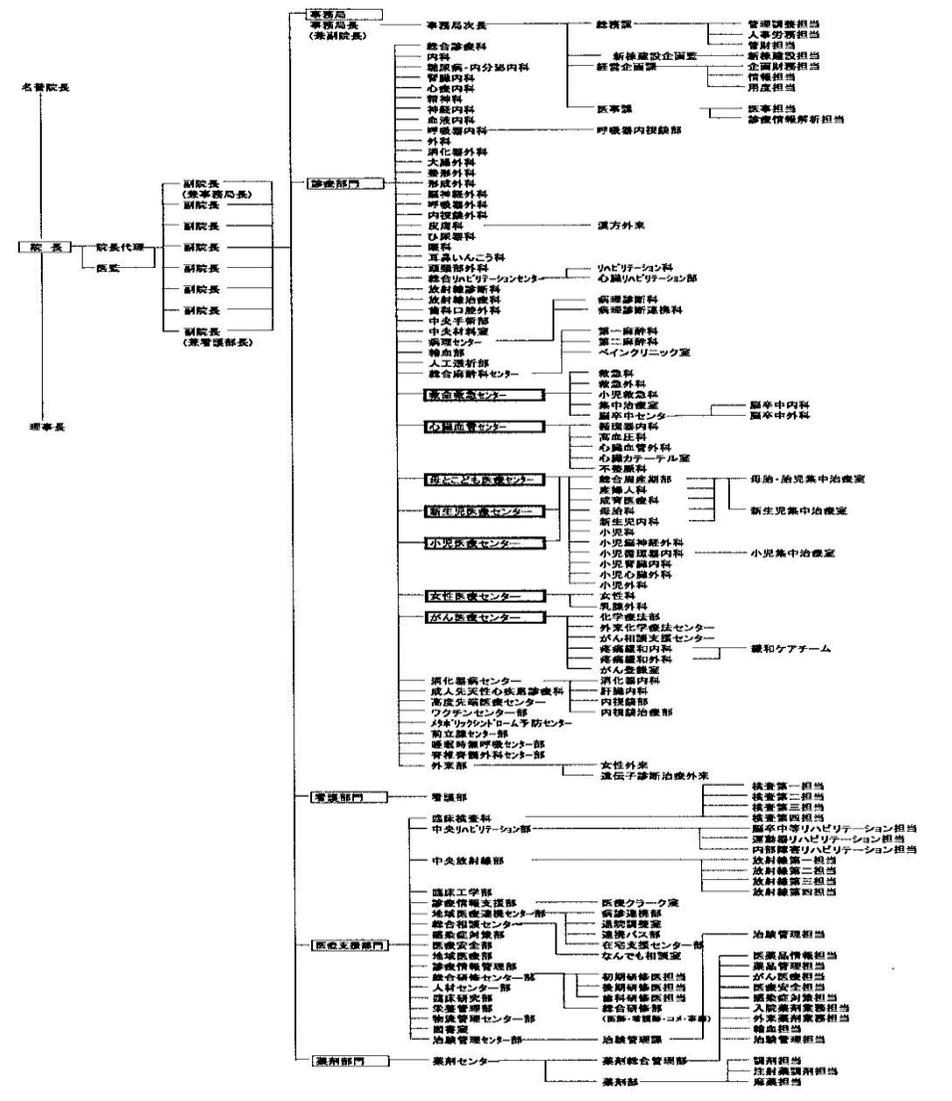
同医療センターの大きな特徴は、高度で先進的で最善の医療を、より効率的に提供するためにチーム医療を中核に据え、急性期を中心とした5つの重点医療（救命救急医療、心臓血管医療、周産期医療とこども医療、女性医療、がん医療）を定め、7つのセンター（救急救命、心臓血管、母とこども、小児、新生児、がん、女性）方式を確立している。

- (1) 法人名称 地方独立行政法人岐阜県総合医療センター
- (2) 所在地 岐阜県岐阜市野一色4-6-1
- (3) 設立年月日 平成22年4月1日
- (4) 役員の状況

	氏名	役職
理事長	渡辺 佐知郎	センター院長
副理事長	富田 武司	センター副院長兼事務局長
理事	滝谷 博志	センター院長代理
理事	山田 新尚	センター医監
理事	直原 修一	センター副院長
理事	高木 久美子	センター副院長兼看護部長
理事	梅村 将夫	国立大学法人岐阜大学地域科学部客員教授
理事	林 恒之	学校法人佐々木学園園長
監事	小森 正悟	弁護士（小森正悟法律事務所）
監事	川村 一孝	公認会計士・税理士（川村会計事務所）

(5) 組織図

平成25年4月1日現在



(6) 職員数(平成25年4月1日現在)

1, 209人(常勤942人、非常勤267人)

医師197人(常勤157人、非常勤40人)、看護師等651人(常勤571人、非常勤80人)、
 コメディカル175人(常勤159人、非常勤16人)、事務等186人(常勤55人、非常勤131人)

2 法人の基本的な目標

(1) 中期目標の前文

岐阜県総合医療センターにおいては、県民が身近な地域でいつでも安心して良質な医療を享受できるように、地域の基幹病院として地域の医療水準の向上、住民の健康と福祉の増進に取り組んできた。

しかし、少子・高齢化の進展、医療技術の高度化・専門化、疾病構造の変化、医療需要の高度化・多様化などにより、近年の医療を取り巻く環境は大きく変化している。

特に、産科・小児科の医師不足、手厚い看護体制の導入に起因する看護師不足、診療報酬のマイナス改定等、医療、病院経営を取り巻く状況は一段と厳しさを増している。

一方、県民の健康への関心はきわめて高く、今後、これまで以上に、質の高い医療サービスを求められることが十分に予想される。

これからも、岐阜県総合医療センターとして、このような、医療制度や社会経済情勢の変化に迅速に対応し、県民が必要とする医療をより良くかつ継続的に提供することができるように、地方独立行政法人に移行することとし、この中期目標において、地方独立行政法人岐阜県総合医療センター(以下「法人」という。)の業務運営の目標や方向性を示すこととする。

地方独立行政法人化後は、地方独立行政法人制度の特徴を十分に活かした、自律性・機動性・透明性の高い病院運営に努め、二次医療圏はもとより、三次医療圏の中核的な病院として、県下全体を視野にいれて、県民が必要とする安全・安心・良質な医療を提供するとともに、県全体の医療水準の向上を図り、もって県民の健康の確保及び増進に寄与していくことを強く求めるものである。

(2) その他法人の特徴として記載すべき事項

岐阜県総合医療センターの理念は、「県民に信頼され、患者本位の安全で良質な全人的医療の提供」で、①岐阜県の基幹病院としての急性期を中心とした医療を担当する。②科学的根拠に基づく医療の提供と医療安全に務める。③必要な医療情報を広く公開し、医療の信頼性を確保する。④地域の医療機関や福祉施設との連携を重視する。⑤迅速かつ確実な医療とするとともに、効率的な病院経営に努める⑥医学的知識、医療技術の研鑽に努め、医学や医療の進歩に寄与することなどを基本方針としている。

3 設置する病院の概要

(1) 病院名称

岐阜県総合医療センター

(2) 所在地

岐阜県岐阜市野一色4-6-1

(3) 沿革

当院は明治42年岐阜衛戍病院として創設。岐阜陸軍病院、国立岐阜病院を経て昭和28年7月岐阜県に移譲され、病床数130床の岐阜県立岐阜病院として開院しました。

昭和28年 7月	岐阜県立岐阜病院として開院	病床数130床
昭和29年10月	総合病院の承認を受ける	病床数259床
昭和43年 2月	救急告示病院に指定	
昭和45年 6月	特殊放射線棟新築	
昭和47年 8月	東病棟新築	病床数370床
昭和49年 3月	厚生省臨床研修病院に指定	
昭和58年 9月	西病棟新築	病床数500床
昭和58年11月	救命救急センター開設	
昭和63年 3月	中央診療・新生児センター棟新築	病床数522床
平成 4年 2月	特殊放射線棟増築	
平成 4年 7月	病院医療総合情報システム導入	
平成 8年 8月	新生児センター3床増床	病床数525床
平成 8年12月	基幹災害医療センターに指定	
平成 9年 4月	院外処方箋実施	
平成 9年 7月	結核病床を廃止し、一般病床に変更	病床数530床
平成11年 8月	クリニカルパス導入	
平成11年11月	25床増床	病床数555床
平成13年 6月	病診連携室(平成14年4月より病診連携部(改組)設置)	
	開放型病床(12床)開設(平成14年1月より27床)	
平成14年 3月	(財)日本医療機能評価機構による病院機能評価の認定証取得	
平成14年 4月	女性専用外来開設	
平成14年10月	医療安全部開設	
平成16年 4月	新医師臨床研修病院に指定	
平成16年 4月	臨床研修センター設置	
平成17年 1月	地域がん診療連携拠点病院に指定	

平成18年11月	本館新築。岐阜県総合医療センターへ名称変更。	病床数590床
	岐阜県立病院医療総合情報システム(電子カルテ)導入	
平成19年 8月	岐阜DMAT指定病院に指定 (DMAT:災害派遣医療チームの略)	
平成19年 9月	7対1看護体制を取得	
平成20年 2月	総合周産期母子医療センターに指定	
平成20年 9月	地域医療支援病院に指定	
平成21年 4月	DPC(入院包括診療報酬制度)対象病院に指定	
平成22年 1月	情報交流棟・管理棟改修工事完成	
平成22年 4月	地方独立行政法人岐阜県総合医療センターへ移行	
平成23年 4月	患者駐車場500台の整備	
平成24年 3月	DPC医療機関群II群の適用	
平成24年 4月	へき地医療拠点病院の指定	
平成25年 4月	PICU(小児集中治療室)2床稼働	
平成25年 7月	ハイブリッド手術室新設	

(4) その他

- ① 病床数 一般病床 590床
- ② 主な役割及び機能
- 高度で先進的な急性期医療センター機能
 - 救命救急センターを設置する第三次救急医療施設
 - 災害時に県下を対象に指定された基幹災害医療センター及びDMAT指定病院
 - 地域がん診療連携拠点病院
 - 臨床研修指定病院
 - 地域医療支援病院
 - へき地医療拠点病院
- ③ 重点医療
- 5つの重点医療と7つのセンターによる高度先進医療の提供
- 救命救急医療(救命救急センター)
 - 心臓血管疾患医療(心臓血管センター)
 - 周産期医療(母と子ども医療センター、小児医療センター、新生児医療センター)
 - がん医療(がん医療センター)
 - 女性医療(女性医療センター)

④ 診療科目(56)(平成25年4月1日現在)

総合診療科/内科/糖尿病・内分泌内科/循環器内科/不整脈科/腎臓内科/神経内科/消化器内科/肝臓内科/血液内科/呼吸器内科/小児科/小児循環器内科/小児腎臓内科/小児心臓外科/小児外科/小児脳神経外科/新生児内科/外科/消化器外科/整形外科/脳神経外科/心臓血管外科/呼吸器外科/乳腺外科/皮膚科/泌尿器科/眼科/耳鼻いんこう科/リハビリテーション科/放射線診断科/放射線治療科/歯科口腔外科/心療内科/精神科/病理診断科/麻酔科/救急科/小児救急科/疼痛緩和内科/疼痛緩和外科/成人先天性心疾患診療科/臨床検査科/形成外科/母胎科/救急外科/脳卒中内科/脳卒中外科/内視鏡外科/産婦人科/成育医療科/女性科/大腸外科/頭頸部外科/高血圧科/病理診断連携科

⑤ 専門外来(33)(平成25年4月1日現在)

膠原病・リウマチ内科外来/もの忘れ外来/メタボリック生活指導外来/フットケア外来/糖尿病生活指導外来/不整脈外来/ペースメーカー外来/心臓リハビリテーション外来/禁煙外来/脚外来/血管外来/腹膜透析外来/小児アレルギー外来/小児脳波外来/小児神経・重症心身障害児外来/小児神経外来/小児発達外来/小児腎臓外来/成人先天性心疾患外来/緩和ケア外来/頭痛外来/脊椎外来/リウマチ外来/手の外科外来/女性外来/漢方外来/学童外来/睡眠時無呼吸外来/不眠外来/痛み外来/顎関節外来/周術期口腔ケア外来/遺伝子診断治療外来

II 全体的な状況

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

1-1 診療事業

岐阜県総合医療センターは、岐阜地域の基幹病院として近隣の医療機関との役割分担・連携のもと、高度・先進医療を推進するため、「救命救急医療」、「心臓血管疾患医療」、「周産期医療とこども医療」、「がん医療」、「女性医療」を5つの重点医療として位置づけ、救命救急センターをはじめとする7つのセンターを柱として急性期医療及び政策医療等の県民に必要とされ、信頼される医療を提供してきた。

より質の高い医療を提供するためには高度先進医療機器の整備が必要であり、主要な高額医療機器の保有状況及び更新時期等について基本的な計画を作成、院内委員会等で確認し、また当センターの診療方針・財務状況等経営的な視点も考慮しつつ新規の高度先進医療機器についても整備していくこととした。

また、当センターの医療を支える医師・看護師・コメディカル等の優秀な医療スタッフを確保するため、医師補助・看護補助体制を強化した長時間勤務の改善や、地方独立行政法人化のメリットを活かした柔軟な雇用制度に積極的に取り組み、必要な職員の採用を行った。併せて女性職員の働きやすい職場づくりに向け「女性職員が継続して働ける病院づくり委員会」での活動や院内保育の充実など環境整備を実施した。

職員の質の向上については、岐阜大学病院等国内外先進病院への医師の研修派遣者数を増やし医療技術の向上に努めたほか、学会発表・参加をはじめ各種職種における資格取得や研修・セミナーへの参加を積極的に支援した。

また、院内感染防止対策として、感染制御チーム（ICT）が中心となり、院内感染防止マニュアルを改訂し、環境面における改善指導を行うとともに「感染制御システム」を導入し、感染状況や臨床経過、治療状況等を多面的かつ迅速的に把握し、効果的な感染制御できる体制を目指している。

患者・住民サービスについては、手術の内容に応じた手術枠の弾力的運用及び外来手術の増加により、手術件数は年間477件（総数は6,506件）が増加した。

病院環境については、平成18年度完成の本館に続き、平成21年度には情報交流棟・管理棟が完成し、平成22年度は旧病棟等の解体と駐車場を主とする外構工事を実施し、平成23年5月から患者用駐車場500台を整備することで、慢性的な駐車場不足を解消できた。

また、「総合相談センター」に医師及び看護師の他、コンシェルジュを設置し、患者からの各種相談を一体的に受け付け対応するなど、利便性の向上ができた。

「岐阜県総合医療センター運営協議会」を開催し地域住民の代表者との意見交流を図るとともに、患者満足度調査を実施し、病院運営に反映した。

診療体制の充実については、従来から患者の需要に的確に対応できる医療を目指しており、「大腸外科、精神腫瘍科、臨床栄養科、ホスピタルクオリティセンター部」等を増設し、57診療科、33の専門外来により各種症例に的確に対応される体制とした。

近隣医療機関との連携については、その役割分担を明確化し紹介率64.2%、逆紹介率78.1%を達成した。

周産期医療の夜間・休日診療には周辺地域の開業医9名の協力を得て、小児救急医療拠点病院として

は各務原市医師会9名と連携、また岐阜市からの要請を受け小児夜間輪番にも参加し、その役割を果たした。

重点医療については、冒頭で記述したとおり、5つの重点医療を定め7つのセンターを中心として地域の基幹病院としての機能を果たした。

1-2 調査研究事業

提供する医療の質及び県内の医療水準の向上等を図るため、治験事業や調査研究事業に積極的に参画できる体制を整備するため「治験管理センター部」を設置し、受託件数は29件となり、目標である28件を上回る結果となった。

また診療情報の活用として、電子カルテ等診療情報から抽出したDPCデータを分析し、診療科毎での症例検討等に活用した結果、DPC参加病院として対前年DPC収益の102.2%増に結びついた。併せて診療材料についても、購入価格情報を収集し他医療機関のデータとの比較を行い価格交渉に活用した結果、コスト削減ができ効率的な経営に寄与することができた。

保健医療情報の提供については、県民を対象とした健康祭の開催やホームページを一新し、ホームページコンテンツ（各センター、診療科別に症例数・治療内容・治療実績等）を充実した。また、病院広報誌「けんこう」や病診連携部PR誌「すこやか」の発行に努めるなど広く情報発信を行った。

1-3 教育研修事業

質の高い医療従事者の養成として、新しい医療技術の修得・研究のため、国内外に医師を派遣する体制をとり支援した。

医師の卒後臨床研修等の充実について、岐阜大学病院との連携を密にしながら当院独自の研修プログラムをデザインし、充実した研修を推進したことで、後期研修医33名の確保につなげることができた。

また、医学生他、薬剤・看護・臨床検査・リハビリ等の学生の実習についても積極的に受け入れており、人材確保の場としても重要な機会であると位置づけ、多忙な業務と並行して取り組んだ。

併せて地域医療への協力・支援として、周辺市消防や自衛隊他の救命救急士養成実習に積極的な支援を行った。

1-4 地域支援事業

地域医療への支援では、高度先進医療機器の共同利用や共同診療の推進を行った。

また、医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援として、県とのへき地医療支援機構運営委託契約による依頼をうけて、高山赤十字病院、県立下呂温泉病院、下呂市立金山病院等への人的支援を実施した。

1-5 災害発生時における医療救護

当センターは県保健医療計画において、県下における「基幹災害医療センター」として指定されており、その機能を発揮するための避難訓練・トリアージ訓練・応急処置訓練を実施した。災害派遣医療チーム (DMAT) の育成について、国主催の研修に派遣するなど目標である5班体制に対し引き続き2班体制を確保した。

これらをはじめ住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組みについては、年度計画に掲げた目標を概ね順調に達成することができた。

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

2-1 効率的な業務運営体制の確立

理事長の強力なリーダーシップの下、地方独立行政法人化を契機に医療環境の変化や県民の医療需要に的確に対応できるよう、弾力的で迅速な診療体制の見直しを進めるとともに、機動的、効率的な病院運営を図るため、役員会議、幹部会議、管理会議等を通じて迅速に課題に取り組み解決してきた。

平成24年度に設置した新棟建設企画監及び新棟建設担当において、平成27年度完成に向けて、重症心身障がい児病棟の建設に着工するとともに、運営計画を策定した。

2-2 業務運営の見直しや効率化による収支改善

業務運営の見直しについて、医療機器・診療材料等の効率的な調達を目的として検討委員会を設置し、診療材料の採用、医療機器の購入、薬剤の購入方法について、岐阜県総合医療センターの医療方針に従って、コスト削減努力を強化することを意思決定し、効果的で効率的な医療機器等の調達を実施した。

収入の確保については、「断らない医療」、「高度・先進医療の推進、充実」、「院内外の快適・安心・安全な環境の整備」に取り組んだ結果、県民からの信頼を得られ、外来患者数は、対前年105.7%と増加し、1日平均診療単価も102.3%と増加した。入院患者数も100.9%と増加し、1日平均診療単価は104.3%と増加した。また、年間診療額では外来で108.2%、入院で105.3%と昨年度と引き続き大幅増となった。特に入院診療額の伸びには、入院病棟における90.3% (対前年100.3%) の高い病床利用率や手術件数の増が要因のひとつであった。

3 予算、収支計画及び資金計画

3-1 決算 (平成25年度)

収入は、昨年度に比較して営業収益における医業収益の大幅な増額 (約11億2千万円) に加えて、資本収入も長期借入金の借り換えなどにより大幅な増額 (約17億5千万円) となり、収入全体で約31億1千万円の増額となった。また、支出は、昨年度に比較して営業費用における医業費用の大幅な増額 (約14億1千万円) と資本支出も償還金による大幅な増額 (約17億6千万円) により、支出全体で約32億7千万円の増額となった。

これらの結果から、年度計画の約15億1千万円の収入超過に対して、約14億5千万円の収入超過となった。

○収入関係数値

			H25年度	H25/H24 (%)	H24年度	H24/H23 (%)	H23年度
外来	外来患者数	人	314,349	105.7	297,289	104.2	285,186
	1日平均患者数	人/日	1,288	106.2	1,213	103.8	1,169
	年間診療額	千円	4,671,114	108.2	4,318,614	105.5	4,091,729
	1日平均診療単価	円/日	14,860	102.3	14,527	101.2	14,348
入院	入院患者数	人	194,504	100.9	192,695	99.7	193,205
	1日平均患者数	人/日	533	100.9	528	100.0	528
	年間診療額	千円	14,129,597	105.3	13,416,235	107.3	12,508,247
	1日平均診療単価	円/日	72,644	104.3	69,624	107.5	64,741
	平均在院日数	日	12.6	100.8	12.5	93.3	13.4
	病床利用率	%	90.3	100.3	90.0	100.6	89.5

一方、従前からの課題であった未収金への対応については、その発生防止対策として、クレジットカード決済の導入や入院説明室にて医療相談員から入院決定患者に対する入院費用や福祉制度の説明・支援などを積極的に実施し成果を出している。また、発生した回収困難な未収金対策として弁護士法人に委託し、毎年着実に成果が出てきている。

費用の削減については、DPCデータの分析やコンサルタントを活用し、診療科ヘデータ等をフィードバックするなど病院全体でコスト削減に対する意識を醸成し継続的に取り組んでいる。

3-2 収支計画に対する実績（平成25年度）

収支計画において、収益全体は約208億7千万円で年度計画の約207億円に対して、約1億7千万円の増額であった。費用全体では約203億1千万円で年度計画の約200億5千万円に対して、約2億6千万円の増額となった。その結果、年度計画の純利益約6億5千万円に対して約5億6千万円となり、約9千万円減少した。

経営目標とする各経営比率は全ての項目で達成できた。

中期計画については、経常収支比率（経常収益／経常費用）が103.2%と2ヵ年連続して100%以上を達成し、人件費比率（給与／医業収益）及び材料費比率（材料費／医業収益）も目標数値を達成できた。

○経営指標比較

	H22 実績	H23 実績	H24 実績	H25 計画	H25 実績	中期計画
経常収支比率	97.2%	98.8%	103.1%	103.1%	103.2%	100.0%
人件費比率	47.4%	47.2%	47.2%	47.2%	47.4%	50.0%
材料費比率	29.2%	29.0%	27.9%	27.9%	29.0%	30.0%

3-3 資金計画に対する実績（平成25年度）

業務活動における収入については、約203億1千万円と昨年度に比較して約11億5千万円増額したが、年度計画（約207億1千万円）と比較し、約4億円の減額となった。

投資活動による収入は、年度計画に対して約6千万円の減額となったが、財務活動による収入は、ほぼ年度計画どおりの実績となった。

支出では、業務活動による支出のうち、計画額に比較して材料費が約5千万円の増額となったが、給与費が約1億3千万円、その他の支出が約2億1千万円の減額となったため、結果として約2億9千万円の減額となった。

また、投資活動による支出が約1億1千万円の増額となり、財務活動による支出が約7千万円の減額となった。

この結果、次年度繰越額が昨年度に比較して約13億1千万円増額の約132億円となった。

4 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

職員の就労環境の向上については、効果的な病院運営のため医師、看護師等各職種がその業務に専念でき、併せて時間外勤務を縮減するため、医療クラーク・看護クラーク等業務補助体制を強化するとともにMSW等の専門職を雇用し、病院職員の勤務環境を改善するとともに、年次有給等休暇の取得を促進し、家庭環境に配慮した取組ができた。

健康管理については、地方独立行政法人化前の同水準以上の定期健康診断や人間ドック等の検診を実施するとともに、産業医設置による健康相談等の健康管理対策を実施した。

また、職員の安心な勤務環境づくりとして、院内保育所の24時間保育を実施し、保育料を月額から日額へ改定するなど、利便性を向上させるとともに、病児病後児保育施設の設置について、継続的に検討してきた。

職員が業務に対する高い意欲を持ち、能力を十分に発揮できる病院づくりのため学会や研修会等への参加について積極的に支援した。

県及び他の地方独立行政法人との連携については、医療従事者の人事交流を行うなど連携を推進した。

医療機器・施設整備については、費用対効果、県民の医療需要、医療技術の進展などを総合的に判断し、高度先進医療機器（X線CT装置、エキシマレーザー血管形成装置）の導入及びカテーテルによる内科的治療と外科的な手術ができる施設としてハイブリッド手術室の整備をした。

法人が負担する債務の償還については、岐阜県に対する債務の償還を確実に実施した。

その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項については、年度計画に掲げた目標を概ね順調に達成することができた。

Ⅲ 小項目別自己評価結果一覧表

(→評価書では 小項目ごとの検証結果一覧表)

※一部、項目名を省略して記載しているものや、便宜的に項目名を付しているものがある。

大項目	中項目		小項目	項目 通番	自己 評価	検証 結果
1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組	1-1 診療事業	1-1-1 より質の高い医療の提供	(1) 高度先進医療機器の計画的な更新・整備	01	IV	
			(2) 長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備 ・柔軟な職員採用、再雇用制度の構築 ・職員の柔軟な勤務時間体制の検討 ・7：1看護体制の維持 ・医療クランク等の配置拡充 ・代休取得、週休日振替の徹底 ・院内保育所の24時間保育の実施 ・職員の悩み等相談体制の整備 ・患者相談体制の整備 ・院内暴力に対する警備の強化	02	IV	
			(3) 優れた医師をはじめとした職員の養成	03	III	
			(4) 認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進	04	IV	
			(5) コメディカルに対する専門研修の実施	05	IV	
			(6) EBMの推進	06	III	
			(7) 医療安全対策の充実	07	III	
			(8) 院内感染発生原因究明・防止対策体制整備	08	III	
	1-1-2 患者・住民サービスの向上	(1) 待ち時間及び検査・手術待ちの改善等 ・業務のスピード化、診療時間の弾力化等 ・検査の効率的な実施、検査機器稼働率向上 ・手術の実施体制の再整備	09	IV		
		(2) 院内環境の快適性向上 ・プライバシーに配慮した院内環境の整備 ・栄養管理の充実、病院給食の改善	10	III		
		(3) 医療情報に関する相談体制の整備	11	III		
		(4) 患者の視点に立ったより良い医療の提供	12	III		
		(5) インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進	13	III		
		(6) 満足度調査の病院運営への反映	14	III		

大項目	中項目		小項目	項目 通番	自己 評価	検証 結果		
			(7) 患者支援システム(メタボリックシンドローム予防センター)の創設	15	III			
			1-1-3 診療体制の充実	(1) 医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実	16	III		
				(2) 多様な専門職の積極的な活用	17	III		
			1-1-4 近隣医療機関等との役割分担・連携	(1) 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上	18	IV		
				(2) 地域連携クリニカルパスの整備普及	19	III		
				(3) 退院後の療養に関する各種情報の提供	20	III		
			1-1-5 重点的に取り組む医療	(1) 救命救急センター(救命救急医療)	21	III		
				(2) 心臓血管センター(心臓血管疾患医療)	22	IV		
				(3) 母と子ども医療センター(周産期医療と子ども医療)	23	III		
				(4) がん医療センター(がん医療)	24	III		
				(5) 女性医療センター	25	III		
				(6) 重症心身障がい児の入院機能及び小児救急	26	III		
			1-2 調査研究事業	1-2-1 調査・臨床研究等推進	(1) 治験受託件数の増加・治験センター認定	27	IV	
					(2) 臨床研究部(仮称)の創設	28	-	
	1-2-2 診療情報活用	(1) 医療総合情報システムの各種データの有効活用		29	III			
		(2) 集積したエビデンスの活用	30	III				
		1-2-3 保健医療情報の提供	(1) 公開講座、医療相談会等の定期的開催	31	III			
			(2) 保健医療、健康管理等の情報提供	32	III			
1-3 教育研修事業	1-3-1 卒後臨床研修等の充実	(1) 質の高い医療従事者の養成	33	III				
		(2) 後期研修医(レジデント)に対する研修等	34	III				
	1-3-2 看護学生、救急救命士等教育	(1) 医学生、看護学生の実習受入れ	35	III				
		(2) 地域医療従事者への研修の実施及び充実	36	III				
1-4 地域支	1-4-1 地域医療への支援	(1) 地域医療水準の向上	37	III				
		(2) 医師不足、へき地医療機関への人的支援	38	IV				

大項目	中項目	小項目	項目通番	自己評価	検証結果	
	援事業	(3) へき地医療対策の支援	39	IV		
		1-4-2 社会的な要請への協力	40	III		
	1-5 災害等発生時の医療救護	1-5-1 医療救護活動の拠点機能	(1) 医療救護活動拠点機能確保、訓練実施	41	III	
			(2) 基幹災害医療センター機能強化	42	III	
		1-5-2 他県等の医療救護への協力	(1) 大規模災害発生時のDMATの派遣	43	III	
			(2) 訓練・研修への派遣	44	III	
	2 達成するための取組	2-1 効率的な業務運営体制の確立	2-1-1 簡素で効果的な組織体制の確立	(1) 効率的かつ効果的な組織体制の構築	45	III
				(2) 各種業務のIT化の推進	46	III
				(3) アウトソーシング導入による合理化	47	III
				(4) 経営効率の高い業務執行体制の確立	48	III
2-1-2 診療体制、人員配置の弾力的運用			(1) 弾力的運用の実施	49	III	
			(2) 効果的な体制による医療の提供	50	IV	
			(3) 3法人間人事交流による適正な職員配置	51	III	
2-1-3 人事評価システムの構築			52	IV		
2-1-4 事務部門の専門性の向上			53	III		
2-2 業務運営の見直しや効率化			2-2-1 多様な契約手法の導入		54	IV
	(1) 効果的な病床管理、医療機器の効率的活用	55		III		
	収入の確保	(2) 未収金の発生防止対策等	56	IV		

大項目	中項目	小項目	項目通番	自己評価	検証結果	
営に関する事項	による収改善	(3) 退院時の開業医への紹介率の向上	57	IV		
		2-2-3 費用の削減	58	III		
	3 予算（人件費の見積含む。）、収支計画及び資金計画	59	IV			
	4 短期借入金の限度額	—	—	—		
	5 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画	—	—	—		
	6 剰余金の使途	—	—	—		
	7 料金に関する事項（※年度計画の対応項目を省略）	—	—	—		
	8 その他県の規則で定める業務運	8-1 職員の就労環境の向上	(1) 最適な勤務環境創出	60	IV	
			(2) 柔軟な勤務形態採用、時間外勤務縮減、休暇取得促進、特別休暇制度新設等	61	III	
			(3) 健康管理対策の充実	62	III	
(4) 福利厚生施設等の充実			63	III		
(5) 学会等参加支援、研修・講習会充実			64	III		
8-2 県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項	65	III				
8-3 医療機器・施設整備に関する事項	66	III				
8-4 法人が負担する債務の償還に関する事項	67	III				
8-5 中期目標の期間を超える債務負担	—	—	—			

IV 項目別の状況

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組
 1-1 診療事業
 1-1-1 より質の高い医療の提供

中期目標
 診療事業
 岐阜地域の基幹病院として、近隣の医療機関との役割分担・連携のもと、高度・先進医療、急性期医療及び政策医療等の県民が必要とする医療を提供することを求める。
 より質の高い医療の提供
 法人が有する医師、看護師、コメディカルや、先進かつ高度な医療機器といった人的・物的資源を有効に活用し、高度で専門的な医療に取り組むことで、県内医療水準の向上に努めること。
 特に、医師、看護師、コメディカル等の優秀な医療スタッフの確保等に努め、提供する医療水準の維持・向上を図ること。
 また、個々の患者に最適な医療を選択し、より質の高い医療を提供するため、科学的な根拠に基づく医療の推進、クリニカルパスの導入促進に努めること。
 さらに、医療事故を未然に防ぎ、患者が安心して治療に専念できる安全・安心な医療と治療環境を提供できるよう、医療安全対策を徹底すること。

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証								
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項							
01	・高度先進医療機器の計画的な更新・整備 医療環境や県民の医療需要の変化、新たな医療課題に適切に対応するとともに、病院の医療機能の維持・向上を図るため、高速X線CT装置(MDCT)、MR I等の高度先進医療機器を計画的に更新し、整備を進める。	III	III	III	・高度先進医療機器の計画的な更新・整備 全身用128列CT装置、X線血管造影装置(ハイブリッド手術室)、手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」(H24 導入済み)等の高度先進医療機器を計画的に更新し、整備を進めるため、中期計画期間中(平成26年度まで)の主要医療機器の更新・整備計画(平成24年度更新)に基づき、合理的・効率的な更新・整備を進める。	・平成25年度は、診療科・部による中長期計画及び稼働状況等を勘案し、主要医療機器の更新・整備するとともに、導入機器の稼働状況の把握と向上に努め良好な実績を出すことができた。 ・高額な機器に関しては、稼働状況・費用対効果を勘案しつつ、当センターの目指す高度医療と併せて人材育成を見据えた視点から、先進医療機器を整備し、医療の先進性と質の向上を図った。 ・代表的な更新・整備機器一覧	IV										
						<table border="1"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>X線CT装置</td> <td>頭部体幹部四肢等のCT撮影</td> </tr> <tr> <td>エキシマレーザー血管形成装置</td> <td>県内初導入のエキシマレーザー冠動脈形成術による治療</td> </tr> <tr> <td>ハイブリッド手術システム</td> <td>カテーテルを使った手術と外科的な手術ができる県内初となる施設</td> </tr> </tbody> </table>	時期	内容	X線CT装置	頭部体幹部四肢等のCT撮影	エキシマレーザー血管形成装置	県内初導入のエキシマレーザー冠動脈形成術による治療	ハイブリッド手術システム	カテーテルを使った手術と外科的な手術ができる県内初となる施設			
時期	内容																
X線CT装置	頭部体幹部四肢等のCT撮影																
エキシマレーザー血管形成装置	県内初導入のエキシマレーザー冠動脈形成術による治療																
ハイブリッド手術システム	カテーテルを使った手術と外科的な手術ができる県内初となる施設																

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																																																							
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																																																						
						<p>・更新・整備を実施した機器の移動件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3次元マッピングシステム・アブレーションシステム</td> <td>H22</td> <td>76</td> <td>87</td> <td>121</td> </tr> <tr> <td>ガンマカメラ装置</td> <td>H22</td> <td>1,208</td> <td>2,149</td> <td>1,376</td> </tr> <tr> <td>X線TV装置</td> <td>H22</td> <td>1,665</td> <td>1,478</td> <td>1,777</td> </tr> <tr> <td>MR I 装置のアップグレード</td> <td>H23</td> <td>0</td> <td>4,895</td> <td>5,008</td> </tr> <tr> <td>デジタル式房用X線撮影装置</td> <td>H23</td> <td>0</td> <td>4,197</td> <td>4,287</td> </tr> <tr> <td>超音波診断装置</td> <td>H23</td> <td>0</td> <td>1,820</td> <td>1,822</td> </tr> <tr> <td>内視鏡手術支援ロボット(ダヴィンチ)</td> <td>H24</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>X線CT装置</td> <td>H25</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>エキシマレーザー血管形成装置</td> <td>H25</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>ハイブリッド手術システム</td> <td>H25</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>410</td> </tr> </tbody> </table> <p>・主要検査機器の移動実績件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">時期</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">PET (1台)</td> <td>外来</td> <td>998</td> <td>1,288</td> <td>1,374</td> </tr> <tr> <td>入院</td> <td>73</td> <td>66</td> <td>86</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">MR I (2台)</td> <td>外来</td> <td>7,994</td> <td>10,105</td> <td>10,810</td> </tr> <tr> <td>入院</td> <td>1,694</td> <td>2,168</td> <td>2,141</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">CT (2台)</td> <td>外来</td> <td>22,636</td> <td>24,488</td> <td>27,048</td> </tr> <tr> <td>入院</td> <td>5,841</td> <td>6,246</td> <td>7,006</td> </tr> </tbody> </table>	機器名	年度	H23	H24	H25	3次元マッピングシステム・アブレーションシステム	H22	76	87	121	ガンマカメラ装置	H22	1,208	2,149	1,376	X線TV装置	H22	1,665	1,478	1,777	MR I 装置のアップグレード	H23	0	4,895	5,008	デジタル式房用X線撮影装置	H23	0	4,197	4,287	超音波診断装置	H23	0	1,820	1,822	内視鏡手術支援ロボット(ダヴィンチ)	H24	—	2	50	X線CT装置	H25	—	—	0	エキシマレーザー血管形成装置	H25	—	—	30	ハイブリッド手術システム	H25	—	—	410	時期		H23	H24	H25	PET (1台)	外来	998	1,288	1,374	入院	73	66	86	MR I (2台)	外来	7,994	10,105	10,810	入院	1,694	2,168	2,141	CT (2台)	外来	22,636	24,488	27,048	入院	5,841	6,246	7,006			
機器名	年度	H23	H24	H25																																																																																												
3次元マッピングシステム・アブレーションシステム	H22	76	87	121																																																																																												
ガンマカメラ装置	H22	1,208	2,149	1,376																																																																																												
X線TV装置	H22	1,665	1,478	1,777																																																																																												
MR I 装置のアップグレード	H23	0	4,895	5,008																																																																																												
デジタル式房用X線撮影装置	H23	0	4,197	4,287																																																																																												
超音波診断装置	H23	0	1,820	1,822																																																																																												
内視鏡手術支援ロボット(ダヴィンチ)	H24	—	2	50																																																																																												
X線CT装置	H25	—	—	0																																																																																												
エキシマレーザー血管形成装置	H25	—	—	30																																																																																												
ハイブリッド手術システム	H25	—	—	410																																																																																												
時期		H23	H24	H25																																																																																												
PET (1台)	外来	998	1,288	1,374																																																																																												
	入院	73	66	86																																																																																												
MR I (2台)	外来	7,994	10,105	10,810																																																																																												
	入院	1,694	2,168	2,141																																																																																												
CT (2台)	外来	22,636	24,488	27,048																																																																																												
	入院	5,841	6,246	7,006																																																																																												

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証							
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項						
02	<ul style="list-style-type: none"> 長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備 病院が求められる機能を果たし、県民が必要とする医療をより良くかつ機能的に提供するとともに、職員の最適な勤務環境を創出するため、次の取り組みに努め、医師・看護師等職員の確保と定着化を促進する。 ・必要な医療従事者等の確保のための柔軟な職員採用、再雇用制度の構築 	III	III	IV		<ul style="list-style-type: none"> 長時間勤務の改善等働きやすい環境の整備 必要な医療従事者等を確保するため、職員採用試験の時期・回数をチェックし、計画的・効果的な採用に努める。特に、看護師採用は毎月実施する。また、引き続き年俸制を導入し、平成22年度に構築した定年退職者（医師）の再雇用制度を効果的に運用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 年度当初の看護師数を530人から571人に増員し、長時間勤務やローテーション維持並びに年次有給休暇の取得などを改善した。 採用試験の3回実施や、看護学校の訪問や各種ガイダンス等への参加、新聞掲載等、雇用確保のため積極的に働きかけ昨年度に比較して約1.7倍の採用ができた。(H24:51人→H25:85人) 年俸を定めて給与を支給する非常勤医師 8名 	IV								
	<ul style="list-style-type: none"> 女性医師をはじめとした職員の柔軟な勤務時間体制の検討（例：15時終了制の導入） 					<ul style="list-style-type: none"> 平成22年度に設置した「女性職員が継続して働ける病院づくり委員会」が行ったアンケートの調査結果の意見を踏まえ、平成24年度に稼働した24時間保育の充実や病児病後児保育の実施やワークシェアリングなど労務環境の改善について検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度新棟内開設予定の病児病後児保育所について具体的に検討することとし、職員のニーズを把握するため「病児・病後児保育所についてのアンケート」を実施した。（調査対象：1,130人、回収率79.6%） 上記アンケート結果を基に病児病後児保育所開設のために必要な課題を挙げ検討した。 委員会設置と開催実績等 <table border="1"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9月</td> <td>第1回委員会開催（主な議題：①今年度の委員会の取り組みについて、②病児病後児保育所アンケート結果報告について）</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>第2回委員会開催（主な議題：①病児病後児保育所開設について、②平成25年度岐阜県医師会男女共同参画委員会による病院訪問事業について）</td> </tr> </tbody> </table>	時期	内容	9月	第1回委員会開催（主な議題：①今年度の委員会の取り組みについて、②病児病後児保育所アンケート結果報告について）	12月	第2回委員会開催（主な議題：①病児病後児保育所開設について、②平成25年度岐阜県医師会男女共同参画委員会による病院訪問事業について）			
	時期	内容														
	9月	第1回委員会開催（主な議題：①今年度の委員会の取り組みについて、②病児病後児保育所アンケート結果報告について）														
	12月	第2回委員会開催（主な議題：①病児病後児保育所開設について、②平成25年度岐阜県医師会男女共同参画委員会による病院訪問事業について）														
<ul style="list-style-type: none"> 7：1看護体制（看護職員の二交代制）の維持 					<ul style="list-style-type: none"> 7：1看護体制（看護職員の二交代制）を維持する。 	<ul style="list-style-type: none"> 看護師人数（530→571人）の増員などで、7：1看護体制を7.3%上回る体制を維持できた。 										
<ul style="list-style-type: none"> 医師事務作業補助（医療クラーク）、病棟・外来看護事務補助（病棟等看護クラーク）等の拡充 					<ul style="list-style-type: none"> 医師事務作業補助職員、看護事務補助職員等を配置拡充する。 [医師事務作業補助職員：48人（平成24年度）→50人、看護事務補助職員：26人（平成24年度）→31人] 15：1医師事務作業補助体制加算の取得を目指す。（現状は20：1医師事務作業補助体制加算） 	<ul style="list-style-type: none"> 医師事務作業補助（医療クラーク）、病棟・外来看護事務補助（病棟等看護クラーク）等を配置拡充した。 医師補助・看護補助体制の拡充状況 [医療クラーク：51人、病棟等看護クラーク：28人（平成25年度末）] 										
<ul style="list-style-type: none"> 代休取得、週休日の振替の徹底 					<ul style="list-style-type: none"> 医局会や看護師長会等において、代休取得、週休日の振替を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> 看護師、技師等については、各種機会を通して、代休取得、週休日の振替を徹底した。 										

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証															
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項														
						<ul style="list-style-type: none"> ・衛生・労働安全委員会で、長時間残業職員数を報告し、縮減するよう啓発に努めた。 ・長時間勤務の医師については、各担当副院長が時間外勤務時間の縮減、及び代休等への振り替えを指導し、併せて過重労働健康相談を実施した。 ・医局会や看護師長会等において、代休取得、週休日の振替指導を徹底した。 代休等取得状況 (件数) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代休取得</td> <td>18</td> <td>17</td> <td>35</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>週休日振替</td> <td>457</td> <td>691</td> <td>856</td> <td>1,083</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	H22	H23	H24	H25	代休取得	18	17	35	65	週休日振替	457	691	856	1,083			
区 分	H22	H23	H24	H25																				
代休取得	18	17	35	65																				
週休日振替	457	691	856	1,083																				
	・24時間保育の実施				<ul style="list-style-type: none"> ・院内保育所の在り方について職員との意見交流を図り、24時間保育の充実を行うなど、ハード・ソフトの両面から環境整備に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成13年から岐阜県総合医療センター保育施設運営協議会を設置し、医療センターに勤務する職員(非常勤職員含む)の保育事業を継続して実施している。平成24年2月1日からは、24時間保育の受け入れを開始している。 ・通常保育時間 7:45～19:00 (延長保育時間 7:00～22:30) ・院内保育所の活用状況 最少預かり児童数 29人/月 最大預かり児童数 35人/月 平均31.9人/月 院内保育所の運営状況 (各年度末時点) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入所者数</td> <td>36人</td> <td>44人</td> <td>38人</td> <td>33人</td> </tr> <tr> <td>保育士数</td> <td>8人</td> <td>8人</td> <td>10人</td> <td>10人</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・病児保育については、平成27年度に完成予定の新病棟内に、病児保育室及び病後児保育室をそれぞれ設置するよう実施計画に盛り込んだほか、運用については「女性職員が継続して働ける病院づくり委員会」において継続的に検討している。 		H22	H23	H24	H25	入所者数	36人	44人	38人	33人	保育士数	8人	8人	10人	10人			
	H22	H23	H24	H25																				
入所者数	36人	44人	38人	33人																				
保育士数	8人	8人	10人	10人																				
	・職員の悩みなどの相談体制の整備				<ul style="list-style-type: none"> ・ハラスメント防止に向けた職員への周知活動など院内相談窓口の機能を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハラスメントの被害相談窓口を総務課長に一本化、ハラスメント防止に関する啓発ポスターを院内各所に掲示し、周知を図っている。 																		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																				
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																			
	・患者相談体制の整備					<p>・平成23年度に設置した総合相談センターを活用し、患者からの各種相談に対応できる体制を強化する。</p> <p>・総合相談センターを設置し、患者からの各種相談に対応できる体制を強化している。</p> <p>・H23年度から総合受付にコンシェルジュを設置し、患者相談を含む各種問い合わせに対応できる態勢を整備している。</p> <p>・患者や家族から各種相談を受け付けている（相談内容：がん相談（一般、セカンドオピニオン、退院調整）、がん以外（なんでも相談、意見・苦情、セカンドオピニオン外来、退院調整）。</p> <p>・患者サポート体制において毎週カンファレンスを開催できた。</p> <p>・がん拠点病院として、がん相談の専従MSWの配置充実を図った。</p> <p>・総合相談センター全体としての統一したテンプレートの電子カルテ上の記録を整備した。</p> <p>平成25年度実績件数</p> <table border="1"> <tr> <td>がん相談</td> <td>1, 138</td> </tr> <tr> <td> がん相談支援</td> <td>624</td> </tr> <tr> <td> セカンドオピニオン</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td> 退院調整室</td> <td>455</td> </tr> <tr> <td>がん以外の相談</td> <td>9, 966</td> </tr> <tr> <td> なんでも相談</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td> （意見・苦情</td> <td>18）</td> </tr> <tr> <td> セカンドオピニオン</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td> 退院調整室</td> <td>9, 902</td> </tr> <tr> <td>医療相談</td> <td>4, 148</td> </tr> </table>	がん相談	1, 138	がん相談支援	624	セカンドオピニオン	59	退院調整室	455	がん以外の相談	9, 966	なんでも相談	57	（意見・苦情	18）	セカンドオピニオン	7	退院調整室	9, 902	医療相談	4, 148			
がん相談	1, 138																												
がん相談支援	624																												
セカンドオピニオン	59																												
退院調整室	455																												
がん以外の相談	9, 966																												
なんでも相談	57																												
（意見・苦情	18）																												
セカンドオピニオン	7																												
退院調整室	9, 902																												
医療相談	4, 148																												
	・院内暴力に対する警備の強化					<p>・24時間体制で警備員を配置し、併せて「院内暴力対応マニュアル」を周知することで、院内暴力に対する取組を強化する。</p> <p>・医療安全に関する研修において、患者や家族への対応についても取り上げ、実施した。</p>																							

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
03	<p>・大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師をはじめとした職員の養成</p> <p>岐阜大学等関係機関との連携の強化や、国内先進病院への医師の研修派遣により、医師をはじめ優れた職員を養成する。また、高度専門医療の水準の維持・向上のため、専門医や研修指導医等の取得に向けた研修体制の充実を図る。</p>	III	III	III		<p>・大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師をはじめとした職員の養成</p> <p>岐阜大学病院等国内外先進病院への医師の研修派遣者数を増やし、医師をはじめ優れた職員を養成する。また、高度専門医療の水準の維持・向上のため、専門医や研修指導医等の取得に向けた研修体制の充実を図る。</p>	<p>・平成25年度医師の研修派遣者数実績9名</p> <p>米国（カルフォルニア大学サンディエゴ校） 米国（ハーバード大学医学部 ブリガム・アンド・ウィメンズ病院） ドイツ（ハイデルベルク大学病院） カナダ（モントリオール小児病院） 神奈川県（横浜労災病院） 東京都（公益財団法人がん研究会 有明病院） 東京都（国立精神・神経医療研究センター） 東京都（日本医科大学付属病院） 埼玉県（埼玉医科大学総合医療センター）</p> <p>・専門医や研修指導医等の取得に向けた研修、学会・セミナー等の派遣実績</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ESC Congress 2013 ・22nd EADV Congress ・6th APHRS CARDIORHYTHM 2013 ・CHEST 2013 ・AHA Scientific Session 2013 ・ERSAnnual Congress 2013 ・ERS Hands-On Course-Interventional Bronchoscopy 他 </div>	III		
						医師の研修派遣・受入実績人数				
							H22	H23	H24	H25
						派遣	1人	3人	5人	9人
						受入	6人	8人	6人	6人

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証														
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項													
04	・認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進 より水準の高い看護を患者及びその家族に提供 するため、専門性の高い資格取得に向けた研修制度 を検討・整備し、研修センターの機能を強化する。	III	III	III		<p>・認定看護師や専門看護師等の資格取得の促進 より水準の高い看護を患者及びその家族に提供す るため、認定看護師や専門看護師の資格取得を目指 す看護師、また認定看護管理の資格取得を目指す管 理者に対しては、中長期的に研修・講習に参加でき る体制を引き続き確保する。 平成25年度 受講予定 認定看護師3名、認定看護管理5名（ファースト レベル4名、サードレベル1名） 平成25年度 資格試験予定 認定看護師3 名、看護教員研修1名</p>	<p>・認定看護師等長期研修5カ年計画に基づき、計画 的な認定看護師や専門看護師の資格取得のための 研修・講習に参加できる体制を継続して確保してい る。 ・専門看護師数 小児看護専門看護師 2名 がん看護専門看護師 1名 ・認定看護師数 がん化学療法看護認定看護師 2名 がん性疼痛看護認定看護師 1名 感染管理認定看護師 2名 救急看護認定看護師 1名 小児救急看護認定看護師 1名 摂食・嚥下障害看護認定看護師 1名 皮膚・排泄ケア認定看護師 3名 新生児集中ケア認定看護師 1名 集中ケア認定看護師 1名 糖尿病看護認定看護師 1名 がん放射線療法看護認定看護師 1名 (平成25年度認定登録：3名)</p> <p>・研修実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">認定 看護師</td> <td>[長期]</td> </tr> <tr> <td>・救急看護 H25.5.9～H26.3.5 1名</td> </tr> <tr> <td>・感染管理 H25.6.1～H26.1.31 1名</td> </tr> <tr> <td>・乳がん看護 H25.9.1～H26.3.31 1名 ※平成26年7月認定予定</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[短期]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・認定看護管理制度 H24:6名→H25:3名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・実習指導者講習会 H25年度開催なし</td> </tr> </tbody> </table>	項 目	内 容	認定 看護師	[長期]	・救急看護 H25.5.9～H26.3.5 1名	・感染管理 H25.6.1～H26.1.31 1名	・乳がん看護 H25.9.1～H26.3.31 1名 ※平成26年7月認定予定		[短期]		・認定看護管理制度 H24:6名→H25:3名		・実習指導者講習会 H25年度開催なし	IV		
項 目	内 容																						
認定 看護師	[長期]																						
	・救急看護 H25.5.9～H26.3.5 1名																						
	・感染管理 H25.6.1～H26.1.31 1名																						
	・乳がん看護 H25.9.1～H26.3.31 1名 ※平成26年7月認定予定																						
	[短期]																						
	・認定看護管理制度 H24:6名→H25:3名																						
	・実習指導者講習会 H25年度開催なし																						

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																																																														
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																																																													
						<ul style="list-style-type: none"> 医療安全研修 H24:2名→H25:0名 岐阜県教員養成講習会 H25:1名 																																																																																																	
						学会等 参加 <ul style="list-style-type: none"> 日本看護学会 全国看護セミナー 日本看護協会研修 岐阜県看護協会研修 その他 看護学会等 延べ H24:153→H25:312名 																																																																																																	
						単位：人（各年度末時点）																																																																																																	
						<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>分野</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">認定</td> <td>がん化学療法</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>がん性疼痛</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>感染管理</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>救急看護</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>小児救急</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>摂食・嚥下障害</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>皮膚・排泄ケア</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>新生児集中ケア</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>集中ケア</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>糖尿病看護</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>がん放射線療法 看護</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>9</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">専門</td> <td>小児看護</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>がん看護</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>9</td> <td>13</td> <td>15</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table>		分野	H22	H23	H24	H25	認定	がん化学療法	1	1	2	2	がん性疼痛	1	1	1	1	感染管理	1	2	2	2	救急看護	1	1	1	1	小児救急	1	1	1	1	摂食・嚥下障害	1	1	1	1	皮膚・排泄ケア	3	3	3	3	新生児集中ケア	-	1	1	1		集中ケア	-	-	-	1		糖尿病看護	-	-	-	1		がん放射線療法 看護	-	-	-	1		計	9	11	12	15	専門	小児看護	-	1	2	2	がん看護	-	1	1	1		計	0	2	3	3		合計	9	13	15	18			
	分野	H22	H23	H24	H25																																																																																																		
認定	がん化学療法	1	1	2	2																																																																																																		
	がん性疼痛	1	1	1	1																																																																																																		
	感染管理	1	2	2	2																																																																																																		
	救急看護	1	1	1	1																																																																																																		
	小児救急	1	1	1	1																																																																																																		
	摂食・嚥下障害	1	1	1	1																																																																																																		
	皮膚・排泄ケア	3	3	3	3																																																																																																		
	新生児集中ケア	-	1	1	1																																																																																																		
	集中ケア	-	-	-	1																																																																																																		
	糖尿病看護	-	-	-	1																																																																																																		
	がん放射線療法 看護	-	-	-	1																																																																																																		
	計	9	11	12	15																																																																																																		
専門	小児看護	-	1	2	2																																																																																																		
	がん看護	-	1	1	1																																																																																																		
	計	0	2	3	3																																																																																																		
	合計	9	13	15	18																																																																																																		
05	・ コメディカルに対する専門研修の実施 診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等の医療 技術者について、専門性の向上に向けた研修制度を	III	IV	IV	・ コメディカルに対する専門研修の実施 診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等の医療 技術者について、専門性の向上に向けた研修・講習	・ 診療放射線技師、臨床検査技師、薬剤師等の医療 技術者について、専門性の向上に向けた研修・講習 会への参加を支援し、高度医療に対する知識・技術	IV																																																																																																

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証									
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項								
	検討・整備し、研修センターの機能を強化する。					<p>会への参加を支援し、高度医療に対する知識・技術を有する職員を養成する。</p> <table border="1"> <tr> <td> <p>【中央放射線部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療放射線技師実習施設指導者講習会 ・放射線治療セミナー ・放射線治療品質管理士講習会 ・医学物理コース研修 ・マンモグラフィ撮影技師更新講習会 ・PET研修セミナー ・I-131アブレーション講習会 ・その他各種学会、研修会等への参加 </td> <td> <p>希望人数と業務内容を考慮し、必要とされる資格の取得計画、研修会等への参加計画を策定した上で、各種資格取得・研修会等への参加のための支援を行う。</p> </td> </tr> <tr> <td> <p>【臨床検査科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・細胞検査士 ・超音波検査士（循環器、消化器等） ・認定輸血検査技師 ・日本糖尿病療養指導士 ・感染制御認定臨床微生物検査技師 ・血管診療技師 ・認定心電検査技師 ・日本エコー学会認定検査技師 ・認定一般検査技師 ・認定血液検査技師 ・認定管理検査技師 ・二級緊急臨床検査士 ・二級臨床検査技師（微生物学、病理学等） ・その他各種学会、研修会等への参加 </td> <td></td> </tr> </table>	<p>【中央放射線部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療放射線技師実習施設指導者講習会 ・放射線治療セミナー ・放射線治療品質管理士講習会 ・医学物理コース研修 ・マンモグラフィ撮影技師更新講習会 ・PET研修セミナー ・I-131アブレーション講習会 ・その他各種学会、研修会等への参加 	<p>希望人数と業務内容を考慮し、必要とされる資格の取得計画、研修会等への参加計画を策定した上で、各種資格取得・研修会等への参加のための支援を行う。</p>	<p>【臨床検査科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・細胞検査士 ・超音波検査士（循環器、消化器等） ・認定輸血検査技師 ・日本糖尿病療養指導士 ・感染制御認定臨床微生物検査技師 ・血管診療技師 ・認定心電検査技師 ・日本エコー学会認定検査技師 ・認定一般検査技師 ・認定血液検査技師 ・認定管理検査技師 ・二級緊急臨床検査士 ・二級臨床検査技師（微生物学、病理学等） ・その他各種学会、研修会等への参加 		<p>を有する職員を養成した。 特に、各部門では診療科の体制等に連携し、長期計画を策定したうえで人材の育成に努めた。</p> <p>主な参加講習会等</p> <table border="1"> <tr> <td> <p>【中央放射線部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本放射線技術学会 ・全国自治体病院放射線部会研修会 ・日本放射線治療セミナー ・日本核医学学会 ・日本磁気共鳴医学会 ・医学物理士ミニマム講習会 </td> </tr> <tr> <td> <p>【臨床検査科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本臨床衛生検査技師会 ・日本超音波学会 ・心臓リハビリテーション学会 ・日本臨床微生物学会 ・認定心電図検査技師講習会 ・日本輸血・細胞治療学会 ・日本心エコー学会 </td> </tr> <tr> <td> <p>【薬剤センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本薬剤師学会大会 ・日本病院薬剤師会実務研修会 ・日本薬品情報学会総会 ・日本薬学東海支部合同学術会議 ・日本医療薬学会 ・がん専門薬剤師集中教育講座 </td> </tr> <tr> <td> <p>【中央リハビリテーション部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3学会合同呼吸療法認定士認定講習会 ・リハビリテーションのための脳神経科学入門研修会 ・日本高次脳障害学会夏期教育研修 ・岐阜呼吸管理研究会 ・摂食・嚥下障害セミナー </td> </tr> </table>	<p>【中央放射線部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本放射線技術学会 ・全国自治体病院放射線部会研修会 ・日本放射線治療セミナー ・日本核医学学会 ・日本磁気共鳴医学会 ・医学物理士ミニマム講習会 	<p>【臨床検査科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本臨床衛生検査技師会 ・日本超音波学会 ・心臓リハビリテーション学会 ・日本臨床微生物学会 ・認定心電図検査技師講習会 ・日本輸血・細胞治療学会 ・日本心エコー学会 	<p>【薬剤センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本薬剤師学会大会 ・日本病院薬剤師会実務研修会 ・日本薬品情報学会総会 ・日本薬学東海支部合同学術会議 ・日本医療薬学会 ・がん専門薬剤師集中教育講座 	<p>【中央リハビリテーション部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3学会合同呼吸療法認定士認定講習会 ・リハビリテーションのための脳神経科学入門研修会 ・日本高次脳障害学会夏期教育研修 ・岐阜呼吸管理研究会 ・摂食・嚥下障害セミナー 			
<p>【中央放射線部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療放射線技師実習施設指導者講習会 ・放射線治療セミナー ・放射線治療品質管理士講習会 ・医学物理コース研修 ・マンモグラフィ撮影技師更新講習会 ・PET研修セミナー ・I-131アブレーション講習会 ・その他各種学会、研修会等への参加 	<p>希望人数と業務内容を考慮し、必要とされる資格の取得計画、研修会等への参加計画を策定した上で、各種資格取得・研修会等への参加のための支援を行う。</p>																	
<p>【臨床検査科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・細胞検査士 ・超音波検査士（循環器、消化器等） ・認定輸血検査技師 ・日本糖尿病療養指導士 ・感染制御認定臨床微生物検査技師 ・血管診療技師 ・認定心電検査技師 ・日本エコー学会認定検査技師 ・認定一般検査技師 ・認定血液検査技師 ・認定管理検査技師 ・二級緊急臨床検査士 ・二級臨床検査技師（微生物学、病理学等） ・その他各種学会、研修会等への参加 																		
<p>【中央放射線部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本放射線技術学会 ・全国自治体病院放射線部会研修会 ・日本放射線治療セミナー ・日本核医学学会 ・日本磁気共鳴医学会 ・医学物理士ミニマム講習会 																		
<p>【臨床検査科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本臨床衛生検査技師会 ・日本超音波学会 ・心臓リハビリテーション学会 ・日本臨床微生物学会 ・認定心電図検査技師講習会 ・日本輸血・細胞治療学会 ・日本心エコー学会 																		
<p>【薬剤センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本薬剤師学会大会 ・日本病院薬剤師会実務研修会 ・日本薬品情報学会総会 ・日本薬学東海支部合同学術会議 ・日本医療薬学会 ・がん専門薬剤師集中教育講座 																		
<p>【中央リハビリテーション部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3学会合同呼吸療法認定士認定講習会 ・リハビリテーションのための脳神経科学入門研修会 ・日本高次脳障害学会夏期教育研修 ・岐阜呼吸管理研究会 ・摂食・嚥下障害セミナー 																		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																								
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																							
						<p>【薬剤部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん専門薬剤師 ・感染制御専門薬剤師 ・糖尿病療養指導士 ・栄養サポートチーム（NST）専門療法士 ・その他各種学会、研修会等への参加 <p>【中央リハビリテーション部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3学会合同呼吸療法認定士 ・心臓リハビリテーション指導士 ・AHA BLSICLSプロバイダーコース ・その他各種学会、研修会等への参加 <p>【栄養管理部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本糖尿病療養指導士 ・栄養サポートチーム（NST）専門療法士 ・病態栄養専門師 ・その他各種学会、研修会等への参加 	<p>【栄養センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本臨床栄養学会 ・日本糖尿病・妊娠学会 ・食事療法学会 ・日本循環器学会学術集会 ・日本心臓リハビリテーション学会 ・日本病態栄養学会年次学術集会 ※H25:病態栄養専門師資格取得者1人 <p>【臨床工学部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本臨床工学技士会 ・岐阜県臨床工学技士会セミナー ・岐阜県臨床工学技士会学術大会 ・医療機器安全基礎講習会（ME 技術講習会） ・透析液安全管理責任者セミナー ・日本人工臓器学会教育セミナー 																																										
							コメディカル専門研修の参加人数 単位：人																																										
							<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤師</td> <td>78</td> <td>106</td> <td>172</td> <td>207</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>24</td> <td>80</td> <td>138</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>16</td> <td>7</td> <td>45</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>リハビリ技師</td> <td>74</td> <td>112</td> <td>125</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>6</td> <td>15</td> <td>13</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>放射線技師</td> <td>26</td> <td>23</td> <td>51</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>224</td> <td>343</td> <td>544</td> <td>438</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	H24	H25	薬剤師	78	106	172	207	臨床検査技師	24	80	138	100	臨床工学技士	16	7	45	22	リハビリ技師	74	112	125	69	管理栄養士	6	15	13	10	放射線技師	26	23	51	30	合計	224	343	544	438		
	H22	H23	H24	H25																																													
薬剤師	78	106	172	207																																													
臨床検査技師	24	80	138	100																																													
臨床工学技士	16	7	45	22																																													
リハビリ技師	74	112	125	69																																													
管理栄養士	6	15	13	10																																													
放射線技師	26	23	51	30																																													
合計	224	343	544	438																																													

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																										
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																									
06	<p>・ EBMの推進 先端医学など新しい医療の研究・研修を行い、EBM (Evidence Based Medicine の略、科学的根拠に基づいた医療) の実践を推進する。 そのためには、各種診療ガイドライン等に基づいたクリニカルパスを作成し、積極的に活用するとともに、バリエーション分析を行いクリニカルパスを必要に応じ改訂し、作成されたクリニカルパスを検証することにより最適化されたクリニカルパスの推進に取り組み、医療の質の改善、向上を図る。また、クリニカルパス推進活動の一環として関係部門のスタッフが参加するクリニカルパス大会を実施し、新規クリニカルパスの紹介、改訂クリニカルパスの報告、DPC関連データの報告などを行う。</p>	III	III	III		<p>・ EBMの推進 ダ・ヴィンチによるロボット手術やハイブリッド手術などの先進的医療を導入するとともに、各診療科において各種疾患診療ガイドラインに基づく標準診療を確実に実践していく。 そのために現在使用されているクリニカルパスの使用率を向上させ、退院時に評価・完了し、改善に繋げる工程を強化する。また、クリニカルパス大会や研修会を開催して、新規クリニカルパスの登録を推進し、より多くの疾患についてEBMに基づく標準治療が実践できるように働きかけていく。</p>	<p>・ クリニカルパスの新規作成を推進した。 新規パス作成数 27件 (14診療科) ・ 平成25年9月及び平成26年2月にクリニカルパス大会を実施し、約300人(多職種)が参加した。その中で新規パスの紹介やアウトカム設定の適切性等を中心に意見交換を行った。</p> <p>クリニカルパス種類数・適用数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種類数</td> <td>304件</td> <td>303件</td> <td>305件</td> <td>287件</td> </tr> <tr> <td>入院患者数</td> <td>13,899人</td> <td>13,798人</td> <td>14,690人</td> <td>14,753人</td> </tr> <tr> <td>適用数</td> <td>8,337件</td> <td>8,363件</td> <td>8,929件</td> <td>9,045件</td> </tr> <tr> <td>適用率</td> <td>60.0%</td> <td>60.6%</td> <td>60.8%</td> <td>60.4%</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	H24	H25	種類数	304件	303件	305件	287件	入院患者数	13,899人	13,798人	14,690人	14,753人	適用数	8,337件	8,363件	8,929件	9,045件	適用率	60.0%	60.6%	60.8%	60.4%	III		
	H22	H23	H24	H25																															
種類数	304件	303件	305件	287件																															
入院患者数	13,899人	13,798人	14,690人	14,753人																															
適用数	8,337件	8,363件	8,929件	9,045件																															
適用率	60.0%	60.6%	60.8%	60.4%																															

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																													
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																												
07	<p>・医療安全対策の充実</p> <p>医療安全管理委員会や医療安全部において、インシデント・アクシデント報告の収集・分析に努め、医療安全対策の充実を図る。また、事故調査委員会において、医療事故の再発防止のため、リスクを回避するための方策を検討し、改善方策の共有化、安全管理に関する研修を充実させるなど、事故予防の徹底と予防意識の醸成を図る。</p>	III	III	III		<p>・医療安全対策の充実</p> <p>安全な医療が提供できるよう医療安全管理マニュアルの遵守、徹底を図るとともに、種々マニュアルの改訂を進める。各部署で発生するインシデント・アクシデント報告について、根本原因分析（RCA分析）し、安全対策上の課題について支援する。アクシデント発生時には、速やかに事故調査を実施し発生要因を明らかにするとともに、医療事故の再発防止とリスクを回避するための方策を検討し共有化する。安全管理に関する研修会の内容を充実させ、参加人数を増やすことによりさらなる安全意識の向上を図る。</p>	<p>・必要に応じてマニュアルの見直しや作成を行った。また、マニュアル運用状況について、調査や毎月の院内巡視で遵守状況を把握し徹底できるように努めた。</p> <p>・病棟・各部門において、リスクマネージャー68名を任命した。</p> <p>・重大事例につながるような報告などは、関連部署と分析を行い再発防止策の検討を行った。</p> <p>・インシデント・アクシデント報告の収集、分析を行った。医療安全部や医療安全管理委員会で検討し、それを病棟会議、外来や各部署会議、看護師長会や管理会議で報告し、医療安全対策の向上を促進した。また、医療安全便りで全職員に発信し情報共有した。</p> <p>・インシデント・アクシデント報告件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レベル0</td> <td>286件</td> <td>336件</td> <td>292件</td> </tr> <tr> <td>レベル1</td> <td>1,013件</td> <td>1,182件</td> <td>1,729件</td> </tr> <tr> <td>レベル2</td> <td>849件</td> <td>800件</td> <td>467件</td> </tr> <tr> <td>レベル3a</td> <td>178件</td> <td>215件</td> <td>327件</td> </tr> <tr> <td>小計（インシデント）</td> <td>2,326件</td> <td>2,533件</td> <td>2,815件</td> </tr> <tr> <td>レベル3b</td> <td>54件</td> <td>55件</td> <td>62件</td> </tr> <tr> <td>レベル4</td> <td>2件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>レベル5</td> <td>2件</td> <td>1件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>小計（アクシデント）</td> <td>58件</td> <td>57件</td> <td>62件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,384件</td> <td>2,590件</td> <td>2,877件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・アクシデント報告でのレベル3 b 62件中49件がドレーン・チューブ類の抜去によるもので再挿入を行った。</p> <p>・医療安全意識醸成のため、職員を対象とした医療安全研修会を17回実施した。延べ参加者数は、2,314名であった。</p>		H23	H24	H25	レベル0	286件	336件	292件	レベル1	1,013件	1,182件	1,729件	レベル2	849件	800件	467件	レベル3a	178件	215件	327件	小計（インシデント）	2,326件	2,533件	2,815件	レベル3b	54件	55件	62件	レベル4	2件	1件	0件	レベル5	2件	1件	0件	小計（アクシデント）	58件	57件	62件	合計	2,384件	2,590件	2,877件	III		
	H23	H24	H25																																																			
レベル0	286件	336件	292件																																																			
レベル1	1,013件	1,182件	1,729件																																																			
レベル2	849件	800件	467件																																																			
レベル3a	178件	215件	327件																																																			
小計（インシデント）	2,326件	2,533件	2,815件																																																			
レベル3b	54件	55件	62件																																																			
レベル4	2件	1件	0件																																																			
レベル5	2件	1件	0件																																																			
小計（アクシデント）	58件	57件	62件																																																			
合計	2,384件	2,590件	2,877件																																																			

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
08	<p>・院内感染の発生原因の究明及び防止対策の確立のための体制整備</p> <p>感染防止委員会や感染症対策部において、感染防止訓練や研修会の実施、院内感染防止マニュアルの周知徹底・啓発を図る。また、ICD（感染症対策専門医）及びICN（感染管理看護師）の資格を持った医療技術者を充実させることにより、院内感染防止体制を整備する。</p>	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	<p>・院内感染の発生原因の究明及び防止対策の確立のための体制整備</p> <p>感染制御チーム（ICT）が中心となり、定期的に各部署・部門の観察、指導（院内巡視）を行い、院内感染対策マニュアルの遵守状況について確認及び評価を行う。また、必要に応じて院内感染防止マニュアルを改訂する。その他、感染防止委員会及び感染症対策部、ICTが中心となり、全職員を対象とした研修会を年2回以上開催する。</p> <p>さらに、平成25年度は感染状況、抗生剤使用状況などの科学的把握を目的として、「感染制御支援システム」を導入する。</p>	<p>・ICTによる週1回の病棟ラウンドにより、環境面の改善指導を行い、環境構造の清浄化に努めた。また、手指衛生の遵守状況の確認のために、部署ごとで使用量測定を行い、手指衛生回数目標値を設定した結果、達成率は部署別に30～100%のばらつきがみられている。</p> <p>・抗菌薬については、長期使用（10日以上）、抗MRSA薬使用患者、カルバペネム系抗菌薬使用患者を抽出し、適正使用（量・間隔、抗菌作用）についてICTミーティングで確認、指導した。</p> <p>・新生児センターにおけるMRSA感染症による死亡事案について、感染症のICTへの報告は、感染症発生報告書を提出し、ICTでチェックを行っていたが、保菌患者の予後情報の確認がなされていなかったため、「退院サマリ」に院内感染の項目（無し、不明）を追加して必須項目とし、ICTが確認することに改正した。</p> <p>・新生児センターにおいてMRSAアウトブレイクが発生し、約1ヶ月の新規入院を停止する対応に併せ、新生児センターにおけるMRSA対策は、以下のとおり、レベルⅠ～Ⅲの段階別に対応する新たなICTの行動基準を作成した。</p> <p>〔レベルⅠ〕</p> <p>1カ月の新規MRSA保菌者が3名以上、あるいはMRSA感染症患者の確認の時点で、院長報告とともに緊急ICTミーティングを開催し、緊急に新生児センターへの介入（ラウンド）を行う。</p> <p>〔レベルⅡ〕</p> <p>1カ月の新規MRSA保菌患者が10名以上となった場合、あるいはMRSAによる院内感染症死亡事例が確認された時点で、岐阜市保健所、岐阜県（岐阜県院内感染対策協議会）への報告・相談を行う。</p> <p>〔レベルⅢ〕</p>	Ⅲ			

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
							レベルⅡの段階で同協議会からの指導を受けて感染対策を行ったにも関わらず、一定の期間のうちに院内伝播による新規保菌患者が発生した場合は、緊急の感染防止委員会を開き対策を協議するとともに、岐阜市保健所に報告、岐阜県院内感染対策協議会に調査指導を依頼、岐阜県周産期医療協議会に事前調整を依頼することとした。 ・継続的にICTが感染対策に介入しており、新生児センターにおけるMRSA保菌者数や新規伝播数は減少してきている。 ・平成26年3月18日より、「感染制御支援システム」の1次稼働が開始された。 ・平成25年度、感染防止委員会主催研修会4回/年、ICTによる感染防止研修会6回/年を開催し、のべ参加人数は1,969名。参加できなかった医師については、所属部長または感染防止対策推進責任者監督下で感染防止対策に関するビデオ視聴を行い、アンケート調査にて評価した。			

1-1-2 患者・住民サービスの向上

中期目標	来院から診察、検査、会計等に至る全てのサービスの待ち時間の改善、快適性及びプライバシー確保に配慮した院内環境の整備、医療情報に関する相談体制の整備・充実など、病院が提供する全てのサービスについて患者の利便性の向上に努めること。 また、病院運営に関し、患者のみならず地域住民の意見を取り入れる仕組みを作り、患者・住民サービスの向上を図ること。
------	---

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
09	・待ち時間及び検査・手術待ちの改善等 電子カルテ導入によるペーパーレス化、フィルムレス化とともに、他科の診療情報の共有、他医療機関との連携など医療体制を充実し、業務の効率化とスピード化を図る。また、診療時間帯の延長等の診	IV	IV	IV	・待ち時間及び検査・手術待ちの改善等 ・待ち時間の実態調査(年1回の聞き取り調査及びシステムによる調査「年4回」)を実施し、平均待ち時間を5分短縮できるよう検討を行う。 ・診察の待ち時間の短縮を検討するため、各診療科	○外来待ち時間対策 ・検査・診察・治療を患者に合わせてオーダーすることによって院内滞在時間の縮減を図った。 ① 検査が必要な患者に対しては検査を先に実施。	IV			

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																												
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																											
	療時間の弾力化など各種取組により待ち時間の短縮を図る。					<p>の診察枠の見直し等を検討する。 ・他科の診療情報の共有、他医療機関との連携など医療体制を充実し、業務の効率化とスピード化を図る。また、診療時間の効率化など各種取組により待ち時間の改善に向けた検討を行う。</p> <p>② 看護師による指導を必要とする患者に対しての指導・説明を待ち時間に実施。 ③ 入院決定患者に対する入院説明は、入院説明室を設置したことで一元化し、外来診療科での滞在時間の縮小を図った。 ④ 病診連携による紹介患者については、診察予約時間30分以内の診察を徹底した。</p> <p>平均待ち時間の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>17分</td> <td>26分</td> <td>22分</td> <td>25分</td> </tr> </tbody> </table> <p>※患者満足度調査（アンケート）結果 ※指標を予約時間と実際に診療を開始した時間までを待ち時間とすることに変更した。</p> <p>・待ち時間の有効活用に向けた取り組みを実施した。</p> <p>① 待ち時間に待合室を離れる患者に対して、希望により携帯電話による呼び出しを行うことで、待ち時間を有効に利用していただけよう便宜を図っている。 ② 診療科に即したパンフレットや図書を配置</p> <p>・待ち時間調査の実施 患者満足度調査にあわせて、待ち時間調査を実施（9/12）するとともに、システムによる待ち時間の把握を年4回行い、状況の把握に努めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>待ち時間</th> <th>～30分</th> <th>30～2時間</th> <th>2時間～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23.8月</td> <td>40.1%</td> <td>54.8%</td> <td>5.3%</td> </tr> <tr> <td>H24.1月</td> <td>51.9%</td> <td>42.8%</td> <td>5.3%</td> </tr> <tr> <td>H25.1月</td> <td>49.4%</td> <td>45.9%</td> <td>4.6%</td> </tr> <tr> <td>H26.1月</td> <td>35.6%</td> <td>56.4%</td> <td>8.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H25年度中における待ち時間の検証 引き続き待ち時間解消への取り組みを実施しているものの、外来患者数の増加に伴い平均</p>	H22	H23	H24	H25	17分	26分	22分	25分	待ち時間	～30分	30～2時間	2時間～	H23.8月	40.1%	54.8%	5.3%	H24.1月	51.9%	42.8%	5.3%	H25.1月	49.4%	45.9%	4.6%	H26.1月	35.6%	56.4%	8.0%			
H22	H23	H24	H25																																		
17分	26分	22分	25分																																		
待ち時間	～30分	30～2時間	2時間～																																		
H23.8月	40.1%	54.8%	5.3%																																		
H24.1月	51.9%	42.8%	5.3%																																		
H25.1月	49.4%	45.9%	4.6%																																		
H26.1月	35.6%	56.4%	8.0%																																		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																									
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																								
							<p>待ち時間は、伸びる結果となっている。</p> <p>【外来患者数】 H24 : 297, 289 人→H25 : 314, 349 人</p> <p>【一日平均】 H24 : 1, 213 人→H25 : 1, 288 人</p> <p>・支払い窓口（自動精算機）の増設 平成24年度から診療費の支払い待ち時間の短縮のため、診療費自動精算機を1台から3台に増設し、従来の支払窓口2窓と併せて5窓体制をとっている。</p>																											
	<p>・検査の効率的な実施や検査機器の稼働率向上等により、検査待ちの改善を図る。</p>				<p>・検査の効率的な実施や検査機器の稼働率向上等により、検査待ち時間の改善に向けた検討を行う。</p> <p>・臨床検査科での各種検査の精度管理を推し進め、業務や機器運用の見直しにより結果報告までの時間短縮を図る。</p> <p>・中央採血室における採血待ちや心電図、超音波の待ち時間短縮に努める。</p>	<p>○臨床検査部門</p> <p>・超音波検査（生理検査部門）技師の配置状況 H24 : 6.5 名 → H25 : 6.5 名</p> <p>・超音波検査予約枠の増設、変更 診療科からの要望に対して、予約枠の増設、変更を行なった。</p> <p>・超音波検査件数の増加（外来分） H24 : 14, 737 件 → H25 : 16, 361 件 (11.0%増)</p> <p>・超音波検査待ち時間の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>総数</th> <th>60分 未満</th> <th>～90 分</th> <th>90分 超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22.4</td> <td>1, 208 件</td> <td>97.4%</td> <td>2.3%</td> <td>0.3%</td> </tr> <tr> <td>H23.4</td> <td>1, 292 件</td> <td>98.6%</td> <td>1.3%</td> <td>0.1%</td> </tr> <tr> <td>H24.4</td> <td>1, 505 件</td> <td>98.2%</td> <td>1.7%</td> <td>0.1%</td> </tr> <tr> <td>H25.4</td> <td>1, 782 件</td> <td>96.8%</td> <td>2.9%</td> <td>0.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・超音波検査件数の急激な増加により、待ち時間が延長した。</p> <p>・中央採血室：採血開始時間を8時00分に繰り上げたことにより待ち時間の短縮が認められた。</p> <p>○中央放射線部門</p> <p>・CT検査予約枠変更 CT検査を、2台の装置毎に検査内容で振り分ける予約枠に変更し、より有効的な運用による待ち日</p>		総数	60分 未満	～90 分	90分 超	H22.4	1, 208 件	97.4%	2.3%	0.3%	H23.4	1, 292 件	98.6%	1.3%	0.1%	H24.4	1, 505 件	98.2%	1.7%	0.1%	H25.4	1, 782 件	96.8%	2.9%	0.3%			
	総数	60分 未満	～90 分	90分 超																														
H22.4	1, 208 件	97.4%	2.3%	0.3%																														
H23.4	1, 292 件	98.6%	1.3%	0.1%																														
H24.4	1, 505 件	98.2%	1.7%	0.1%																														
H25.4	1, 782 件	96.8%	2.9%	0.3%																														

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																			
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																		
						<p>数の短縮を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> MR検査数増加への対応 予約検査待ち日数解消のため、時間外検査枠を増設し待ち日数の短縮を図る。また、MR I装置のアップグレードを行ったことによる検査数が大幅に増加し、待ち日数が短縮された。 検査件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>CT 外来</th> <th>CT 入院</th> <th>MR 外来</th> <th>MR 入院</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>22,636</td> <td>5,841</td> <td>7,994</td> <td>1,693</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>24,488</td> <td>6,256</td> <td>10,115</td> <td>2,168</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>27,048</td> <td>7,062</td> <td>10,810</td> <td>2,141</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 検査待ち日数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT</td> <td>10 日</td> <td>7 日</td> <td>4 日</td> <td>4 日</td> </tr> <tr> <td>MR I</td> <td>17 日</td> <td>21 日</td> <td>14 日</td> <td>12 日</td> </tr> </tbody> </table>		CT 外来	CT 入院	MR 外来	MR 入院	H23	22,636	5,841	7,994	1,693	H24	24,488	6,256	10,115	2,168	H25	27,048	7,062	10,810	2,141		H22	H23	H24	H25	CT	10 日	7 日	4 日	4 日	MR I	17 日	21 日	14 日	12 日			
	CT 外来	CT 入院	MR 外来	MR 入院																																								
H23	22,636	5,841	7,994	1,693																																								
H24	24,488	6,256	10,115	2,168																																								
H25	27,048	7,062	10,810	2,141																																								
	H22	H23	H24	H25																																								
CT	10 日	7 日	4 日	4 日																																								
MR I	17 日	21 日	14 日	12 日																																								
	<ul style="list-style-type: none"> 医師等の配置及び手術室の運用の改善等により、手術の実施体制を再整備し、手術待ちの改善を図る。 				<ul style="list-style-type: none"> 平成23年度に総合麻酔センターを設置し、麻酔医4名から6名へ増員し機能を強化した。平成25年度は、手術部の問題点の抽出に努め、手術枠の効率的な運用を考え実施することで、手術件数を増大させ(目標値6,200件)手術待ち時間の改善につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術の内容に応じた手術枠の弾力的運用、手術機材のキット化(あらかじめセットしている状態)を促進したことによる準備期間の短縮及び麻酔科医の増員により、手術室稼働率の向上を図り手術待ち時間を短縮できた。 <p>時間内手術室稼働率・総手術件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>稼働率 (%)</td> <td>55.2</td> <td>56.9</td> <td>62.9</td> <td>61.2</td> </tr> <tr> <td>件数</td> <td>5,407</td> <td>5,614</td> <td>6,029</td> <td>6,506</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	H24	H25	稼働率 (%)	55.2	56.9	62.9	61.2	件数	5,407	5,614	6,029	6,506																							
	H22	H23	H24	H25																																								
稼働率 (%)	55.2	56.9	62.9	61.2																																								
件数	5,407	5,614	6,029	6,506																																								
10	<ul style="list-style-type: none"> 院内環境の快適性向上 患者のプライバシー確保に配慮した院内環境の整備に努め、病室、待合室、トイレ等を計画的に改修・補修し、快適な院内環境を整備する。 	III	III	III	<ul style="list-style-type: none"> 院内環境の快適性向上 患者や来院者により快適な環境を提供するため、次期発注工事の内容についても検討を行い、ニーズに合った院内環境の整備に努め、院内施設の案内表示等の改善や病室、待合室、トイレ等を計画的に改修・補修し、快適な院内環境を整備する。 患者ニーズを踏まえ、院内売店の飲食物・アメニティグッズ等の種類・量を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 患者や来院者により快適な環境を提供するため、ニーズに合った院内環境の整備に努め、院内施設の案内表示等の改善や病室、待合室にテレビを設置(文字放送)するなど、快適な院内環境を整備した。 売店前に机及び椅子を配置し、患者ならびに患者家族に快適な環境を整備した。 	III																																					
	<ul style="list-style-type: none"> 治療効果を上げるための栄養管理の充実と患者の 				<ul style="list-style-type: none"> 治療効果を上げるための栄養管理を充実し、患者 	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度嗜好調査を実施し、その結果を日々の 																																						

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																							
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																						
	嗜好に配慮した選択メニューの拡充等、病院給食の改善を図る。					<p>の嗜好に配慮したメニューを拡充するため、患者嗜好調査を実施し、病院給食の改善を図る。</p> <p>給食管理に反映した。</p> <p>調査内容：食欲、主・副食の状況（喫食状況、残さの理由、炊き方・味付け、味、種類等）、満足度、自由意見等</p> <p>実施日：平成25年12月18日</p> <p>対象者：一般食患者82人 特別食患者89人</p> <p>結果：給食に対する満足度では、普通以上に満足との回答率が一般食87%、特別食（糖尿病・心臓病・腎臓病）75%であった。</p> <p>・治療効果を上げるため、病名と病態に合った食種の食事を提供できるよう入院時のチェック体制を強化し、栄養管理の充実を図った。</p> <p>・患者の満足度を上げるため、季節毎の行事食がなかった月に5日間の行事食を増加するとともに、提供内容の改善を図った。</p> <p>・糖尿病食にも選択メニューを実施できるよう献立作成作業を推進した。</p>																										
11	<p>・医療情報に関する相談体制の整備</p> <p>カルテ開示等の個人の診療情報やその他情報公開請求時等における医療情報提供の環境を整備する。また、患者相談室の更なる活用を図り、患者及びその家族への情報開示についても適切に対応する。</p>	III	III	III	<p>・医療情報に関する相談体制の整備</p> <p>情報の取り扱いに対する研修会、講演会を開催し、個人の診療情報やその他情報の取り扱いに対する教育を行う。これにより、カルテ開示等の個人の診療情報やその他情報公開請求時等における医療情報提供の環境を向上させる。また、患者相談室の更なる活用を図り、患者及びその家族への情報開示についても適切に対応する。</p>	<p>・院内に勤務する派遣職員に対する研修の中で、個人情報の取り扱いに関する項目を設け、個人情報保護担当職員による説明を行った。</p> <p>・患者本人又は家族からの請求により、89件の個人情報を開示した。</p> <p>カルテ開示請求件数・開示件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>請求件数</td> <td>59</td> <td>56</td> <td>72</td> <td>89</td> </tr> <tr> <td>開示件数</td> <td>59</td> <td>56</td> <td>72</td> <td>89</td> </tr> </tbody> </table> <p>相談件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療相談</td> <td>5,638</td> <td>4,506</td> <td>4,148</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	H24	H25	請求件数	59	56	72	89	開示件数	59	56	72	89		H23	H24	H25	医療相談	5,638	4,506	4,148	III		
	H22	H23	H24	H25																												
請求件数	59	56	72	89																												
開示件数	59	56	72	89																												
	H23	H24	H25																													
医療相談	5,638	4,506	4,148																													
12	<p>・患者の視点に立ったより良い医療の提供</p> <p>Humanity（人間性を大切にした）に基づいた医療の実践を病院の理念の1つとし、県民に信頼され、患者の立場に立ったより良い医療を提供すると</p>	III	III	III	<p>・患者の視点に立ったより良い医療の提供</p> <p>Humanity（人間性を大切にした）に基づいた医療の実践を病院の理念の1つとし、県民に信頼され、</p>	<p>・本館1階ロビーに、患者の権利、個人情報保護に関する方針を掲示し、同内容を病院ホームページにも掲載した。</p> <p>・外部先進病院から講師を招へいし、医療安全に関</p>	III																									

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項															
	ともに、①平等に安全で良質な医療を受ける権利、②十分な説明の下に患者自身の医療を決定する権利、③個人のプライバシーを守られる権利を岐阜県総合医療センターの患者の権利とし、院内に掲示するとともに、病院案内、入院案内、病院ホームページに掲載し、情報を提供する。					患者の立場に立ったより良い医療を提供するとともに、①平等に安全で良質な医療を受ける権利、②十分な説明の下に患者自身の医療を決定する権利、③個人のプライバシーを守られる権利を岐阜県総合医療センターの患者の権利とし、院内に掲示するとともに、病院案内、入院案内、病院ホームページに掲載し、情報を提供する。	<p>する研修を実施した。</p> <p>タイトル：「Team STEPPS を活用したノンテクニカルスキル改善策」</p> <p>開催時期：平成26年2月</p> <p>参加者数：181名</p> <p>タイトル：「医療者が使える基礎的法知識と患者家族対応力」</p> <p>開催時期：平成25年6月</p> <p>参加者数：220名</p>																		
13	・インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進 必要な情報を患者が理解できる言葉で、提供、説明し、患者自らの判断で治療方針等を決定できるようにインフォームド・コンセントを徹底し、患者等が検査や治療を受けるにあたり、より良い判断をするために、主治医以外の専門医に意見やアドバイスを求めた場合に適切に対応できるように取り組むことで、セカンドオピニオンの推進を図る。	III	III	III		<p>・インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進 治療にあたって必要な情報を患者が理解できる言葉で提供、説明し、十分な助言のもとに自分自身の医療を決定できるようにインフォームド・コンセントを徹底させる。説明の場には、可及的に医療従事者が同席する。治療や検査を受けるにあたり、より良い判断をするために、他病院のセカンドオピニオンを受けやすい環境を整備する。当センターのセカンドオピニオン外来を充実させ相談件数の増加を図る。</p>	<p>・平成24年2月に取得（更新）した病院機能評価を契機に患者にわかりやすい説明が行えるよう各診療科が管理する「同意書」（506件）の内容を点検し、項目等について統一化することで、インフォームド・コンセントの徹底を図った。</p> <p>・セカンドオピニオン実施件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来受入</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>26</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>他院紹介</td> <td>64</td> <td>41</td> <td>47</td> <td>44</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	H24	H25	外来受入	21	21	26	22	他院紹介	64	41	47	44	III		
	H22	H23	H24	H25																					
外来受入	21	21	26	22																					
他院紹介	64	41	47	44																					
14	・患者や周辺住民を対象とした病院運営に関する満足度調査の病院運営への反映 運営の透明性を図り、地域住民から信頼が得られる病院とするため、病院の運営、施設・環境及び患者サービス等に関する意見を運営・管理に反映させるものとする。	III	III	III		<p>・患者や周辺住民を対象とした病院運営に関する満足度調査の病院運営への反映 運営の透明性を図り、患者のみならず地域住民からも信頼が得られる病院とするため、病院の運営、施設・環境及び患者サービス等に関する満足度調査を実施し、運営・管理に反映させるものとする。</p>	<p>・岐阜県総合医療センター運営協議会を開催し、地域の代表者等と意見交流を図り、病院運営に反映した。</p> <p>委員：地元自治会、青年団、老人クラブ、教育関係者、医師会、社会福祉協議会、経営者、保健所、消防署の代表者で構成</p> <p>開催：平成25年11月、平成26年3月</p> <p>主な議題：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県総合医療センターの概要、運営状況（収支）、新棟整備計画について ・法人関係新聞報道記事等について ・患者満足度調査について ・当センターの新たな取り組みについて、実際の現場を委員にご覧いただいた。 	III																	
15	・患者支援システム（メタボリックシンドローム予防センター）の創設 患者支援システムは、①生活指導教室、②専門	III	III	III		<p>・患者支援システム（メタボリックシンドローム予防センター）の創設 ①生活指導教室、②特殊外来（女性外来、漢方外</p>	<p>・メタボリックシンドローム予防センターを中心とした「患者教育」に重点をおいた生活習慣病の予防（患者支援システム）の構築を目指した。</p>	III																	

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																																																
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																																															
	<p>外来（女性外来、禁煙外来）、③緩和医療、④スキンケア（ストーマ、褥瘡（じょくそう））・NST（栄養サポートチーム）、⑤看護外来により構成し、特にメタボ予防を目的とした「患者教育」を実施し再発防止に取り組む。なお、再診料、指導管理料など保険医療にも裏付けされた医療を実施し、医療計画と連携した患者支援システムとする。</p>					<p>来、メタボリック生活指導外来、禁煙外来、もの忘れ外来、頭痛外来など）、③緩和医療、④服薬指導、⑤栄養指導、栄養サポートなど診療に患者自身が参加し、患者が守るべき療養上の課題について学ぶ機会を多方面から提供する。なお、再診料、指導管理料など保険医療にも裏付けされた医療を実施し、医療計画と連携した患者支援システムとする。また、⑥総合相談センター（平成23年度設置）による患者が相談しやすい体制をつくる。</p> <p>末期がん患者の在宅医療支援については、患者のニーズを踏まえ、がん相談支援センターの機能の充実に努める。</p>	<p>・肥満の患者が増加しているため、栄養指導や検査など実施していき、減量を図るようにした。</p> <p>・専門外来受診患者数が多いため、関連した診療科の協働を図るようにした。</p> <p>① メタボリック予防センター診療実績 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>メタボ外来</td> <td>370</td> <td>661</td> <td>325</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>メタボ看護外来</td> <td>178</td> <td>137</td> <td>53</td> <td>73</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 生活指導教室 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>糖尿病教室</td> <td>44</td> <td>87</td> <td>85</td> <td>81</td> </tr> <tr> <td>肝臓病教室</td> <td>—</td> <td>21</td> <td>41</td> <td>29</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 専門外来 単位：人</p> <p>○女性外来</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初診</td> <td>118</td> <td>176</td> <td>192</td> <td>181</td> </tr> <tr> <td>再診</td> <td>1,001</td> <td>1,436</td> <td>1,758</td> <td>1,947</td> </tr> </tbody> </table> <p>○禁煙外来 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初診</td> <td>29</td> <td>64</td> <td>68</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>受診者</td> <td>105</td> <td>300</td> <td>290</td> <td>141</td> </tr> <tr> <td>禁煙成功</td> <td>10</td> <td>41</td> <td>42</td> <td>27</td> </tr> </tbody> </table> <p>④ 褥瘡ケア</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>院内発生件数</td> <td>113</td> <td>128</td> <td>133</td> <td>131</td> </tr> <tr> <td>院内発生率(%)</td> <td>0.575</td> <td>0.654</td> <td>0.652</td> <td>0.651</td> </tr> </tbody> </table> <p>看護外来 単位：人</p>		H22	H23	H24	H25	メタボ外来	370	661	325	40	メタボ看護外来	178	137	53	73		H22	H23	H24	H25	糖尿病教室	44	87	85	81	肝臓病教室	—	21	41	29		H22	H23	H24	H25	初診	118	176	192	181	再診	1,001	1,436	1,758	1,947		H22	H23	H24	H25	初診	29	64	68	48	受診者	105	300	290	141	禁煙成功	10	41	42	27		H22	H23	H24	H25	院内発生件数	113	128	133	131	院内発生率(%)	0.575	0.654	0.652	0.651		
	H22	H23	H24	H25																																																																																					
メタボ外来	370	661	325	40																																																																																					
メタボ看護外来	178	137	53	73																																																																																					
	H22	H23	H24	H25																																																																																					
糖尿病教室	44	87	85	81																																																																																					
肝臓病教室	—	21	41	29																																																																																					
	H22	H23	H24	H25																																																																																					
初診	118	176	192	181																																																																																					
再診	1,001	1,436	1,758	1,947																																																																																					
	H22	H23	H24	H25																																																																																					
初診	29	64	68	48																																																																																					
受診者	105	300	290	141																																																																																					
禁煙成功	10	41	42	27																																																																																					
	H22	H23	H24	H25																																																																																					
院内発生件数	113	128	133	131																																																																																					
院内発生率(%)	0.575	0.654	0.652	0.651																																																																																					

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証		
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項				自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
							H22	H23	H24	H25			
							フットケア	161	172	212	195		
							在宅指導	345	312	145	201		
							NST 依頼件数						
							H22	H23	H24	H25			
							131 件	264 件	421 件	484 件			

1-1-3 診療体制の充実

中期 目標	医療需要の質的・量的変化や新たな医療課題に適切に対応するため、患者動向や医療需要の変化に即して診療部門の充実や見直し、若しくは専門外来の設置や充実など診療体制の整備・充実を図ること。
----------	---

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項				自己 評価	検証 結果
16	<p>・患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</p> <p>地域完結型の病院として、「病診連携室」を充実させ、地域の医療機関、福祉施設をつなぐ架け橋として、患者やその家族が安心して医療が受けられる「地域に開かれた病院」としての機能を果たす。</p>	III	III	III	<p>・患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</p> <p>地域の医療機関、福祉施設をつなぐ架け橋として、患者やその家族が安心して医療が受けられる「地域に開かれた病院」としての機能を果たす。そのため、「病診連携部」「退院調整室」「連携バス部」「なんでも相談室」の機能を充実させ、患者動向や医療需要を把握し、診療体制の整備・充実を図る。</p>	<p>・患者動向や医療需要の変化に対応した組織改編等に積極的に取り組んだ。</p> <p>○新設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅支援センター部の新設 (H25. 4. 1) ・ワクチンセンター部の新設 (H25. 4. 1) ・遺伝子診断/治療外来の新設 (H25. 4. 1) ・内視鏡治療部の新設 (H25. 4. 1)、 ・呼吸器内視鏡部の新設 (H25. 4. 1) ・大腸外科の新設 (H25. 4. 1) ・ホスピタル クオリティ(HQ)センター部の新設 (H25. 5. 1) ・精神腫瘍科の新設 (H25. 7. 1) ・第三麻酔科の新設 (H25. 7. 10) ・ハイブリッドセンター部の新設 (H25. 9. 1) ・核医学診療センターの新設 (H25. 10. 1) ・総合外来センター、専門外来部、専門ドック部、入院前検査センターの新設等 (H25. 10. 1) ・臨床栄養科、栄養センター、臨床栄養部、NST 	III					

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
						部の新設 (H25. 10. 1) ・院長補佐の新設 (H26. 1. 1) ・入退院管理室の新設 (H26. 1. 1) ○変更 ・研修センター→総合研修センターへ名称変更等 (初期研修医担当、後期研修医担当、歯科研修医 担当、総合研修部の新設) (H25. 4. 1) ・医療サービス課→医事課へ名称変更等 (診療情報 解析担当、企画財務担当の新設等) (H25. 4. 1) ・在宅支援センター部→自宅退院サポートセンター 部へ名称変更 (H25. 9. 1)				
17	・多様な専門職の積極的な活用 高度な専門性を有する職員の外部からの登用に あたり、その専門性に応じた処遇が可能となる人事 給与制度の構築を図る。 また、定年を迎えた職員のうち、質の高い医療の 提供に寄与すると認められる医師等医療従事者を 活用する再雇用制度の構築を図る。	III	III	III	・多様な専門職の積極的な活用 高度な専門性を有する医師等職員の外部からの登 用にあたり、その専門性に応じた処遇が可能となる 人事給与制度の更なる活用を図る。 また、平成22年度に構築した定年退職者の再雇 用制度を活用し、定年を迎えた職員のうち、質の高 い医療の提供に寄与すると認められる医師等医療従 事者の雇用の充実を図る	・医師については年俸制による雇用制度を活用し、 高度な専門性を有する精神科医 (精神腫瘍科) を登 用した。 精神科医師 H24 : 1 名 → H25 : 2 名 ・非常勤職員の再雇用制度を活用し、質の高い医療 の提供に寄与すると認められる薬剤師、看護師を再 雇用し、更なる充実を図った。	III			
					・平成23年4月設置された総合相談センターでは 総合案内・相談受付の窓口となり、各種相談を適切 な部署、専門職員が相談を受ける仕組みを構築した が、この仕組みをよりわかりやすく充実させる。	・総合相談センター (コンシェルジュ) を常時2名 配置し、多岐にわたる相談窓口の一元化を図るとと もに、苦情についても各部門に担当者を選任し、た らい回しとしない体制を構築している。 ・相談業務と併せて介助者を配置し、肢体不自由者 の受け入れ体制を充実した。				

1-1-4 近隣の医療機関等との役割分担及び連携

中期目標	近隣の医療機関等との役割分担を明確にするとともに病病連携・病診連携を一層推進し、地域の実情に応じて岐阜地域の基幹病院としての機能を引き続き発揮し、県民が求める医療を実施すること。さらに、退院後の療養に関する各種情報を提供することにより、医療から介護・福祉へと切れ目のないサービス提供の促進を図ること。
------	--

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																									
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																								
18	<p>・近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上</p> <p>近隣の医療機関との役割分担の明確化と地域の医療機関との連携及び協力体制の充実を図るとともに、「地域医療支援病院」として、紹介率（40%以上）、逆紹介率（60%以上）の強化をめざし、また「病病連携」や「病診連携」をさらに推進する。</p>	IV	III	IV	<p>・近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上</p> <p>本院と地域の病院・診療所がそれぞれの特性を生かしながら機能分担し、患者が病状に即した医療を受診できるよう地域全体で協力し、ケアしていくため、地域の医療機関との連携及び協力体制の更なる充実を図るとともに、「地域医療支援病院」として、紹介率（50%以上）、逆紹介率（70%以上）の安定的な維持をめざす。</p> <p>また、開放型病床未登録医療機関に対して、登録を積極的に依頼していく。</p>	<p>・近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率は年度計画を達成し、地域医療支援病院として、地域医療の中核機能を果たした。</p> <p>紹介率・逆紹介率</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>61.5%</td> <td>61.8%</td> <td>63.3%</td> <td>64.2%</td> </tr> <tr> <td>紹介実件数</td> <td>13,330 件</td> <td>13,538 件</td> <td>14,524 件</td> <td>15,079 件</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>73.4%</td> <td>72.7%</td> <td>75.7%</td> <td>78.1%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介実件数</td> <td>16,937 件</td> <td>16,867 件</td> <td>18,488 件</td> <td>19,587 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・地域医療連携推進協議会の開催 当院の地域医療の現状と医療連携に係る問題点等について意見交換を実施した。</p> <p>第1回：平成25年6月24日 第2回：平成25年9月4日 第3回：平成25年12月9日 第4回：平成26年3月11日</p>		H22	H23	H24	H25	紹介率	61.5%	61.8%	63.3%	64.2%	紹介実件数	13,330 件	13,538 件	14,524 件	15,079 件	逆紹介率	73.4%	72.7%	75.7%	78.1%	逆紹介実件数	16,937 件	16,867 件	18,488 件	19,587 件	IV		
	H22	H23	H24	H25																														
紹介率	61.5%	61.8%	63.3%	64.2%																														
紹介実件数	13,330 件	13,538 件	14,524 件	15,079 件																														
逆紹介率	73.4%	72.7%	75.7%	78.1%																														
逆紹介実件数	16,937 件	16,867 件	18,488 件	19,587 件																														
19	<p>・地域連携クリニカルパスの整備普及</p> <p>作成されたクリニカルパスの有効性を検証し、達成率を向上させる。また、既に進行中の急性心筋梗塞、脳卒中、大腿骨頸部骨折等の連携パスについては、更なる改善・充実を図る。5大がん、生活習慣病などについても、連携パスの作成・普及に努めるものとする。</p>	III	III	III	<p>・地域連携クリニカルパスの整備普及</p> <p>作成されたクリニカルパスの有効性を検証し、達成率を向上させる。また、既に運用中の急性心筋梗塞、脳卒中、大腿骨頸部骨折、ウイルス性肝炎等の連携パスについては、更なる改善・充実を図るとともに平成23年から運用が開始された5大がん（胃がん、大腸がん、肝臓がん、肺がん、乳がん）の地域連携パスについても、大学病院等関係医療機関と</p>	<p>・連携パス部では、院内への周知、定期的なモニタリングを行い、院内外の相談窓口となり連絡調整を行った。</p> <p>・地域の医師会、大学病院を中心として、平成25年度は下記のとおり会合を持ち、各パスのワーキングへの出席時に問題提起し、改善へとつなげた。</p>	III																											

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																																																	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																																																
						<p>共同で取り組む。また、岐阜地域医師会連携パス機構による連携パスの院内での普及、活用に努め、適用率を高める。</p>	<p>・地域連携パスの検証状況（平成25年度学習会開催数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>5大がん</td><td>1</td></tr> <tr><td>脳卒中</td><td>2</td></tr> <tr><td>肝炎</td><td>1</td></tr> <tr><td>急性心筋梗塞</td><td>3</td></tr> <tr><td>大腿骨頸部骨折</td><td>6</td></tr> <tr><td>泌尿器</td><td>1</td></tr> <tr><td>サポートパス（緩和ケア）</td><td>2</td></tr> <tr><td>コーディネータ検討会</td><td>7</td></tr> <tr><td>専門部会・運営委員会</td><td>2</td></tr> </tbody> </table> <p>・岐阜地域連携クリニカルパスは現在21種類あり、当院での運用実績は以下のとおりである。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>連携パス名</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>急性心筋梗塞</td><td>10件</td><td>6件</td><td>19件</td><td>18件</td></tr> <tr><td>大腿骨頸部骨折</td><td>160件</td><td>91件</td><td>90件</td><td>94件</td></tr> <tr><td>脳卒中</td><td>72件</td><td>203件</td><td>221件</td><td>274件</td></tr> <tr><td>胃癌ステージ1</td><td>5件</td><td>28件</td><td>21件</td><td>18件</td></tr> <tr><td>胃癌ステージ2・3</td><td>2件</td><td>3件</td><td>4件</td><td>10件</td></tr> <tr><td>肝がん</td><td>2件</td><td>1件</td><td>0件</td><td>5件</td></tr> <tr><td>大腸がん</td><td>11件</td><td>46件</td><td>34件</td><td>42件</td></tr> <tr><td>乳がん</td><td>—</td><td>13件</td><td>7件</td><td>—</td></tr> <tr><td>肝炎</td><td>—</td><td>2件</td><td>2件</td><td>2件</td></tr> <tr><td>肺がん</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>10件</td></tr> <tr><td>糖尿病</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>1件</td></tr> </tbody> </table>	区分	回数	5大がん	1	脳卒中	2	肝炎	1	急性心筋梗塞	3	大腿骨頸部骨折	6	泌尿器	1	サポートパス（緩和ケア）	2	コーディネータ検討会	7	専門部会・運営委員会	2	連携パス名	H22	H23	H24	H25	急性心筋梗塞	10件	6件	19件	18件	大腿骨頸部骨折	160件	91件	90件	94件	脳卒中	72件	203件	221件	274件	胃癌ステージ1	5件	28件	21件	18件	胃癌ステージ2・3	2件	3件	4件	10件	肝がん	2件	1件	0件	5件	大腸がん	11件	46件	34件	42件	乳がん	—	13件	7件	—	肝炎	—	2件	2件	2件	肺がん	—	—	—	10件	糖尿病	—	—	—	1件			
区分	回数																																																																																									
5大がん	1																																																																																									
脳卒中	2																																																																																									
肝炎	1																																																																																									
急性心筋梗塞	3																																																																																									
大腿骨頸部骨折	6																																																																																									
泌尿器	1																																																																																									
サポートパス（緩和ケア）	2																																																																																									
コーディネータ検討会	7																																																																																									
専門部会・運営委員会	2																																																																																									
連携パス名	H22	H23	H24	H25																																																																																						
急性心筋梗塞	10件	6件	19件	18件																																																																																						
大腿骨頸部骨折	160件	91件	90件	94件																																																																																						
脳卒中	72件	203件	221件	274件																																																																																						
胃癌ステージ1	5件	28件	21件	18件																																																																																						
胃癌ステージ2・3	2件	3件	4件	10件																																																																																						
肝がん	2件	1件	0件	5件																																																																																						
大腸がん	11件	46件	34件	42件																																																																																						
乳がん	—	13件	7件	—																																																																																						
肝炎	—	2件	2件	2件																																																																																						
肺がん	—	—	—	10件																																																																																						
糖尿病	—	—	—	1件																																																																																						
20	<p>・地域の介護・福祉機関など退院後の療養に関する各種情報の提供 地域の療養機関との連携及び協力の体制の充実を図り、「病診連携」をさらに推進させる。また、退院調整室の機能強化を図る。</p>	III	III	III	<p>・地域の介護・福祉機関など退院後の療養に関する各種情報の提供 MSWの増員（1名、計7名体制）を図るとともに、地域のかかりつけ医や訪問看護師、介護支援専門員等との連携及び協力体制の充実を図るため、合同カンファレンスを積極的に開催するなど、適宜連絡調整を図る。また、地域医療連携センター部や退院調整室等の現状を分析し、機能強化を図るなど「病診連携システム」をさらに推進させる。</p>	<p>・「患者さんの生活を支援するために、地域の関連機関と協力し看護ができるように努めます」を目標に実践した。 ○病診・病病連携の現状及び病診連携システムの取り組み状況 ・開放型病床(100床)の利用状況（利用率）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>66.3%</td> <td>49.4%</td> <td>41.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・オープン病床クリニカルミーティングの開催 開催日：平成26年2月28日（金） 参加者：70名（うち院外：26名）</p>	H23	H24	H25	66.3%	49.4%	41.9%	III																																																																													
H23	H24	H25																																																																																								
66.3%	49.4%	41.9%																																																																																								

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																		
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																	
						<ul style="list-style-type: none"> ・退院調整件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,085 件</td> <td>1,127 件</td> <td>1,484 件</td> </tr> </tbody> </table> ・平成22年4月から介護支援連携を実施し、近隣の居宅介護事業者及び地域包括支援センターと連携を図った。 ・介護施設・ケアマネージャからの連携連絡票数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>254 件</td> <td>255 件</td> <td>224 件</td> </tr> </tbody> </table> ・MSWの新規採用等による増員等（看護師からMSWへの振替）により、退院調整業務について効率化と機能強化を図った。 退院調整看護師 H24：2人→H25：1人 退院調整MSW H24：7人→H25：8人 ・当院の医師、MSW、看護師と退院後の在宅医療を担う医療機関の看護師や訪問看護ステーションの看護師とともに退院前合同カンファレンスを行っている。 ・退院前合同カンファレンスの件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>68 件</td> <td>83 件</td> <td>121 件</td> </tr> </tbody> </table> ・また、退院後に介護サービスの利用が見込まれる患者に対して、当院の看護師とケアプランを作成するケアマネージャと連携して指導を行っている。 	H23	H24	H25	1,085 件	1,127 件	1,484 件	H23	H24	H25	254 件	255 件	224 件	H23	H24	H25	68 件	83 件	121 件			
H23	H24	H25																									
1,085 件	1,127 件	1,484 件																									
H23	H24	H25																									
254 件	255 件	224 件																									
H23	H24	H25																									
68 件	83 件	121 件																									

1-1-5 重点的に取り組む医療

中期目標	<p>高度・先進医療、急性期医療及び政策医療といった他の医療機関においては実施が困難ではあるが県民が必要とする医療を、岐阜県総合医療センターとして重点的に実施すること。</p> <p>特に、「救命救急医療」、「心臓血管疾患医療」、「周産期医療」、「がん医療」、「女性と子ども医療」を、岐阜県総合医療センターにおける重点医療として位置付け、さらに充実・強化して高度で先進的な医療を提供すること。</p> <p>なお、子ども医療については、救急医療体制の強化、高度・専門的な医療を必要とする重症心身障害児の入所施設の整備など、拠点としての機能の一層の充実を図ること。</p>
------	---

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証												
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項											
21	<p>・救命救急センター（救命救急医療）</p> <p>全診療科が対応し、循環器系疾患、外傷を始め、広範囲熱傷、指肢切断、急性薬物中毒などの特殊な症例を含めすべての救命救急疾患に対し即対応できるよう、更なる救命救急センターへの機能の強化と充実を図る。また、脳卒中を主とする脳血管障害には、神経内科・脳神経外科が対応する。</p>	III	III	III		<p>・救命救急センター（救命救急医療）</p> <p>岐阜地区の中核病院の救命救急センターとして、平成24年度に改定された救命救急センター運営マニュアルに基づき、特殊な症例を含めすべての救命救急疾患（精神科疾患を除く）に対し全診療科が対応し、二次・三次救急患者を24時間体制で受け入れ、安心して受診できる体制を確保し、更なる救命救急センターへの機能の強化と充実を図り、「断らない医療」を目指す。</p>	<p>・岐阜地区の中核病院の救命救急センターとして精神科疾患を除く全ての救急疾患を対象に、24時間体制で対応している。また、平成22年6月からは、地域の医療機関との連携による体制をとっている。とくに二次、三次の重症症例及び、複数診療科に係る重症症例を受け入れ救急医療の完結を目指している。臨床検査、放射線検査を常時可能とし、救急関係診療科は24時間呼び出し体制を採り、緊急手術も常時行い得る体制を採っている。各種の高度診断用機器、治療用機器を導入し、高度な医療が提供できるように努めている。日本救急医学会認定医指定施設、基幹災害医療センターに指定されている。</p> <p>・外来担当医は内科系、外科系、小児科系各々1名で24時間体制で対応している。また、夜間（17:15～翌8:30）・休日は地域の医療機関と連携し、外科及び内科の医師の派遣を受けるとともに研修医3名が診療に参加している。入院診療は各診療科部長の責任下の主治医制をとっている。</p> <p>麻酔科医、産婦人科医、内科系および外科系の専門診療科医：オンコール体制により常時専門的診療および手術に対応できる体制を採っている。手術室看護師も当直看護師2名に加えオンコール体制をとっている。</p>	III													
							<p>・病床利用状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延入院患者数</td> <td>8,182人</td> <td>8,633人</td> <td>9,084人</td> </tr> <tr> <td>病床利用率</td> <td>74.5%</td> <td>78.8%</td> <td>83.0%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H23	H24	H25	延入院患者数	8,182人	8,633人	9,084人	病床利用率	74.5%	78.8%	83.0%		
年度	H23	H24	H25																		
延入院患者数	8,182人	8,633人	9,084人																		
病床利用率	74.5%	78.8%	83.0%																		
							<p>・救急車受入台数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急車受入件数</td> <td>4,709件</td> <td>4,931件</td> <td>5,271件</td> </tr> <tr> <td>同 一日平均台数</td> <td>12.9台</td> <td>13.5台</td> <td>14.4台</td> </tr> </tbody> </table>	区分	H23	H24	H25	救急車受入件数	4,709件	4,931件	5,271件	同 一日平均台数	12.9台	13.5台	14.4台		
区分	H23	H24	H25																		
救急車受入件数	4,709件	4,931件	5,271件																		
同 一日平均台数	12.9台	13.5台	14.4台																		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証																																									
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																								
						・救急外来患者（診療科別：上位のみ） 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>診療科・年度</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児科</td> <td>8,936</td> <td>10,230</td> <td>8,241</td> </tr> <tr> <td>消化器内科</td> <td>3,207</td> <td>3,180</td> <td>3,048</td> </tr> <tr> <td>整形外科</td> <td>2,604</td> <td>2,613</td> <td>2,951</td> </tr> <tr> <td>総合診療科</td> <td>2,330</td> <td>3,129</td> <td>3,779</td> </tr> <tr> <td>外科</td> <td>2,193</td> <td>1,907</td> <td>1,842</td> </tr> <tr> <td>循環器内科</td> <td>1,885</td> <td>1,905</td> <td>1,790</td> </tr> <tr> <td>神経内科</td> <td>1,665</td> <td>1,503</td> <td>1,470</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>6,534</td> <td>6,759</td> <td>6,997</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>29,354</td> <td>31,226</td> <td>30,118</td> </tr> </tbody> </table>				診療科・年度	H23	H24	H25	小児科	8,936	10,230	8,241	消化器内科	3,207	3,180	3,048	整形外科	2,604	2,613	2,951	総合診療科	2,330	3,129	3,779	外科	2,193	1,907	1,842	循環器内科	1,885	1,905	1,790	神経内科	1,665	1,503	1,470	その他	6,534	6,759	6,997	計	29,354	31,226	30,118			
診療科・年度	H23	H24	H25																																																	
小児科	8,936	10,230	8,241																																																	
消化器内科	3,207	3,180	3,048																																																	
整形外科	2,604	2,613	2,951																																																	
総合診療科	2,330	3,129	3,779																																																	
外科	2,193	1,907	1,842																																																	
循環器内科	1,885	1,905	1,790																																																	
神経内科	1,665	1,503	1,470																																																	
その他	6,534	6,759	6,997																																																	
計	29,354	31,226	30,118																																																	
22	<p>・心臓血管センター（心臓血管疾患医療） 心筋梗塞をはじめとする虚血性心疾患、慢性心不全、弁膜症等に循環器内科・心臓血管外科が中心となって、内科的・外科的治療をする。</p>	III	III	III	<p>・心臓血管センター（心臓血管疾患医療） 心筋梗塞をはじめとする虚血性心疾患、慢性心不全、弁膜症、大動脈疾患、末梢血管疾患等心臓血管系の疾患患者に対し、内科系の循環器内科と外科系の心臓血管外科が連携して治療するチーム医療を推進するとともに、専門の診療科（不整脈科、心臓カテーテル室）を設け、不整脈治療、カテーテル治療、外科的治療、心臓リハビリテーションなど患者にとって最適な治療を提供する。</p>	<p>・心臓血管センターは内科系の循環器内科と外科系の心臓血管外科が共同で心臓血管系の疾患を治療する部門で県内でも初めての施設である。</p> <p>・年間の手術件数（平成25年度実績）は、277例で、心臓外科領域では、冠動脈バイパス術などの虚血性心疾患が68例、人工弁置換術、弁形成術などの弁膜症が38例などである。血管外科領域では、大動脈瘤手術、ステントグラフト内挿術などの大血管が103例、動脈バイパス術などの末梢血管が12例などである。</p> <p>・H25年度ハイブリッド手術室の完成により、循環器内科と心臓血管外科による腹部・胸部ステントグラフト内挿術が大幅に増加した。</p>				IV																																										
						<p>・手術・検査数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>心臓カテーテル</td> <td>1,619</td> <td>1,600</td> <td>1,592</td> <td>1,544</td> </tr> <tr> <td>PCI（経皮的冠動脈形成術）</td> <td>460</td> <td>443</td> <td>471</td> <td>495</td> </tr> </tbody> </table>				項目・年度	H22	H23	H24	H25	心臓カテーテル	1,619	1,600	1,592	1,544	PCI（経皮的冠動脈形成術）	460	443	471	495																												
項目・年度	H22	H23	H24	H25																																																
心臓カテーテル	1,619	1,600	1,592	1,544																																																
PCI（経皮的冠動脈形成術）	460	443	471	495																																																

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証																																											
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項				自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																									
						・循環器系 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Ablat</td> <td>97</td> <td>135</td> <td>137</td> <td>172</td> </tr> <tr> <td>PMI</td> <td>52</td> <td>57</td> <td>60</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>CRT</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>ICD</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>23</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>CRT-D</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> ・心臓呼吸器外科系 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>EVAR</td> <td>15</td> <td>42</td> <td>37</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>TEVAR</td> <td>1</td> <td>7</td> <td>11</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table>	項目・年度	H22	H23	H24	H25	Ablat	97	135	137	172	PMI	52	57	60	95	CRT	1	2	3	3	ICD	15	15	23	25	CRT-D	3	5	8	8	項目・年度	H22	H23	H24	H25	EVAR	15	42	37	51	TEVAR	1	7	11	18			
項目・年度	H22	H23	H24	H25																																																		
Ablat	97	135	137	172																																																		
PMI	52	57	60	95																																																		
CRT	1	2	3	3																																																		
ICD	15	15	23	25																																																		
CRT-D	3	5	8	8																																																		
項目・年度	H22	H23	H24	H25																																																		
EVAR	15	42	37	51																																																		
TEVAR	1	7	11	18																																																		
23	・母とこども医療センター（周産期医療とこども医療） 総合周産期母子医療センター（総合周産期部）、 新生児医療センター（新生児内科）、小児総合医療 センター（小児科、小児外科、小児心臓外科、小児 脳神経外科等）の3つのセンターを基幹とするよう 再編し、センターの枠を超えた母とこどもの総合的 な医療を実施する。新生児医療センターではドク ターカー（すこやか号）により、他病院・医院で 出産した未熟児をはじめとする新生児疾患患者を 医師同乗で搬送・入院することで、後遺症なき発 育を目指す。また、各センターの充実を図ること で、より高度なチーム医療を目指す。	III	III	III	・母とこども医療センター（周産期医療とこども 医療） 産科・総合周産期部、小児医療関係各科（小児科、 小児循環器内科、小児腎臓内科、小児心臓外科、 小児外科、小児脳神経外科等）・新生児内科を基 幹として、各科の枠を超えた母とこどもの総合 的な高度医療を提供する。新生児医療センター では専用のドクターカー（すこやか号）により、 他病院・医院で出産した未熟児をはじめとする 新生児疾患患者を医師同乗で搬送・入院するこ ことで、後遺症なき発育を目指す。また、各セ ンター等の充実を図ることで、より高度なチ ーム医療を目指す。	・4階のフロア全体と3階及び5階のフロアの 一部で構成され、新生児センター機能とハイリ スクの妊産婦等の医療機能などを統合し、産婦 人科と小児科の枠を超えた高度医療を提供して いる。合併症妊娠や異常妊娠、多胎妊娠、産 褥異常、胎児異常等の患者の診療を行っている。 ・当院は、新生児センターと隣接しており、ま た中央手術部にも1Wayで搬送できるので、い かなる周産期異常に対しても最良の体制で対 処している。 ・総合周産期母子医療センターには、当院に 受診されている妊婦だけではなく、県内や県 外からの医療機関から、ヘリコプターや救急 車による緊急母体搬送などで紹介されてくる ハイリスク妊婦を24時間態勢で、可能な限 り受け入れ、産科と新生児科が連携をとりな がら総合的なチーム医療を行っている。 ・新生児センターにおけるMRSA感染対策の ため、平成25年11月6日から12月5日まで 母体・救急搬送の受け入れを中止したことによ り、母体・救急搬送件数が減少した。また、 それに伴って、産科から他院へ母体・救急搬 送した症例が5件、新生児搬送した症例が2 件あった。	III																																															

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																																																																																																																
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																																																																																																															
						<p>・母体搬送の受け入れ件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分・年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>母体搬送</td> <td>122</td> <td>170(4)</td> <td>166(8)</td> <td>127(7)</td> </tr> <tr> <td>救急搬送</td> <td>16</td> <td>11</td> <td>14</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ () 数値はヘリコプター搬送</p> <p>・当医院でのネットワーク調整件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調整理由・年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産科病末満室</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>産科医師手術・処置</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>N I C U満末</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>・産科合併症 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>早産</td> <td>129</td> <td>145</td> <td>111</td> <td>115</td> </tr> <tr> <td>P I H</td> <td>35</td> <td>49</td> <td>60</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>常位胎盤・早期剥離</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>胎盤位置異常</td> <td>17</td> <td>32</td> <td>29</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>羊水の異常</td> <td>0</td> <td>9</td> <td>2</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>血液型不適</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>胎児異常</td> <td>8</td> <td>32</td> <td>18</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>I U G R</td> <td>16</td> <td>25</td> <td>14</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table> <p>・合併症妊娠 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>婦人科系疾患</td> <td>22</td> <td>36</td> <td>28</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>心・血管疾患</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>血液疾患</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>腎疾患</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>糖尿病・妊娠性糖尿病</td> <td>6</td> <td>23</td> <td>12</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>甲状腺疾患</td> <td>11</td> <td>17</td> <td>12</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>自己免疫・膠原病</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>呼吸器疾患</td> <td>3</td> <td>22</td> <td>10</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>消化器疾患</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>精神・神経系</td> <td>5</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>運動機能系</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	区分・年度	H22	H23	H24	H25	母体搬送	122	170(4)	166(8)	127(7)	救急搬送	16	11	14	11	調整理由・年度	H22	H23	H24	H25	産科病末満室	1	5	1	3	産科医師手術・処置	1	0	1	0	N I C U満末	5	4	0	4	その他	—	—	1	2	項目・年度	H22	H23	H24	H25	早産	129	145	111	115	P I H	35	49	60	44	常位胎盤・早期剥離	7	2	5	9	胎盤位置異常	17	32	29	39	羊水の異常	0	9	2	14	血液型不適	1	0	0	2	胎児異常	8	32	18	39	I U G R	16	25	14	13	項目・年度	H22	H23	H24	H25	婦人科系疾患	22	36	28	38	心・血管疾患	6	5	5	23	血液疾患	0	2	2	1	腎疾患	2	6	3	10	糖尿病・妊娠性糖尿病	6	23	12	28	甲状腺疾患	11	17	12	26	自己免疫・膠原病	0	5	4	8	呼吸器疾患	3	22	10	31	消化器疾患	2	0	3	18	精神・神経系	5	11	12	33	運動機能系	0	1	0	3		
区分・年度	H22	H23	H24	H25																																																																																																																																																					
母体搬送	122	170(4)	166(8)	127(7)																																																																																																																																																					
救急搬送	16	11	14	11																																																																																																																																																					
調整理由・年度	H22	H23	H24	H25																																																																																																																																																					
産科病末満室	1	5	1	3																																																																																																																																																					
産科医師手術・処置	1	0	1	0																																																																																																																																																					
N I C U満末	5	4	0	4																																																																																																																																																					
その他	—	—	1	2																																																																																																																																																					
項目・年度	H22	H23	H24	H25																																																																																																																																																					
早産	129	145	111	115																																																																																																																																																					
P I H	35	49	60	44																																																																																																																																																					
常位胎盤・早期剥離	7	2	5	9																																																																																																																																																					
胎盤位置異常	17	32	29	39																																																																																																																																																					
羊水の異常	0	9	2	14																																																																																																																																																					
血液型不適	1	0	0	2																																																																																																																																																					
胎児異常	8	32	18	39																																																																																																																																																					
I U G R	16	25	14	13																																																																																																																																																					
項目・年度	H22	H23	H24	H25																																																																																																																																																					
婦人科系疾患	22	36	28	38																																																																																																																																																					
心・血管疾患	6	5	5	23																																																																																																																																																					
血液疾患	0	2	2	1																																																																																																																																																					
腎疾患	2	6	3	10																																																																																																																																																					
糖尿病・妊娠性糖尿病	6	23	12	28																																																																																																																																																					
甲状腺疾患	11	17	12	26																																																																																																																																																					
自己免疫・膠原病	0	5	4	8																																																																																																																																																					
呼吸器疾患	3	22	10	31																																																																																																																																																					
消化器疾患	2	0	3	18																																																																																																																																																					
精神・神経系	5	11	12	33																																																																																																																																																					
運動機能系	0	1	0	3																																																																																																																																																					

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																													
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																												
						<ul style="list-style-type: none"> ・ハイリスク妊婦・分娩等 (対象者) 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分・年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合周産期加算</td> <td>262</td> <td>314</td> <td>299</td> <td>287</td> </tr> <tr> <td>ハイリスク妊娠</td> <td>47</td> <td>66</td> <td>58</td> <td>77</td> </tr> <tr> <td>ハイリスク分娩</td> <td>17</td> <td>40</td> <td>34</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>救急加算</td> <td>122</td> <td>171</td> <td>172</td> <td>131</td> </tr> </tbody> </table> ・助産師外来・保健指導実績 (件数) <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保健指導</td> <td>867</td> <td>992</td> <td>896</td> <td>978</td> </tr> <tr> <td>助産師外来</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>母乳相談</td> <td>129</td> <td>210</td> <td>169</td> <td>254</td> </tr> </tbody> </table> ・新生児センター運営状況 ・MRSA感染対策のため、平成25年11月5日から12月4までの1ヶ月間、新規受け入れ停止したことで、総入院患者数は前年度より減少した。 ・受け入れ開始後も、段階的に入院患者を増やすようにコントロールし、院外出生に関しては、三角搬送で対応したため、院外出生の入院患者数が減少した。 ・超低出生体重児、極低出生体重児の入院数は新規受け入れ停止前の入院数が多かったため、総数としては前年度よりも増加している。 ・手術件数は年々増加してきている。前年度よりも超低出生体重児が増えたことにより、動脈管閉鎖術が昨年と同様の件数に増加した。また、先天性水頭症の症例が多くなったことで、小児脳外科の手術件数も増加している。 	区分・年度	H22	H23	H24	H25	総合周産期加算	262	314	299	287	ハイリスク妊娠	47	66	58	77	ハイリスク分娩	17	40	34	32	救急加算	122	171	172	131	項目・年度	H22	H23	H24	H25	保健指導	867	992	896	978	助産師外来	2	2	1	0	母乳相談	129	210	169	254			
区分・年度	H22	H23	H24	H25																																																		
総合周産期加算	262	314	299	287																																																		
ハイリスク妊娠	47	66	58	77																																																		
ハイリスク分娩	17	40	34	32																																																		
救急加算	122	171	172	131																																																		
項目・年度	H22	H23	H24	H25																																																		
保健指導	867	992	896	978																																																		
助産師外来	2	2	1	0																																																		
母乳相談	129	210	169	254																																																		
						<p style="text-align: right;">単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>院内出生</td> <td>197</td> <td>224</td> <td>183</td> <td>181</td> </tr> <tr> <td>院外出生</td> <td>136</td> <td>132</td> <td>154</td> <td>112</td> </tr> <tr> <td>母体搬送</td> <td>81</td> <td>110</td> <td>92</td> <td>82</td> </tr> <tr> <td>超低出生体重児</td> <td>12</td> <td>25</td> <td>13</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>極低出生体重児</td> <td>33</td> <td>54</td> <td>23</td> <td>47</td> </tr> </tbody> </table>	項目・年度	H22	H23	H24	H25	院内出生	197	224	183	181	院外出生	136	132	154	112	母体搬送	81	110	92	82	超低出生体重児	12	25	13	15	極低出生体重児	33	54	23	47																		
項目・年度	H22	H23	H24	H25																																																		
院内出生	197	224	183	181																																																		
院外出生	136	132	154	112																																																		
母体搬送	81	110	92	82																																																		
超低出生体重児	12	25	13	15																																																		
極低出生体重児	33	54	23	47																																																		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証																																									
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項				自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																							
						・新生児手術状況 (件数) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児心臓外科</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>5</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>小児脳神経外科</td> <td>5</td> <td>8</td> <td>5</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>小児外科</td> <td>13</td> <td>19</td> <td>31</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>耳鼻科(気管切開)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>				項目・年度	H22	H23	H24	H25	小児心臓外科	6	8	5	8	小児脳神経外科	5	8	5	11	小児外科	13	19	31	24	耳鼻科(気管切開)	1	1	3	3																		
項目・年度	H22	H23	H24	H25																																																
小児心臓外科	6	8	5	8																																																
小児脳神経外科	5	8	5	11																																																
小児外科	13	19	31	24																																																
耳鼻科(気管切開)	1	1	3	3																																																
24	・がん医療センター (がん医療) がんに対し、早期発見、早期治療など根治治療を実施する。がん末期患者に対しては医師、薬剤師、看護師などからなる緩和ケアチームが、がんによる痛みや不安などの苦痛をできる限り少なくし、患者と家族がよりよい生活を送ることができるよう支援する。	III	III	III	・がん医療センター (がん医療) 平成25年度はがん診療連携拠点病院の再評価を受ける年度であるが、指定条件を踏まえつつがん拠点病院として各部署の機能を一層充実させ、実績(治療患者数、相談件数の増加など)を積み、引き続き地域の患者と医療機関の信頼を得るべく、あらゆる病期のがん患者に対して、診療ガイドラインに基づいた質の高い医療を提供していく。早期診断、早期治療に努めるとともに、進行がん患者に対しては、手術、放射線療法、化学療法などを駆使しての集学的治療により、さらなる治療成績の向上をめざす。ダヴィンチによるロボット手術が前立腺がん手術を中心に開始されたが、これを契機に各診療科における鏡視下手術をはじめとする先進的治療を積極的に展開させる。岐阜県共通の5大がん連携パスを活用して、一層緊密な病診連携をすすめる。原発不明癌や複数診療科にまたがる症例などについては、がんセンターボードで検討のうえ、当センターとしての治療方針を決定して治療にあたる。外来化学療法患者数の増加を図り、新棟6階の化学療法センター(20床)開設にむけての実績をつくる。また化学療法室スタッフ(看護師、薬剤師)を増員し、より安全で効率的な運営を図る。緩和ケアに関しては、がんの診断時から緩和ケアチームが積極的ににかかわり、相談件数を増加させる。緩和ケア外来の患者数、緩和ケア病床の充実を図る。地域の医療機関と連携を強め、在宅緩和ケアなど患者の希望に沿った切れ目のない緩和ケアを展開する。地域連携カンファレンスや講演会、診療所訪問などを通じて、顔の見える病診連携を進めるとともに、地域全体の緩和ケアの向上を目指す。がん患者の不安や悩みをき	・がん医療センター(院内におけるがん医療に関する部門をまとめたものであり、「緩和ケアチーム、がん相談支援センター、セカンドオピニオン外来、緩和ケア外来、化学療法室、がん登録室、地域連携がん部門・各診療部」により構成)がん診療連携拠点病院に関する事業を実施し機能の充実を図った。				III																																										
					・院内研修会の実施 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>開催月</th> <th>対象</th> <th>内 容</th> <th>参加者 (院内外)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>一般市民</td> <td>健康祭「身体こやさしい 先進医療」</td> <td>105</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>医療者</td> <td>化学療法の進歩と支持 療法の重要性</td> <td>128 (24)</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>一般市民</td> <td>前立腺癌と性について</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>9月 ～ 11月</td> <td>医療者</td> <td>がんプロフェッショナル 養成基盤推進プラン ～放射線治療インテン シブコース～1回目</td> <td>90 (20)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2回目</td> <td>85 (19)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>補講1回目</td> <td>19 (5)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>補講2回目</td> <td>10 (4)</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>医療者</td> <td>医療に携わる医師に対 する緩和ケア研修会</td> <td>124 (26)</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>医療者</td> <td>変わりゆくがん疼痛治 療</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>医療者</td> <td>緩和ケア講演会 「在宅緩和ケアケアタ</td> <td>196 (80)</td> </tr> </tbody> </table>	開催月	対象	内 容	参加者 (院内外)	4月	一般市民	健康祭「身体こやさしい 先進医療」	105	6月	医療者	化学療法の進歩と支持 療法の重要性	128 (24)	6月	一般市民	前立腺癌と性について	65	9月 ～ 11月	医療者	がんプロフェッショナル 養成基盤推進プラン ～放射線治療インテン シブコース～1回目	90 (20)			2回目	85 (19)			補講1回目	19 (5)			補講2回目	10 (4)	9月	医療者	医療に携わる医師に対 する緩和ケア研修会	124 (26)	11月	医療者	変わりゆくがん疼痛治 療	31	3月	医療者	緩和ケア講演会 「在宅緩和ケアケアタ	196 (80)			
開催月	対象	内 容	参加者 (院内外)																																																	
4月	一般市民	健康祭「身体こやさしい 先進医療」	105																																																	
6月	医療者	化学療法の進歩と支持 療法の重要性	128 (24)																																																	
6月	一般市民	前立腺癌と性について	65																																																	
9月 ～ 11月	医療者	がんプロフェッショナル 養成基盤推進プラン ～放射線治療インテン シブコース～1回目	90 (20)																																																	
		2回目	85 (19)																																																	
		補講1回目	19 (5)																																																	
		補講2回目	10 (4)																																																	
9月	医療者	医療に携わる医師に対 する緩和ケア研修会	124 (26)																																																	
11月	医療者	変わりゆくがん疼痛治 療	31																																																	
3月	医療者	緩和ケア講演会 「在宅緩和ケアケアタ	196 (80)																																																	

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																							
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																							
						<p>め細かく対応するため、がん相談支援センターやがん患者サロンの機能を強化し、利用者数を増加させる。</p>	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td>ウ小平チームの取り組み</td> <td></td> </tr> </table>			ウ小平チームの取り組み																							
		ウ小平チームの取り組み																															
						<p>・奇数月の第2水曜日はがんカンファレンスを院内・外の医師とともに行っており、がん事例の検討が行われている。[年間参加者数184人うち院外65人(約35%)]</p> <p>・また、偶数月の第2水曜日は、病診連携緩和ケアカンファレンスを行い、病院と地域医療機関と連携した末期がん患者の症例や課題を検討している。[年間参加者数375人うち院外59人(約37%)]</p> <p>[がん関連認定看護師] がん看護専門看護師1名、がん性疼痛看護師1名、がん化学療法看護師2名、WOC3名、摂食嚥下障害看護師1名、がん放射線療法看護1名</p> <p>・緩和ケアチームの体制 医師(6名)、歯科医師(1名)、看護師(5名)、薬剤師(1名)、臨床心理士(2名)、栄養士(1名)、リハビリ(1名) 平成25年度緩和チーム依頼者数は191人であった。</p> <p>・治療の実績 単位:人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外科的治療</td> <td>1,269</td> <td>1,285</td> <td>1,382 (2)</td> <td>1,258 (50)</td> </tr> <tr> <td>外来がん化学療法</td> <td>3,308</td> <td>3,242</td> <td>3,729</td> <td>3,669</td> </tr> <tr> <td>入院がん化学療法</td> <td>2,346</td> <td>2,087</td> <td>1,969</td> <td>1,838</td> </tr> <tr> <td>放射線治療</td> <td>421</td> <td>400</td> <td>364</td> <td>339</td> </tr> </tbody> </table> <p>※()内はダ・ヴィンチによる手術</p>		H22	H23	H24	H25	外科的治療	1,269	1,285	1,382 (2)	1,258 (50)	外来がん化学療法	3,308	3,242	3,729	3,669	入院がん化学療法	2,346	2,087	1,969	1,838	放射線治療	421	400	364	339		
	H22	H23	H24	H25																													
外科的治療	1,269	1,285	1,382 (2)	1,258 (50)																													
外来がん化学療法	3,308	3,242	3,729	3,669																													
入院がん化学療法	2,346	2,087	1,969	1,838																													
放射線治療	421	400	364	339																													

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																						
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																					
						<p>・がん患者数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院</td> <td>2,409</td> <td>2,513</td> <td>2,877</td> <td>2,643</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>54,574</td> <td>61,128</td> <td>64,278</td> <td>70,659</td> </tr> <tr> <td>院内死亡 がん患者</td> <td>147</td> <td>123</td> <td>84</td> <td>97</td> </tr> </tbody> </table> <p>・がん相談支援センターは、「相談室」「セカンドオピニオン」「退院調整室」の3つの部署のがん相談をまとめている。</p> <p>・がん相談支援センターの活動実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>1,130 件</td> <td>1,402 件</td> <td>1,514 件</td> <td>1,138 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>・相談内容は、在宅医療、介護・看護、ホスピス・緩和ケア、転院、セカンドオピニオン、治療の順で多い。退院調整とも連携し、在宅医療におけるかかりつけ医や訪問看護の紹介や介護保険等の手続等を支援している。</p> <p>・また、平成24年4月からは、がんの在宅及び入院患者並びに患者家族のための「ほっとサロン」を毎日開催し、ピアサポーターががん患者や家族を支援している。さらに2か月毎にほっとサロン学習会を開催し、がん患者や家族が共に学び、交流が出来る場を設けた。それによりほっとサロン利用者が増加した。</p> <p>・ほっとサロン利用人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>150 人</td> <td>599 人</td> <td>1,009 人</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	H24	H25	入院	2,409	2,513	2,877	2,643	外来	54,574	61,128	64,278	70,659	院内死亡 がん患者	147	123	84	97		H22	H23	H24	H25		1,130 件	1,402 件	1,514 件	1,138 件		H23	H24	H25		150 人	599 人	1,009 人			
	H22	H23	H24	H25																																											
入院	2,409	2,513	2,877	2,643																																											
外来	54,574	61,128	64,278	70,659																																											
院内死亡 がん患者	147	123	84	97																																											
	H22	H23	H24	H25																																											
	1,130 件	1,402 件	1,514 件	1,138 件																																											
	H23	H24	H25																																												
	150 人	599 人	1,009 人																																												
25	<p>・女性医療センター 女性が診療、治療を受けやすい女性専用病棟での治療を実施し、女性特有の病気を持つ患者が安心して</p>	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	<p>・女性医療センター 女性が診療、治療を受けやすい女性専用病棟での治療を実施し、婦人科疾患、乳腺疾患等さまざまな</p>	<p>・診療体制は、各診療科の常勤女性医師32名（内科、外科、産婦人科、小児科、皮膚科など）が連携し、院内女性心理療法士による心理カウンセリング等のサポート体制も</p>	Ⅲ																																								

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																															
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																														
	治療を受けられるようプライバシーの保護と安らぎづくりに努める。					<p>女性特有の病気を持つ患者が安心して治療を受けられるようプライバシーの保護と安らぎづくりに努める。また、女性の「心」・「体」を総合的に診察する「女性外来」を専門外来として設置している。</p>	<p>とっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 8階東病棟を「女性専用病棟」として、女性科、乳腺外科、外科、消化器内科の女性入院患者の治療に取り組み、女性特有の病気を持つ患者が安心して治療を受けられるようプライバシーの保護や安らぎづくりに努めている。 特にソフト面での気配りとして、カーテンの色、病棟の色彩、談話室の雑誌、病棟に流れる音楽等に女性的なものを導入している。 実績（8東入院患者数） <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産婦人科</td> <td>613</td> <td>559</td> <td>618</td> <td>625</td> </tr> <tr> <td>外科</td> <td>378</td> <td>457</td> <td>402</td> <td>416</td> </tr> <tr> <td>消化器科</td> <td>195</td> <td>183</td> <td>201</td> <td>236</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 女性科疾患 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>卵巣がん</td> <td>68</td> <td>83</td> <td>116</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>卵巣腫瘍</td> <td>72</td> <td>66</td> <td>67</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td>子宮癌（体・内膜）</td> <td>75</td> <td>71</td> <td>79</td> <td>81</td> </tr> <tr> <td>子宮筋腫</td> <td>66</td> <td>44</td> <td>68</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>子宮頸がん</td> <td>95</td> <td>79</td> <td>64</td> <td>83</td> </tr> <tr> <td>乳がん</td> <td>139</td> <td>169</td> <td>177</td> <td>185</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 女性外来患者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,133 人</td> <td>1,612 人</td> <td>1,998 人</td> <td>2,088 人</td> </tr> </tbody> </table>	項目・年度	H22	H23	H24	H25	産婦人科	613	559	618	625	外科	378	457	402	416	消化器科	195	183	201	236	項目・年度	H22	H23	H24	H25	卵巣がん	68	83	116	69	卵巣腫瘍	72	66	67	99	子宮癌（体・内膜）	75	71	79	81	子宮筋腫	66	44	68	75	子宮頸がん	95	79	64	83	乳がん	139	169	177	185	H22	H23	H24	H25	1,133 人	1,612 人	1,998 人	2,088 人		
項目・年度	H22	H23	H24	H25																																																																				
産婦人科	613	559	618	625																																																																				
外科	378	457	402	416																																																																				
消化器科	195	183	201	236																																																																				
項目・年度	H22	H23	H24	H25																																																																				
卵巣がん	68	83	116	69																																																																				
卵巣腫瘍	72	66	67	99																																																																				
子宮癌（体・内膜）	75	71	79	81																																																																				
子宮筋腫	66	44	68	75																																																																				
子宮頸がん	95	79	64	83																																																																				
乳がん	139	169	177	185																																																																				
H22	H23	H24	H25																																																																					
1,133 人	1,612 人	1,998 人	2,088 人																																																																					
26	<p>・重症心身障がい児病棟と小児救急医療 高度・専門的な医療を必要とする重症心身障がい児病棟の整備を推進する。また、小児救急医療体制を強化するため、小児集中治療室の整備を推進し、こども医療の拠点としての機能の充実を図る。</p>	—	—	III	<p>・重症心身障がい児病棟と小児救急医療 重症心身障がい児のための入所病床（30床）を新規整備し、それに併せて小児医療分野の専門性の高い診察・検査・治療を行うための機能の集積及び外来化学療法部門などの機能を充実させた6階建ての新棟を整備する。 工期：平成25年10月～平成27年12月 また、PICU（小児集中治療室）において、2床を稼働し、小児救急医療を推進する。</p>	<p>・平成25年9月に入札を行い、平成25年9月から平成27年12月までの工期で契約した。平成25年度は工事準備、掘削、杭打ち等で計画通り工事を進捗させた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 重症心身障がい児病棟整備・運営を推進する責任医師を明確にするとともに、医師や看護師、コメディカル等の診療体制について検討した。 <p>また、昨年度に引き続き、先進地の視察や研究研修を行うとともに、看護スタッフを含めた院内勉強会を実施し、職員育成に努めた。</p> <p>○先進地視察</p>	III																																																																	

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
						神奈川県立こども医療センター 医師：4名、看護師2名、事務6名 信濃医療福祉センター 医師：4名、看護師2名、コメディカル2名、 事務5名 ○研究研修 国立精神・神経医療研究センター 医師：1名（6ヶ月派遣） 日本重症心身障害学会学術研修会 看護師：1名 重症障害児（者）医療講習会 看護師：2名 ・県と協力して小児医療に携わる医師確保を推進した。看護師については、採用時に重症心身障がい児病棟の新設を考慮して、人材確保を目的に募集を行った。 ・P I C U（2床）における病床稼働状況 590人日 稼働率80.82%				

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組
 1-2 調査研究事業
 1-2-1 調査及び臨床研究等の推進

中期 目標	岐阜県総合医療センターで提供する医療の質の向上及び県内の医療水準の向上並びに県民の健康意識の醸成を図るための調査及び研究を行うこと。
----------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																					
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																				
27	・治験や調査研究事業に積極的に参画できるよう体制を整備し、受託件数の増加を図り、「治験センター」の認定を目指す。 平成20年度の実績は、18件である。 平成21年度の見込は、19件である。	IV	IV	III		・治験管理センター一部において、治験や調査研究事業に積極的に参画し、受託件数の増加を図る。 平成24年度の実績は、27件（2月末現在）である。 平成25年度の目標は、28件である。	・平成25年度の治験の件数は29件で概ね前年度を維持している。 治験件数 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>治験実施件数</td> <td>24件</td> <td>28件</td> <td>27件</td> <td>29件</td> </tr> <tr> <td>治験症例件数</td> <td>76件</td> <td>85件</td> <td>68件</td> <td>93件</td> </tr> <tr> <td>受託研究件数</td> <td>48件</td> <td>41件</td> <td>58件</td> <td>54件</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	H24	H25	治験実施件数	24件	28件	27件	29件	治験症例件数	76件	85件	68件	93件	受託研究件数	48件	41件	58件	54件	IV		
	H22	H23	H24	H25																										
治験実施件数	24件	28件	27件	29件																										
治験症例件数	76件	85件	68件	93件																										
受託研究件数	48件	41件	58件	54件																										

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証						
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項					
						○治験部門の体制 部長 1名 副部長 1名 事務員 1名 治験コーディネータ 6名 ・主な受託研究事業 <table border="1"> <thead> <tr> <th>研究内容</th> <th>担当科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>切除不能な進行・再発大腸癌に対する2次治療としての XELIRI with/without Bevacizumab と FOLFIRI with/without Bevacizumab 療法の国際共同第Ⅲ相ランダム化比較試験 Asian XELIRI Project (AXEPT)</td> <td>外科</td> </tr> <tr> <td>シメプレビル併用インターフェロン治療時における治療奏効率向上および副作用軽減のための治療方法の検討</td> <td>消化器内科</td> </tr> </tbody> </table>	研究内容	担当科	切除不能な進行・再発大腸癌に対する2次治療としての XELIRI with/without Bevacizumab と FOLFIRI with/without Bevacizumab 療法の国際共同第Ⅲ相ランダム化比較試験 Asian XELIRI Project (AXEPT)	外科	シメプレビル併用インターフェロン治療時における治療奏効率向上および副作用軽減のための治療方法の検討	消化器内科			
研究内容	担当科														
切除不能な進行・再発大腸癌に対する2次治療としての XELIRI with/without Bevacizumab と FOLFIRI with/without Bevacizumab 療法の国際共同第Ⅲ相ランダム化比較試験 Asian XELIRI Project (AXEPT)	外科														
シメプレビル併用インターフェロン治療時における治療奏効率向上および副作用軽減のための治療方法の検討	消化器内科														
28	・先端医療など新しい医療について研究、研修を行うとともに、EBMに基づく医療を行い、疫学統計調査や臨床研究を行いかつ管理する「臨床研究部(仮称)」を創設する。	Ⅲ	Ⅲ	—	・臨床研究部や高度先端医療センターにおいて、治験、EBM、臨床研究、先端・先進・高度医療等の新しい医療について研究研修を推進する。	・平成23年度から臨床研究部を設置した。	—								

1-2-2 診療等の情報の活用

中期 目標	電子カルテシステムを中心とする医療総合情報システムをより有効に活用し、診療等で得た情報を岐阜県総合医療センターで提供する医療の質の向上に活用するとともに、他の医療機関への情報提供を行うこと。
----------	---

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
29	・医療総合情報システムに蓄積された各種医療データの有効活用 医療総合情報システムをより有効に活用し、診療記録等医療情報の電子化や管理機能の充実を図る。	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	・医療総合情報システムに蓄積された各種医療データの有効活用 医療総合情報システムに蓄積された各種医療データを分析し、それを医療情報として提供したり、	・医師及び研修医163名が電子カルテに記載した診療記録について、入院診療計画書との整合性、診断過程の記述内容などを診療情報管理委員会で監査し、そのレベル向上を図るとともに、3,760件の医	Ⅲ			

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
	また、電子カルテ導入によりペーパーレス化、フィルムレス化を図るとともに、業務の効率化とスピード化を図り、医療機関との連携など医療体制の充実を図る。					診療録の記載内容を監査することにより、院内の医療従事者の総合的なレベルアップを図り、医療の質の向上に寄与する。また、要望に応じて、医療総合情報システムで管理されているCTや内視鏡等の画像情報を迅速に提供することにより、病診連携などの医療体制の充実を図る。また、「診療録等の記載及び管理に関するマニュアル」を必要の都度見直していく。	学管理料の確認を行い適正な診療報酬請求の実施に努めた。 ・診療情報から抽出したDPCデータを分析ソフトの活用により、加えてコンサルタントを活用したことで、診療科別に症例検討を実施し、DPC収益が対前年 102.2%増（稼働額ベース）と効果がみられた。			
30	<p>・集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用</p> <p>集積したエビデンスを、カンファレンス、臨床研修、臨床研究等において活用するため、診療録管理業務体制の充実を図り、院内診療データを集積、整理する。また、他職種による合同カンファレンスなどにより診療内容を共有化し、治療成績などの公表を推進する。</p>	III	III	III	<p>・集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用</p> <p>電子カルテに集積した院内の診療データをカンファレンス、臨床研修、臨床研究等において活用するため、診療情報管理委員会を中心に他の委員会等の協力も得たうえで、データの処理を行う。特に、チーム医療推進委員会では各職種間で情報の共有を図り、チーム医療を推進する。また、医療の質検討委員会では、医療の質の向上のため、診療のプロセスとアウトカムに関する 11 の指標（Quality Indicator）について、日本病院会の活動に参画するとともに、当センターのホームページ上でも公表し、さらに項目数を増やし QI 活動による医療の質の向上を図る。</p>	<p>・医学統計などへの活用</p> <p>電子カルテに登録されている「退院サマリー」の主病名を病歴管理システムにデータ連携させ、当該システムにより集計し、医学統計書を作成した。また、「がん登録サマリー」とがん登録システムを連携させ、県に提出する地域がん登録届出票を作成するなど、電子カルテに集積されたデータの有効活用を行った。</p> <p>・各診療科・センター毎に診療内容及びカンファレンス並びに保健医療についてホームページにて随時情報を提供した。</p>	III			

1-2-3 保健医療情報の提供・発信

中期目標	県民の健康意識の醸成を図るため、専門医療情報など病院が有する保健医療情報を、県民を対象とした公開講座やホームページなどにより情報発信を行うこと。
------	--

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H25年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項
31	<p>・公開講座、医療相談会等の定期的開催</p> <p>平成20年度の実績は、「岐阜県総合医療センターで受けられる最新の医療」と題し、当センターで受けられる最新医療を紹介したり、模擬カンファレンス等を実施した。平成21年度は、「感染症対策～新型インフルエンザにそなえる～」と題してセミナーを開催するなど、今後も県民に関心の高いテーマを中心に県民健康セミナーを開催したり模擬カンファレンス等を実施する。</p>	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ		<p>・公開講座、医療相談会等の定期的開催</p> <p>引き続き、県民に関心の高いテーマを中心に県民健康セミナーの開催や模擬カンファレンス等を実施する。</p> <p>平成25年度は、「身体にやさしい先進医療」と題したセミナーのほか、先進医療機器(ダヴィンチ等)のデモンストレーションなど各部門がブースを出展する「健康祭」を開催する。</p>	<p>・平成25年3月末に内視鏡手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」による手術が当センターで初めて実施されたことを受け、「身体にやさしい」をテーマとした一般開放イベント「健康祭」を平成25年4月に開催した。セミナーでは「ダ・ヴィンチ」の紹介やデモなどを実施し、その他体験コーナー、お薬相談コーナーなどを設置した。</p>	Ⅲ		
32	<p>・保健医療、健康管理等の情報提供</p> <p>岐阜県総合医療センター広報誌「けんこう」や、「診療案内」を発行するとともに、病院が有する保健医療情報を病院のホームページで公表する。</p>	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ		<p>・保健医療、健康管理等の情報提供</p> <p>岐阜県総合医療センター広報誌「けんこう」地域医療連携センター部広報誌「すこやか」の定期発行や、必要に応じ「診療案内」を改訂するとともに、病院が有する保健医療情報を病院のホームページで公表する。</p>	<p>・広報誌「けんこう」を平成25年11月及び平成26年3月に発行</p> <p>・病診連携部PR誌「すこやか」を平成25年度に2回発行</p> <p>・当センターの新しい医療への取り組みについてプレス発表や取材協力等によりマスメディアを媒体として県民への情報発信を行った。</p> <p>・インターネットを通じて、保健医療や健康管理に関する情報提供を行った。</p>	Ⅲ		

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

1-3 教育研修事業

1-3-1 医師の卒後臨床研修等の充実

中期 目標	<p>教育研修事業</p> <p>医療の高度化・多様化に対応できるよう、岐阜県立看護大学及び岐阜県立看護専門学校等の学生並びに救急救命士に対する教育、臨床研修医の受入れなど、地域の医療従事者への教育及び研修を実施することを求める。</p> <p>医師の卒後臨床研修等の充実</p> <p>専門医等の研修施設として認められた病院（臨床研修病院）として、臨床研修医及びレジデント（専門分野の研修医）の積極的な受入れを行なうこと。</p> <p>岐阜大学医学部附属病院や県が設立した他の地方独立行政法人などの臨床研修病院との連携や、法人の有する人的・物的資源を活かした独自の臨床研修プログラムの開発など、質の高い医療従事者の養成に努めること。</p>
----------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
33	<p>・質の高い医療従事者の養成</p> <p>質の高い医療従事者養成のため、独自の臨床研修プログラムを開発し、その推進体制を強化する。また、国内や海外での留学を制度化したり、他の先進病院へ医師を派遣することにより、長期研究できる体制を確保する。</p>	III	III	III		<p>・質の高い医療従事者の養成</p> <p>最先端の医療技術・知識の取得のため、各種学会や研修会、講習会等へ参加できるよう支援する。また、国内や海外での留学や他の先進病院へ医師を派遣することにより、長期研究できる体制を引き続き維持する。</p>	<p>・各診療科・部において医療従事者の養成を行っている。</p> <p>・国内外での長期の留学・研究等が行えるよう規定を整備済みである。</p> <p>・平成25年度医師派遣</p> <p>① 放射線治療科 派遣先：米国（カルフォルニア大学サンディエゴ校）</p> <p>② 循環器内科 派遣先：米国（ハーバード大学医学部 プリガム・アンド・ウィメンズ病院）</p> <p>③ 呼吸器内科 派遣先：ドイツ（ハイデルベルク大学病院）</p> <p>④ 小児救急科 派遣先：カナダ（モントリオール小児病院）</p> <p>⑤ 循環器内科 派遣先：横浜労災病院（1回/月）</p> <p>⑥ 耳鼻咽喉科 派遣先：公益財団法人がん研究会 有明病院</p> <p>⑦ 小児科 派遣先：国立精神・神経医療研究センター</p> <p>⑧ 循環器内科 派遣先：日本医科大学付属病院</p> <p>⑨ 麻酔科 派遣先：埼玉医科大学総合医療センター</p>	III		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証																
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																	
						初期臨床研修医数 (各年 3.31 時点) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>25 人</td> <td>29 人</td> <td>33 人</td> <td>31 人</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>2 人</td> <td>2 人</td> <td>2 人</td> <td>2 人</td> </tr> </tbody> </table>					H22	H23	H24	H25	医師	25 人	29 人	33 人	31 人	歯科医師	2 人	2 人	2 人	2 人			
	H22	H23	H24	H25																							
医師	25 人	29 人	33 人	31 人																							
歯科医師	2 人	2 人	2 人	2 人																							
34	<p>・後期研修医（レジデント）に対する研修等 後期研修医に対しては、岐阜県総合医療センター独自の研修及び岐阜大学医学部附属病院と密なる連携による研修プログラムを開発し、推進する。</p>	III	III	III	<p>・後期研修医（レジデント）に対する研修等 後期研修医に対しては、専門医取得に向けた当センター独自の研修プログラムを平成24年度に開発しており、平成25年度からスタートする後期研修医には完全適用する。平成24年度以前の従来からの後期研修医にも、本人の希望により新たなプログラムを出切る限り適用して、スムーズな専門医取得ができるように推進する。また、看護部、臨床検査科、中央放射線部、薬剤部等院内の各部署の協力を得て、研修プログラムの充実を図るとともに、チーム医療が円滑に行えるよう支援する。さらに、専門医取得に向けて各種学会、研究会等への参加について支援する。</p>	<p>・後期研修医（レジデント）に対する研修等を実施した。</p> <p>○平成25年度実績 後期研修医人数 33 人 学会参加 288 人日</p> <p>後期研修医数 (各年 3.31 時点) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>35 人</td> <td>42 人</td> <td>33 人</td> <td>33 人</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>1 人</td> <td>0 人</td> <td>0 人</td> <td>0 人</td> </tr> </tbody> </table> </p>					H22	H23	H24	H25	医師	35 人	42 人	33 人	33 人	歯科医師	1 人	0 人	0 人	0 人	III		
	H22	H23	H24	H25																							
医師	35 人	42 人	33 人	33 人																							
歯科医師	1 人	0 人	0 人	0 人																							

1-3-2 看護学生、救急救命士等に対する教育の実施

中期 目標	県内に就学している看護学生の実習受入れ、救急救命士の新規養成及び再教育にともなう病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実を図ること。
----------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証					
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項						
35	<p>・医学生、看護学生の実習受入れ 県内医療従事者の育成を図るため、医学生、看護学生の実習の受入れ体制を整備し、今後も積極的に実習を受け入れる。 平成21年度見込 医学生の病院見学 4月～ 延べ35名 看護学生 4月～ 359名</p>	III	III	III	<p>・医学生、看護学生の実習受入れ 県内医療従事者の育成を図るため、医学生、看護学生の実習の受入れ体制を整備し、今後も積極的に実習を受け入れる。 平成24年度実績 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>医学生の病院見学</td> <td>H24. 4～H25. 2 延べ65名</td> </tr> <tr> <td>看護学生等</td> <td>H24. 4～H25. 2</td> </tr> </tbody> </table> </p>	医学生の病院見学	H24. 4～H25. 2 延べ65名	看護学生等	H24. 4～H25. 2	<p>・研修生の受け入れ実績は下記のとおりである。 ・医学生やコメディカルを目指す学生は、前年実績とほぼ横ばいであったが、看護学生の実習受入れ数の増加により、昨年度実績を大幅に上回ることができた。</p>				III		
医学生の病院見学	H24. 4～H25. 2 延べ65名															
看護学生等	H24. 4～H25. 2															

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																																	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																																
						(10校) 延べ9,730名	<p>平成25年度実績</p> <table border="1"> <tr> <td>医学生の病院見学</td> <td colspan="4">年間延べ95名</td> </tr> <tr> <td>看護学生</td> <td colspan="4"> ・岐阜県立衛生専門学校 ・岐阜県立看護大学 ・平成医療短期大学 ・岐阜大学医学部看護学科 ・岐阜医療科学大学 ・弥富看護学校 他 年間延べ 10,984名 </td> </tr> </table> <p>学生の実習受入状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医学生</td> <td>78</td> <td>93</td> <td>96</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>看護学生</td> <td>10,673</td> <td>10,820</td> <td>9,676</td> <td>10,984</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>67</td> <td>68</td> <td>96</td> <td>82</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>10,818</td> <td>10,981</td> <td>9,868</td> <td>11,161</td> </tr> </tbody> </table>	医学生の病院見学	年間延べ95名				看護学生	・岐阜県立衛生専門学校 ・岐阜県立看護大学 ・平成医療短期大学 ・岐阜大学医学部看護学科 ・岐阜医療科学大学 ・弥富看護学校 他 年間延べ 10,984名					H22	H23	H24	H25	医学生	78	93	96	95	看護学生	10,673	10,820	9,676	10,984	コメディカル	67	68	96	82	合計	10,818	10,981	9,868	11,161																																
医学生の病院見学	年間延べ95名																																																																									
看護学生	・岐阜県立衛生専門学校 ・岐阜県立看護大学 ・平成医療短期大学 ・岐阜大学医学部看護学科 ・岐阜医療科学大学 ・弥富看護学校 他 年間延べ 10,984名																																																																									
	H22	H23	H24	H25																																																																						
医学生	78	93	96	95																																																																						
看護学生	10,673	10,820	9,676	10,984																																																																						
コメディカル	67	68	96	82																																																																						
合計	10,818	10,981	9,868	11,161																																																																						
36	<p>・救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実</p> <p>救急救命士など地域医療従事者の養成を図るため、救急救命士に対する救急搬入後の事後検討会を実施するなど、病院での実習の受入れ体制を整備し、今後も積極的に受け入れる。</p> <p>平成20年度の救急救命士養成に関する臨床実習受入実績は、18人である。</p> <p>平成21年度の救急救命士養成に関する臨床実習受入見込は、63人である。</p> <p>また、4、7、10月に救急救命士に対する救急搬入後の事後検討会を実施した。</p>	III	III	III	<p>・救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実</p> <p>救急救命士など地域医療従事者の養成を図るため、救急救命士に対する救急搬入後の事後検討会を実施するなど、病院での実習の受入れ体制を整備し、今後も積極的に受け入れる。</p> <p>平成24年度実績（救急救命士養成に関する臨床実習受入）</p>	<p>・救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施状況は下記のとおりであり、受入計画を達成できた。</p> <p>平成25年度実績 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実習受け入れ施設等</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急救命東京研修所</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>救急救命九州研修所</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>東海医療工学専門学校</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>自衛隊岐阜病院</td> <td>4</td> <td>9</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>岐阜県消防学校</td> <td>35</td> <td>32</td> <td>28</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>名古屋市救急救命士養成所</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>岐阜市消防</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>本巣市消防</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>山県市消防</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>各務原市消防</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>高山市消防</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>名古屋医専</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	実習受け入れ施設等	H22	H23	H24	H25	救急救命東京研修所	2	2	4	8	救急救命九州研修所	-	-	1	1	東海医療工学専門学校	2	2	1	2	自衛隊岐阜病院	4	9	6	6	岐阜県消防学校	35	32	28	32	名古屋市救急救命士養成所	1	1	1	1	岐阜市消防	1	1	1	1	本巣市消防	-	1	-	-	山県市消防	-	-	1	-	各務原市消防	1	1	1	1	高山市消防	-	-	-	1	名古屋医専	-	-	-	3	III		
実習受け入れ施設等	H22	H23	H24	H25																																																																						
救急救命東京研修所	2	2	4	8																																																																						
救急救命九州研修所	-	-	1	1																																																																						
東海医療工学専門学校	2	2	1	2																																																																						
自衛隊岐阜病院	4	9	6	6																																																																						
岐阜県消防学校	35	32	28	32																																																																						
名古屋市救急救命士養成所	1	1	1	1																																																																						
岐阜市消防	1	1	1	1																																																																						
本巣市消防	-	1	-	-																																																																						
山県市消防	-	-	1	-																																																																						
各務原市消防	1	1	1	1																																																																						
高山市消防	-	-	-	1																																																																						
名古屋医専	-	-	-	3																																																																						

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証																									
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																								
						<table border="1"> <tr> <td>救急救命東京研修所</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>救命救急九州研修所</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>名古屋市救急救命士養成所</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>自衛隊岐阜病院</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td>岐阜県消防学校</td> <td>28名</td> </tr> <tr> <td>岐阜市消防</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>山県市消防</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>各務原市消防</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>東海医療工学専門学校</td> <td>1名</td> </tr> </table> <p>・薬学部学生の実習受入れ 県内薬剤師の充実を図るため、薬学部学生の実習を積極的に受け入れる。</p>	救急救命東京研修所	4名	救命救急九州研修所	1名	名古屋市救急救命士養成所	1名	自衛隊岐阜病院	6名	岐阜県消防学校	28名	岐阜市消防	1名	山県市消防	1名	各務原市消防	1名	東海医療工学専門学校	1名	<p>救急救命土の実習受入状況</p> <table border="1"> <tr> <td>H22</td> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> </tr> <tr> <td>52人</td> <td>49人</td> <td>44人</td> <td>56人</td> </tr> </table> <p>※H22年度は、自衛隊の教官実習として6名受入</p> <p>・薬学部学生の実習受入れ 薬剤師養成課程が6年となり、認定実務実習の重要性が増した。平成25年度は当センターでは岐阜薬科大学12名、名城大学4名、金城学院大学1名の計17名の実習生を受け入れ人材の育成にあたった。</p>	H22	H23	H24	H25	52人	49人	44人	56人			
救急救命東京研修所	4名																																			
救命救急九州研修所	1名																																			
名古屋市救急救命士養成所	1名																																			
自衛隊岐阜病院	6名																																			
岐阜県消防学校	28名																																			
岐阜市消防	1名																																			
山県市消防	1名																																			
各務原市消防	1名																																			
東海医療工学専門学校	1名																																			
H22	H23	H24	H25																																	
52人	49人	44人	56人																																	

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組
1-4 地域支援事業
1-4-1 地域医療への支援

中期 目標	<p>地域の医療機関から信頼され、必要とされる病院となるよう地域への支援を行う。</p> <p>地域医療への支援</p> <p>地域の医療機関との連携・協力体制の充実を図り、高度先進医療機器の共同利用の促進、開放病床の利用促進など、地域基幹病院として地域医療の確保に努めること。</p> <p>医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援など人的支援を行うこと。</p> <p>代診医師の派遣や巡回診療等、県全体での広域的なへき地医療支援事業の企画・調整など、県におけるへき地医療対策を円滑かつ効率的に実施すること。</p>
----------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項			自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
37	<p>・地域医療水準の向上</p> <p>地域の医療機関との連携を強化し、高度先進医療機器の共同利用を促進するとともに、開放型病床の利用促進及び開放型病床利用登録医師との共同診療の実施により地域医療の向上を図る。</p> <p>○高度先進医療機器の共同利用</p>	III	III	III		<p>・地域医療水準の向上</p> <p>地域の医療機関との連携を強化し、高度先進医療機器の共同利用を促進するとともに、開放型病床の利用促進及び開放型病床利用登録医師との共同診療の実施により地域医療の向上を図り、オープン病床クリニカルミーティングや病診・病病連携検討会を</p>	<p>・オープン病床クリニカルミーティングを開催し、地域の医療機関との連携を強化した。</p>	III				

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証																																																					
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																						
	<p>・平成20年度実績 郡上市民病院との遠隔画像診断、地域がん診療拠点病院として病理診断の実施</p> <p>○開放型病床の利用促進及び共同診療</p> <p>平成20年度の実績は、産科開業医13名が、夜間、周産期医療に参加、小児科開業医6名が小児急病センターに参加し、共同診療を実施した。また、開放型病床の登録医(387名/平成20年度末現在)とも共同診療を実施した。</p> <p>平成21年度は、産科開業医13名が、夜間、周産期医療に参加、さらに8月に新設された小児急病センターにおいて、各務原市医師会所属小児科開業医7名(各1回/月)が小児科輪番日に共同診療を実施する見込みである。</p>					<p>開催するなど、地域の医療機関へのハード・ソフト両面での支援を推進する。</p> <p>○高度先進医療機器の共同利用の推進</p> <p>・CTやMRI等の高度先進医療機器については、地域連携病院からの依頼を受けて実施するほか、郡上市民病院との遠隔画像診断を実施するほか、全自動免疫染色装置の導入による高山赤十字病院をはじめとする医療機関からの病理標本の作製を受託するなど、地域がん診療連携拠点病院としてがん診療の技術向上等に努める。</p> <p>○開放型病床の利用及び共同診療の推進</p> <p>・岐阜県総合周産期母子医療センターの休日・夜間には、産科開業医13名、小児急病センターについては、各務原市医師会所属小児科開業医7名(各1回/月)の協力を得て小児夜間・休日診療体制を確立し、また、地域の勤務医(3名)の協力を得て、地域連携、夜間・休日診療を実施するなど、救急搬送など「断らない医療」に取り組む。</p>	<p>○高度先進医療機器の共同利用の推進</p> <p>・高度医療機器の共同利用実績 (件数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>CT</td> <td>481</td> <td>443</td> <td>426</td> <td>356</td> </tr> <tr> <td>MRI</td> <td>337</td> <td>345</td> <td>323</td> <td>389</td> </tr> <tr> <td>PET</td> <td>78</td> <td>66</td> <td>65</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>遠隔画像診断機器</td> <td>173</td> <td>197</td> <td>374</td> <td>533</td> </tr> </tbody> </table> <p>○輪番制実施状況 (日数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児</td> <td>163</td> <td>179</td> <td>259</td> <td>259</td> </tr> <tr> <td>内科・外科系</td> <td>66</td> <td>62</td> <td>66</td> <td>64</td> </tr> </tbody> </table> <p>○共同診療の推進</p> <p>平成21年度から引き続き、総合周産期母子医療センターの夜間・休日診療へ9名の開業医師が協力。小児夜間急病センターには各務原市医師会所属医師9名が小児輪番日において共同診療を実施。</p> <p>○開放型病床の利用状況及び共同指導回数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共同指導(回)</td> <td>12.7</td> <td>14.5</td> <td>15.3</td> <td>12.3</td> </tr> <tr> <td>病床利用率</td> <td>75.1 %</td> <td>66.3 %</td> <td>49.4 %</td> <td>41.7 %</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 共同指導回数は月平均</p>	機器名	H22	H23	H24	H25	CT	481	443	426	356	MRI	337	345	323	389	PET	78	66	65	47	遠隔画像診断機器	173	197	374	533		H22	H23	H24	H25	小児	163	179	259	259	内科・外科系	66	62	66	64	項目・年度	H22	H23	H24	H25	共同指導(回)	12.7	14.5	15.3	12.3	病床利用率	75.1 %	66.3 %	49.4 %	41.7 %		
機器名	H22	H23	H24	H25																																																												
CT	481	443	426	356																																																												
MRI	337	345	323	389																																																												
PET	78	66	65	47																																																												
遠隔画像診断機器	173	197	374	533																																																												
	H22	H23	H24	H25																																																												
小児	163	179	259	259																																																												
内科・外科系	66	62	66	64																																																												
項目・年度	H22	H23	H24	H25																																																												
共同指導(回)	12.7	14.5	15.3	12.3																																																												
病床利用率	75.1 %	66.3 %	49.4 %	41.7 %																																																												

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証																																																															
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																																
38	<p>医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援など人的支援</p> <p>平成20年度の実績は、独立行政法人国立病院機構長良医療センター（1名/週、脳神経外科）、岐阜県立下呂温泉病院（総合内科2人・神経内科3人・消化器内科延べ6人・腎臓内科延べ2人・呼吸器内科1人、小児科延べ3人）、下呂市立金山病院（1人/月、外科延べ12人）等において診療における人的支援を行った。</p> <p>平成21年度は、岐阜赤十字病院（2名/週 循環器内科）、岐阜県立下呂温泉病院（6月から1名：循環器内科、9月から1名：整形外科、4月から1名：小児科）、下呂市立金山病院（1人/月、外科）、公立学校共済組合東海中央病院（10月から2名/週 小児科）において診療における人的支援を行う見込みである。</p> <p>今後も、医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援など人的支援を継続する。</p>	III	III	IV	<p>・医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援など人的支援</p> <p>平成24年度は、岐阜県立下呂温泉病院（小児科：1名、循環器内科・呼吸器内科・消化器内科：1人/年間、内科：1人/週1回当直）、久々野診療所（内科：1人/週1回）、高山赤十字病院（外科：1名、循環器内科：1名、小児循環器：1人/月1回、新生児内科：1人/1日）、下呂市立金山病院（外科：1人/月1回当直）、揖斐厚生病院（循環器内科：1名）、坂内国保診療所（循環器内科：1人/月1回半日）、郡上市民病院（循環器内科：1人/月2回当直・午前診）、中濃厚生病院（循環器内科：1人/月1回半日）において診療における人的支援を行った。</p> <p>今後も地域医療支援の機能を果たすため、引き続き医師不足の地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援など人的支援を継続する。</p>	<p>・平成25年度は、県立下呂温泉病院（30名）、高山赤十字病院（7名）、揖斐厚生病院（7名）、久美愛厚生病院（1名/月2回）、下呂市立金山病院（1名/月1回）、中濃厚生病院（1名/週1回・1名/年4回）、郡上市民病院（1名/月2回・1名/週1回）、木沢記念病院（4名）、東白川診療所（1名/週1回）等において診療における人的支援を行った。</p> <p>他の医療機関への人的支援の状況（延べ日数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>派遣先医療機関名</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県立下呂温泉病院</td> <td>399</td> <td>461</td> <td>548</td> <td>591</td> </tr> <tr> <td>高山赤十字病院</td> <td>447</td> <td>244</td> <td>504</td> <td>288</td> </tr> <tr> <td>揖斐厚生病院</td> <td>—</td> <td>21</td> <td>245</td> <td>225</td> </tr> <tr> <td>下呂市立金山病院</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>木沢記念病院</td> <td>28</td> <td>224</td> <td>—</td> <td>244</td> </tr> <tr> <td>東海中央病院</td> <td>94</td> <td>—</td> <td>62</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>東白川診療所</td> <td>—</td> <td>9</td> <td>—</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>久々野診療所</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>43</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>坂内村国民健康保険診療所</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>45</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>郡上市民病院</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>31</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>中濃厚生病院</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>25</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>980</td> <td>971</td> <td>1,515</td> <td>1,511</td> </tr> </tbody> </table>	派遣先医療機関名	H22	H23	H24	H25	県立下呂温泉病院	399	461	548	591	高山赤十字病院	447	244	504	288	揖斐厚生病院	—	21	245	225	下呂市立金山病院	12	12	12	12	木沢記念病院	28	224	—	244	東海中央病院	94	—	62	—	東白川診療所	—	9	—	24	久々野診療所	—	—	43	—	坂内村国民健康保険診療所	—	—	45	—	郡上市民病院	—	—	31	73	中濃厚生病院	—	—	25	54	合計	980	971	1,515	1,511	IV		
派遣先医療機関名	H22	H23	H24	H25																																																																						
県立下呂温泉病院	399	461	548	591																																																																						
高山赤十字病院	447	244	504	288																																																																						
揖斐厚生病院	—	21	245	225																																																																						
下呂市立金山病院	12	12	12	12																																																																						
木沢記念病院	28	224	—	244																																																																						
東海中央病院	94	—	62	—																																																																						
東白川診療所	—	9	—	24																																																																						
久々野診療所	—	—	43	—																																																																						
坂内村国民健康保険診療所	—	—	45	—																																																																						
郡上市民病院	—	—	31	73																																																																						
中濃厚生病院	—	—	25	54																																																																						
合計	980	971	1,515	1,511																																																																						

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項															
39	<p>・へき地医療対策の支援</p> <p>県とへき地医療支援機構業務についての業務委託契約を締結した上で、へき地医療機関等からの代診要請に積極的に対応し、診療支援など人的支援ができるよう、地域医療部の強化、総合診療科の新設などを検討する。また、地方独立行政法人岐阜県立多治見病院や地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院の地域医療部と連携、協力して代診等業務、情報の共有や問題点の解決に当たる。</p> <p>さらに、新医師臨床研修制度における地域・保健プログラムやその他新規プログラムに積極的に参加するとともに、へき地医療機関と連携し、研修の動機付け・総括等、研修医のへき地医療研修支援を行う。へき地医療等を志向する後期研修医、またへき地勤務医の研修時は、地域医療部を所属の場として活用し、各科の横断的研修等を行う。</p>	III	IV	IV		<p>・へき地医療対策の支援</p> <p>平成24年4月1日にへきち医療拠点病院の指定を受け、県とへき地医療支援機構業務についての業務委託契約を締結した上でへき地医療機関等からの代診要請に積極的に対応し、診療支援など人的支援を行う。また、地方独立行政法人岐阜県立多治見病院や地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院の地域医療部と連携、協力して代診等業務、情報の共有や問題点の解決に当たる。</p> <p>さらに、新医師臨床研修制度における地域・保健プログラムやその他新規プログラムに積極的に参加するとともに、へき地医療機関と連携し、研修の動機付け・総括等、研修医のへき地医療研修支援を行う。へき地医療等を志向する後期研修医、またへき地勤務医の研修時は、地域医療部を所属の場として活用し、各科の横断的研修等を行う。</p>	<p>・県とへき地医療支援機構運営委託契約を締結し、依頼に応じて派遣する体制を整備</p> <p>・へき地派遣（H25実績）</p> <p>高山赤十字病院：外科2名、産婦人科1名、小児循環器内科2名</p> <p>下呂温泉病院：小児科3名、循環器内科7名、消火器内科9名、呼吸器内科3名、泌尿器科5名、新生児内科1名、眼科1名、乳腺外科1名</p> <p>・後期研修プログラムの中に一定期間の医師不足地域での勤務を含めることにより医師不足の解消を図ることを目的として、平成22年9月に、岐阜大学医学部、同附属病院、及び研修医が多く集まる病院とともに「岐阜県医師育成・確保コンソーシアム」に参加した。</p>	IV																	
						後期研修医のへき地派遣状況 単位：人																			
						<table border="1"> <thead> <tr> <th>派遣先医療機関名</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県立下呂温泉病院</td> <td>11</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>11</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table>		派遣先医療機関名	H22	H23	H24	H25	県立下呂温泉病院	11	10	15	17	合計	11	10	15	17			
派遣先医療機関名	H22	H23	H24	H25																					
県立下呂温泉病院	11	10	15	17																					
合計	11	10	15	17																					

1-4-2 社会的な要請への協力

中期 目標	岐阜県総合医療センターが有する人材や知見を提供し、鑑定、調査、講師派遣など社会的な要請に積極的な協力を行うこと。
----------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																															
40	医療に関する鑑定や調査、講師派遣など社会的な要請に対する協力を行う。	III	III	III		医療に関する鑑定や調査、講師派遣など社会的な要請に対する協力を行う。	・医療に関する鑑定や調査、講師派遣など、随時求められる社会的な要請に対し協力を行ってきた。 ・岐阜大学への講師（医師）派遣 36人 ・岐阜県衛生専門学校への講師（看護師）派遣 22人 ・各種学校への講師（看護師）派遣 25人 ・岐阜薬科大学への講師（薬剤師）派遣 1人	III																																	
							講師派遣の状況 単位：人																																		
							<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>24</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>43</td> <td>55</td> <td>73</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>3</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>76</td> <td>81</td> <td>95</td> <td>103</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	H24	H25	医師	24	18	18	35	歯科医師	1	1	1	1	看護師	43	55	73	49	コメディカル	8	8	3	18	合計	76	81	95	103				
	H22	H23	H24	H25																																					
医師	24	18	18	35																																					
歯科医師	1	1	1	1																																					
看護師	43	55	73	49																																					
コメディカル	8	8	3	18																																					
合計	76	81	95	103																																					

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

1-5 災害等発生時における医療救護

1-5-1 医療救護活動の拠点機能

中期 目標	<p>災害等発生時における医療救護 災害等発生時において、医療救護活動の拠点機能を担うとともに、医療スタッフの派遣や災害派遣医療チームの派遣など医療救護を行うことを求める。</p> <p>医療救護活動の拠点機能 災害等発生時には、岐阜県地域防災計画に基づき、患者の受入れや医療スタッフの現地派遣など本県或いは岐阜地域の医療救護活動の拠点機能を担うこと。 岐阜県の基幹災害医療センターとして、県内の災害拠点病院に対し災害医療研修や災害医療訓練（公開）を行うなど指導的役割を發揮すること。 他県等の医療救護への協力 県内のみならず他県等の大規模災害等においても、災害派遣医療チーム（DMAT）を派遣するなど、積極的に医療救護の協力をを行うこと。</p>
----------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
41	<p>・医療救護活動拠点機能確保、訓練実施 ・岐阜県地域防災計画に基づき、又は自らの判断で、岐阜県或いは岐阜地域の医療救護活動拠点機能を担うこととする。 24時間対応可能な救急医療体制を確保し、災害等発生時の救急・重篤患者を受け入れる。 また、NBC（核、生物、化学）災害に対しても対応できるよう、広域災害対策訓練を実施する。さらに全職員が積極的に参加して、職員・部署の役割分担、各部署の備蓄品等を見直し、災害等発生時に患者の受入れ等求められる機能を發揮する組織を構築する。</p>	III	III	III	<p>・岐阜県地域防災計画に基づき、又は自らの判断で、岐阜県或いは岐阜地域の医療救護活動拠点機能を担うこととする。 24時間対応可能な救急医療体制を確保し、災害等発生時の救急・重篤患者を受け入れるとともに、医療スタッフを現地に派遣して医療救護活動を行う。 また、大規模災害に対し、消防本部等の関係機関をはじめ住民やボランティアの協力を得て、屋上ヘリポートを活用し、災害時の緊急を要する重篤患者の搬送を行う広域災害対策訓練を実施する。</p>	<p>・三重県から岐阜県西南部で震度7の地震発生、診療時間中であり、センターでは本館の一部から火災が発生した場合を想定し、関係消防本部と連携のもと、災害対策訓練を実施した。 日 時：平成25年8月24日（土） 訓練内容： 1 災害医療提供体制の立ち上げをシミュレーションにより確認する。 2 応急救護所設置訓練及び傷病者に対するトリアージ及び応急処置を確認する。 参加人員：292名</p>	III			
42	<p>・基幹災害医療センター機能強化 県下5圏域の災害拠点病院を統括する最先端の「基幹災害医療センター」としての機能を強化し、指導的役割を發揮する。</p>	III	III	III	<p>・県下5圏域の災害拠点病院の中心となる「基幹災害医療センター」としての機能を強化し、指導的役割を發揮する。</p>	<p>・災害備蓄として各種備品を整備した。 主な備品：リフトテント（36人用・18人用） テント用暖房装置 インバータ発電機 ベッド兼ストレッチャー（5台） ・NBC災害、テロ対策として各種備品を整備した。 主な備品：TST防護服ユニット（10式） 除染シャワー（自立用・担送用） 汚染水回収プール（大・小） プライバシーBOX リフトテント（36人用・18人用）</p>	III			

1-5-2 他県等の医療救護への協力

中期 目標	県内のみならず他県等の大規模災害等においても、災害派遣医療チーム（DMAT）を派遣するなど、積極的に医療救護の協力を行うこと。
----------	---

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
43	大規模災害への対応を図るため、DMATを編成し、必要な機能を整備する。 平成16年度には、岐阜県地域防災計画に基づく医療班を編成し、新潟県中越地震にて医療支援を実施した。（5班体制：1班5名）	IV	IV	III		<ul style="list-style-type: none"> 大規模災害発生時のDMATの派遣 大規模災害への対応を図るため、DMAT及び岐阜県地域防災計画に基づく医療班を編成し、必要な機能を整備する。 平成23年3月11日に発生した東日本大震災に対する対応として、被災直後にDMAT1班5名を派遣した。 その後、宮城県からの要請により3月18日から5月11日までの間に、医師1名、看護師2名、薬剤師1名、事務員1名の計5人を1班とする医療救護班5班が宮城県亘理町にて災害医療支援を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 大規模災害発生時のDMATの派遣 大規模災害への対応を図るため、DMAT及び岐阜県地域防災計画に基づく医療救護班を編成し、必要な機能を整備した。 	III		
44	・訓練・研修への派遣 大規模災害に対応するよう、DMATの5班体制を確保するために県内外のDMATとの訓練・研修に派遣することにより、質の向上と維持を図る。	III	III	III		<ul style="list-style-type: none"> 大規模災害に対応するよう、DMATの機能を維持するために、国、中部地区、岐阜県が開催する訓練・研修に参加し、質の向上と維持を図る。（平成24年度 DMAT 2班） 	<ul style="list-style-type: none"> 災害派遣医療チーム研修（業務研修員）に2名参加した。 平成25年度広域医療搬送実働訓練に5名参加した。 平成25年度災害派遣医療チーム研修に1名参加した DMAT技能維持研修に2名が参加した。 3名が岐阜DMAT隊員証の更新を申請した。 	III		

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

2-1 効率的な業務運営体制の確立

2-1-1 簡素で効果的な組織体制の確立

中期目標	自律性・機動性・効率性の高い病院運営を行うための業務運営体制を確立するとともに、地方独立行政法人制度の特徴を最大限に活かし、業務運営の改善及び効率化に努めることを求める。 医療を取り巻く環境の変化に迅速かつ的確に対応するため、法人の理事長のリーダーシップが発揮できる簡素で効果的な組織体制を確立すること。 ITの活用とアウトソーシングを進めるとともに、経営企画機能を強化し、経営効率の高い業務執行体制を確立すること。
------	--

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項
45	・効率的かつ効果的な組織体制の構築 理事長のイニシアチブの下、医療環境の変化や県民の医療需要に的確に対応できるよう弾力的な組織づくりを進め、迅速で柔軟性のある業務運営に努め、職員の自主性を尊重し、職員それぞれが自己の役割を全うできるよう効率的・効果的な組織体制づくりをする。	III	III	III		・効率的かつ効果的な組織体制の構築 理事長のリーダーシップの下、医療環境の変化や県民の医療需要に的確に対応できるよう診療体制を引き続き確保するための弾力的な組織づくりを進める。	・専門職の雇用を増員し、組織力の強化に努めた。 ※医療クラーク：3人増（48人→51人） ・また、併せて事務局体制を強化するため、新棟建設企画監を新設する組織改正を行った。	III		
46	・各種業務のIT化の推進 人事給与システム、旅費システム、経営管理システムなど各種事務処理において、積極的にITを活用する。	III	III	III		・各種業務のIT化の推進 人事給与システム、旅費システム、経営管理システムなどの機能見直しを随時実施し、効率的な事務環境を作り上げていく。	・ASPサービス（Application Service Provider Service：インターネットを通じて顧客にビジネス用アプリケーションをレンタルするサービス）の利用により人事・給与システムを導入するとともに、手当の増加や給与表の改定等にすみやかに対応するなど、給与計算事務を支援した。また、旅費計算ソフトにより、旅費計算事務の効率化を図っている。	III		
47	・アウトソーシング導入による合理化 定型な業務のうち委託が可能なものについては、アウトソーシングの導入を図る。	III	III	III		・アウトソーシング導入による合理化 新たなアウトソーシングの導入については、病院経営とのバランスを考慮しながら、委託内容や方法などの見直しを行う。既存の委託事業についての費用対効果等についてはチェックを行う。	・庁舎管理部門（清掃、設備監視、防災他）や医業部門（給食、医事業務、洗濯業務他）の専門的スキルを有する部門について、アウトソーシングを導入しており、特に情報業務システム関連業務、SPD業務の契約において、質・量の徹底的な見直しを実施したことにより、大幅な経費節減を実現できている。 ・診療材料について、メーカー間の競争を促し、価格交渉を継続して節減したことに加え、前年度の価格交渉結果を常に監視することで本年度も節減効果を維持した。	III		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証											
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項				自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項									
							アウトソーシング導入件数 <table border="1"> <tr> <td>H22</td> <td>H23</td> <td>H24</td> <td>H25</td> </tr> <tr> <td>1,857 件</td> <td>2,601 件</td> <td>3,272 件</td> <td>4,317 件</td> </tr> </table> ※電子カルテシステム中のデータをCD出力した件数				H22	H23	H24	H25	1,857 件	2,601 件	3,272 件	4,317 件				
H22	H23	H24	H25																			
1,857 件	2,601 件	3,272 件	4,317 件																			
48	・経営効率の高い業務執行体制の確立 事務局職員の病院運営や医療事務等に係る能力向上を支援することで、経営企画機能を強化し、経営環境の変化に対応できる業務執行体制を整備する。また、定年を迎えた職員のうち、病院経営に寄与すると認められる職員を再雇用する制度を整備する。	III	III	III		・経営効率の高い業務執行体制の確立 機動的、効率的な病院運営を図り平成22年度に策定した「事務職員の人材開発」に積極的に取り組むとともに、積極的に各種研修会に参加するなど地方独立行政法人化に合わせて整備した経営企画機能部門・人事労務管理部門を強化し、経営環境の変化に対応できる業務執行体制を確立する。	・経営効率の高い業務執行体制の確立 ・経営企画課において、経営分析等を行うことで、経営改善すべき点の把握につとめ、効率的な病院運営を図るための方策等を検討した。 ・非常勤職員の再雇用制度を活用し、質の高い医療の提供に寄与すると認められる薬剤師、看護師を再雇用し、更なる充実を図った。	III														

2-1-2 診療体制、人員配置の弾力的運用

中期目標	医療需要の変化に迅速に対応し、診療科の変更や医師・看護師等の配置の弾力的運用を行うこと。 常勤以外の雇用形態も含めた多様な専門職の活用による、効果的な医療の提供に努めること。
------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項				自己 評価	検証 結果
49	・弾力的運用の実施 医療需要や患者動向の変化に迅速・柔軟に対応した診療科の変更、医師・看護師等の配置の弾力的運用を行う。 脊椎脊髄外科センター、睡眠時無呼吸センター、前立腺センター、小児腎臓科、総合診療科等、医療需要の変化や患者動向に迅速に対応した診療科を設置し、また、漢方医療を活用した日本型医療の創生をめざし、漢方科の設置について検討する。	III	III	III		・弾力的運用の実施 医療需要や患者動向の変化に迅速・柔軟に対応した診療科の変更、医師・看護師等の配置の弾力的運用を行う。平成24年度は、内視鏡外科、脳卒中内科、脳卒中外科、産婦人科、成育医療科、女性科、病理センター・病理診断連携科、高血圧科、頭頸部外科を設置等した。	・平成25年度においては、ハイブリッドセンター部、総合外来センター、核医学診療センター、ワクチンセンター部、遺伝子診断治療外来、内視鏡治療部、呼吸器内視鏡部、大腸外科、精神腫瘍科、入院前検査センター、臨床栄養科等を設置し、医療需要の変化や患者動向に迅速に対応した。	III				
50	・効果的な体制による医療の提供 常勤以外の雇用形態を含む多様な専門職の活用	III	IV	IV		・効果的な体制による医療の提供 常勤以外の雇用形態を含む多様な専門職の活用	・医療職サポートシステムの強化、充実を図るため各種クラークを採用した。	IV				

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証																																																																							
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項				自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																																					
	<p>など、効果的な体制による医療の提供に努める。 特に、医療職サポートシステム（医療クラーク、病棟等看護クラーク等）の強化、充実を図る。</p>					<p>など、効果的な体制による医療の提供に努める。 特に、医療職サポートシステム（医師事務作業補助職員：48人（平成24年度）→50人、看護事務補助職員：26人（平成24年度）→31人）の強化、充実を図る。</p>	<p>医師・看護師事務作業補助者数（各年3.31）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療クラーク</td> <td>20</td> <td>38</td> <td>48</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>看護クラーク</td> <td>16</td> <td>26</td> <td>26</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>36</td> <td>64</td> <td>74</td> <td>79</td> </tr> </tbody> </table>					H22	H23	H24	H25	医療クラーク	20	38	48	51	看護クラーク	16	26	26	28	合計	36	64	74	79																																																				
	H22	H23	H24	H25																																																																														
医療クラーク	20	38	48	51																																																																														
看護クラーク	16	26	26	28																																																																														
合計	36	64	74	79																																																																														
51	<p>・3法人間の人事交流による適正な職員配置（人材活用のネットワーク化） 地方独立行政法人岐阜県立多治見病院及び地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院間で、職種の特殊性に配慮し、積極的に人事交流を行うなど、3法人間人材活用等のネットワーク化により、適正な職員配置を実現する。</p>	III	III	III	<p>・3法人間の人事交流による適正な職員配置（人材活用のネットワーク化） 地方独立行政法人岐阜県立多治見病院及び地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院間で、職種の特殊性に配慮し、積極的に人事交流を行うことで、職種による人材の過不足を相互に補い、適正な職員配置を実現する。</p>	<p>・3法人間の人事交流による適正な職員配置（人材活用のネットワーク化）を実施した。 ・人事交流実績（出向） 他法人への出向 3人 〔コメディカル（多治見病院1人、下呂温泉病院2人）〕 他法人からの出向（受入）3人 〔看護師（下呂温泉病院2人）、助産師（下呂温泉病院1人）〕</p> <p>職員の他法人への出向状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>准看護師</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>10</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>11</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>他法人職員の受入状況 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>1</td> <td>2(3)</td> <td>2(1)</td> <td>2(1)</td> </tr> <tr> <td>准看護師</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2</td> <td>4(3)</td> <td>3(1)</td> <td>3(1)</td> </tr> </tbody> </table>					H22	H23	H24	H25	医師	—	—	—	—	歯科医師	—	—	—	—	看護師	1	1	—	—	准看護師	—	—	—	—	コメディカル	10	4	2	3	合計	11	5	2	3		H22	H23	H24	H25	医師	—	—	—	—	歯科医師	—	—	—	—	看護師	1	2(3)	2(1)	2(1)	准看護師	—	—	—	—	コメディカル	1	2	1	1	合計	2	4(3)	3(1)	3(1)	III		
	H22	H23	H24	H25																																																																														
医師	—	—	—	—																																																																														
歯科医師	—	—	—	—																																																																														
看護師	1	1	—	—																																																																														
准看護師	—	—	—	—																																																																														
コメディカル	10	4	2	3																																																																														
合計	11	5	2	3																																																																														
	H22	H23	H24	H25																																																																														
医師	—	—	—	—																																																																														
歯科医師	—	—	—	—																																																																														
看護師	1	2(3)	2(1)	2(1)																																																																														
准看護師	—	—	—	—																																																																														
コメディカル	1	2	1	1																																																																														
合計	2	4(3)	3(1)	3(1)																																																																														

※ 看護師欄にある（ ）は、助産師数

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
						・障がい者雇用の促進 平成24年1月～12月の間で、障がい者を6人 雇用する。	平成25年度 障がい者雇用数 9人（事務局3 人、薬剤部1人、看護部5人）	—		

2-1-3 人事評価システムの構築

中期 目標	職員のモチベーション向上のため、知識、能力、経験や勤務実績等を反映させた公平で客観的な人事評価制度の構築を図り、中期目標の期間の最終年度までに試行運用を行うこと。
----------	---

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
52	・職員の業績や能力を職員の給与に反映し、職員の 人材育成、人事管理に活用するための公正で客観的 な人事評価制度を構築する。なお、中期目標の期間 内に当該制度を試行的に実施するものとする。	III	III	IV		・職員の業績や能力を職員の給与に反映し、職員の 人材育成、人事管理に活用するための公正で客観的 な人事評価制度を試行する。また、独自の人事評価 制度の構築に向け引き続き検討する。	<人事評価制度構築への取り組み状況> ・評価者に対する研修会を実施した（10/25）。 ・全部署の中から、3診療科（神経内科、小児科、 眼科）、看護部、薬剤センター、中央放射線部、事 務局を抽出して試行を実施した。	IV		

2-1-4 事務部門の専門性の向上

中期目標	事務部門において、病院特有の事務に精通した法人の職員を計画的に確保及び育成することにより、事務部門の専門性を向上すること。
------	---

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H24 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																				
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																			
53	<p>・経営管理機能を強化するため、病院事務に精通し、経営の中心となるプロパー職員を計画的に確保する。また、専門性の向上に計画的に取り組むため、診療報酬等の専門研修、病院経営に係る財務経営分析等の研修、危機管理に関する研修など事務部門の病院運営や医療事務に精通した職員を確保する。</p>	III	III	III	<p>・新たに必要となった人事労務機能の強化のため、総務課内に設置した「人事労務担当」、経営管理機能を強化するために設置した「経営企画課」に関して、更なる専門性の向上を図る。</p> <p>そのため、新人職員の院内外研修の実施をはじめ人事・労務管理に関する研修、病院経営に係る財務経営分析等の研修、危機管理に関する研修、医事管理の専門研修などへの参加を支援するとともに、プロパー（事務職）職員を計画的に採用し、事務部門の病院運営や医療事務に精通した職員を確保する。</p>	<p>・経営企画課内の組織の合理化・効率化を図るため、各担当を新たに「企画財務担当」として統合し、また、医療サービス課の名称を「医事課」に変更するとともに「診療情報解析担当」を新設した。</p> <p>・プロパー（事務職）職員を計画的に採用（事務職員6人）し、病院運営や医療事務に精通した事務職員を確保した。</p> <p>・経営企画課主導による経営状況の分析、課題への取組等について経営会議において検討し、収益体質の向上や効率的な経営に取り組み収益の増加やコスト削減に寄与した。また、専門性の向上のため、職務に関連する研修の参加を支援した。</p> <p>・経営会議 月1回開催 毎月の経営状況の把握、診療科別損益計算やDPC係数等収益性の向上を課題として実施した。</p> <p>・施設基準 診療内容を精査した上で、必要な項目を届出することで、収益性の向上に取り組んだ。</p> <p>事務職員の状況 (各年3.31時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プロパー職員</td> <td>1</td> <td>10</td> <td>14</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>県派遣職員</td> <td>26</td> <td>28</td> <td>26</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>27</td> <td>38</td> <td>40</td> <td>42</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	H24	H25	プロパー職員	1	10	14	27	県派遣職員	26	28	26	15	合計	27	38	40	42	III		
	H22	H23	H24	H25																									
プロパー職員	1	10	14	27																									
県派遣職員	26	28	26	15																									
合計	27	38	40	42																									

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組
 2-2 業務運営の見直しや効率化による収支改善
 2-2-1 多様な契約手法の導入

中期目標 透明性・公平性の確保に十分留意しつつ、複数年契約や複合契約など多様な契約手法を導入し、契約事務の集約化・簡素化・迅速化を図るとともに、費用の節減に努めること。

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項
54	・入札・契約事務について、民間病院の取り組みを参考に、複数年契約や複合契約などの多様な契約手法を導入するなど、集約化・簡素化・迅速化を図り、経費の節減に努める。	III	IV	IV		・入札・契約については透明性・公平性を図るため、民間病院や先行した地方独立行政法人の取り組みを参考に、複数年契約や複合契約などの多様な契約手法の導入に向け検討し、集約化・簡素化・迅速化を図り、経費の節減を図る。	・診療材料について、メーカー間の競争を促し、価格交渉を継続して節減したことに加え、前年度の価格交渉結果を常に監視することで本年度も節減効果を維持した。 ・各部署における診療材料の定数品目及び数量の見直しを行い、効率的な管理を推進した。 ・診療材料については、ベンチマークを活用し1,660品目の価格交渉を行い、約3,700万円のコスト削減ができた。	IV		

2-2-2 収入の確保

中期目標 地域社会のニーズに即した病院経営を行うことにより、病床利用率や医療機器の稼働率を高め、収入の確保に努めること。

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証															
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項														
55	・効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用担当職員の配置と空床管理マニュアルにより、有効な病床管理を徹底し、病床利用率の向上に取り組む。また、医療機器については、開放型病床登録医師（地域開業医師）との病診連携を密にし、開放型病床を活用することで、医療機器の稼働率の向上を図る。さらに、医療需要の変化や患者動向に対応できるよう診療科を多様化し、健診部門	III	III	III		・効果的な病床管理、医療機器の効率的な活用 長期入院の患者数を常に把握しながら空床管理マニュアルを活用し、併せて病診連携による退院調整を促進し、在院日数の短縮及び病床利用率の向上に努める。 また、医療機器については、開放型病床登録医師（地域開業医師）との病診連携を密にし、開放型病床を活用することで、医療機器の稼働率の向上を図	・地域の医療機関等との連携として、共同指導、病床(100床)・設備の開放を行い病診連携を推進した。 ・開放型病床利用率、共同指導回数(月平均)の推移	III																
							<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共同指導(回)</td> <td>12.7</td> <td>14.5</td> <td>15.3</td> <td>12.6</td> </tr> <tr> <td>病床利用率</td> <td>75.1 %</td> <td>66.3 %</td> <td>49.4 %</td> <td>41.9 %</td> </tr> </tbody> </table>	項目・年度	H22	H23	H24	H25	共同指導(回)	12.7	14.5	15.3	12.6	病床利用率	75.1 %	66.3 %	49.4 %	41.9 %		
項目・年度	H22	H23	H24	H25																				
共同指導(回)	12.7	14.5	15.3	12.6																				
病床利用率	75.1 %	66.3 %	49.4 %	41.9 %																				

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																																					
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																																				
	についても導入を目指す。					る。	<ul style="list-style-type: none"> ・MRI、CT、胃カメラ等の検査は登録医からの FAX により予約が可能となっている。 ○実績 <table border="1"> <tr> <th>項目・年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> <tr> <td>FAX 予約</td> <td>1,253</td> <td>1,173</td> <td>1,087</td> <td>1,075</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H25/H24</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">外 来</td> <td>患者数</td> <td>人</td> <td>297,289</td> <td>314,349</td> <td>105.7</td> </tr> <tr> <td>平均患者数</td> <td>人/日</td> <td>1,213</td> <td>1,288</td> <td>106.2</td> </tr> <tr> <td>診療額</td> <td>百万円</td> <td>4,319</td> <td>4,671</td> <td>108.2</td> </tr> <tr> <td>診療単価</td> <td>円/日</td> <td>14,527</td> <td>14,860</td> <td>102.3</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">入 院</td> <td>患者数</td> <td>人</td> <td>192,695</td> <td>194,504</td> <td>100.9</td> </tr> <tr> <td>平均患者数</td> <td>人/日</td> <td>528</td> <td>533</td> <td>100.9</td> </tr> <tr> <td>診療額</td> <td>百万円</td> <td>13,416</td> <td>14,130</td> <td>105.3</td> </tr> <tr> <td>診療単価</td> <td>円/日</td> <td>69,624</td> <td>72,644</td> <td>104.3</td> </tr> <tr> <td>在院日数</td> <td>日</td> <td>12.5</td> <td>12.6</td> <td>100.8</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>病床利用率</td> <td>%</td> <td>90.0</td> <td>90.3</td> <td>100.3</td> </tr> </table>	項目・年度	H22	H23	H24	H25	FAX 予約	1,253	1,173	1,087	1,075			H24	H25	H25/H24	外 来	患者数	人	297,289	314,349	105.7	平均患者数	人/日	1,213	1,288	106.2	診療額	百万円	4,319	4,671	108.2	診療単価	円/日	14,527	14,860	102.3	入 院	患者数	人	192,695	194,504	100.9	平均患者数	人/日	528	533	100.9	診療額	百万円	13,416	14,130	105.3	診療単価	円/日	69,624	72,644	104.3	在院日数	日	12.5	12.6	100.8			病床利用率	%	90.0	90.3	100.3		
項目・年度	H22	H23	H24	H25																																																																										
FAX 予約	1,253	1,173	1,087	1,075																																																																										
		H24	H25	H25/H24																																																																										
外 来	患者数	人	297,289	314,349	105.7																																																																									
	平均患者数	人/日	1,213	1,288	106.2																																																																									
	診療額	百万円	4,319	4,671	108.2																																																																									
	診療単価	円/日	14,527	14,860	102.3																																																																									
入 院	患者数	人	192,695	194,504	100.9																																																																									
	平均患者数	人/日	528	533	100.9																																																																									
	診療額	百万円	13,416	14,130	105.3																																																																									
	診療単価	円/日	69,624	72,644	104.3																																																																									
	在院日数	日	12.5	12.6	100.8																																																																									
		病床利用率	%	90.0	90.3	100.3																																																																								
56	・未収金の発生防止対策等 診療報酬の請求もれ防止と未収金の発生の未然防止を徹底するため、相談窓口拡充を図る。	III	IV	IV	<ul style="list-style-type: none"> ・未収金の発生防止対策等 診療費に係る未収金の発生防止対策として、緊急に入院となった患者への面談を実施することで保険確認や支払相談に早期に着手することで未収金発生の未然防止を徹底する。また、平成23年10月から導入した入院患者に対する退院時請求・支払が行える体制を定着化させるとともに支払に関する相談に応じる体制も確保する。やむなく未収金となった場合には、支払計画の作成を促すとともにその履行を確認し、早期の督促、催告を実施する。あわせて回収が困難と見込まれる未収金については、平成22年度末から実施した債権回収業務（弁護士法人）にその処理を委託し効果的、効率的な未収金回収に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○発生防止 ・入院説明室（H26.1 入院説明室から名称変更）で、入院決定時に概算費用の提示や福祉制度の説明など医療相談員への仲介を実施した。また、入院患者には原則として限度額認定証の提示を求めていることを説明し、その手続きを依頼した。 ・医療相談員により、救急搬送患者に対する身元確認、保険確認を早期に行い、医療保険制度の活用を紹介するなど高額な患者負担額とならないよう努めた。 ・出産に伴う入院費について、出産一時金直接払制度を全ての出産について利用していただくよう徹底を図った。制度の利用が困難な事案については、医療相談員の介入を早期に実施し、退院時の支払が出来るよう支援を行った。 ○回収 ・毎月2回、定期に督促状を發布し、早期に未収金 	IV																																																																							

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																															
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																														
						<p>回収に着手した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 督促状発布後、随時催告状を発送するとともに必要に応じ夜間電話催告や臨宅催告を行った。 未納者が受診した際には、面談による納付催告実施した。 回収困難な未収金について、弁護士法人に回収業務を委託し、回収の実績を上げた。 <p>○回収実績（各年3月時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託金額</td> <td>64,558 千円</td> <td>106,970 千円</td> <td>116,670 千円</td> </tr> <tr> <td>回収金額</td> <td>14,304 千円</td> <td>30,185 千円</td> <td>41,496 千円</td> </tr> <tr> <td>回収率</td> <td>22.1%</td> <td>28.2%</td> <td>35.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>○センター全体の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 未収金対策部会（H22.12 設置）がリーダーシップをとり、現状把握、回収・発生防止を病院全体で行った。 病棟による支払確認後に退院させるようにし、休日退院患者に対し、可能な場合は退院前に入院費の計算を行い、請求する体制をとり、成果を上げた。 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療相談員を2人増員し、各種医療相談への対応を充実させた。（H22 から） クレジットカード決済を導入（H22.7）し、支払機会の拡大を図ることで、入院費などの高額な支払が円滑に出来るよう体制を整えた。 <p>○クレジットカード利用実績割合 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>3.29</td> <td>4.90</td> <td>6.95</td> <td>9.65</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>11.20</td> <td>14.76</td> <td>18.30</td> <td>21.16</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	H26	委託金額	64,558 千円	106,970 千円	116,670 千円	回収金額	14,304 千円	30,185 千円	41,496 千円	回収率	22.1%	28.2%	35.5%		H22	H23	H24	H25	件数	3.29	4.90	6.95	9.65	金額	11.20	14.76	18.30	21.16			
	H24	H25	H26																																					
委託金額	64,558 千円	106,970 千円	116,670 千円																																					
回収金額	14,304 千円	30,185 千円	41,496 千円																																					
回収率	22.1%	28.2%	35.5%																																					
	H22	H23	H24	H25																																				
件数	3.29	4.90	6.95	9.65																																				
金額	11.20	14.76	18.30	21.16																																				

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																														
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																													
						※全体の支払件数、金額に占めるクレジットカード 利用率 未収金発生状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H24</th> <th colspan="2">H25</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額(千円)</th> <th>件数</th> <th>金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>過年分</td> <td>763</td> <td>73,554</td> <td>740</td> <td>66,185</td> </tr> <tr> <td>現年分</td> <td>372</td> <td>19,796</td> <td>368</td> <td>24,797</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1,135</td> <td>93,350</td> <td>1,108</td> <td>90,982</td> </tr> </tbody> </table> ※各年度、翌年5月31日現在の数値 ※H24年度からH25年度で医業収益が1,113百万円 増加したことにより、H25年度に新規で発生した未 収金は、H24年度に比較して約50百万円増加した。		H24		H25		件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	過年分	763	73,554	740	66,185	現年分	372	19,796	368	24,797	合 計	1,135	93,350	1,108	90,982									
	H24		H25																																				
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)																																			
過年分	763	73,554	740	66,185																																			
現年分	372	19,796	368	24,797																																			
合 計	1,135	93,350	1,108	90,982																																			
57	・入院時医学管理加算として退院時の開業医への 紹介率（退院時加算等40%以上）の向上 入院時医学管理加算の強化や看護師の集中によ る集中治療加算など、診療報酬を増やし収入が確 保できる体制を整備する。	III	III	IV	・総合入院体制加算（旧：入院時医学管理加算）と して退院時の開業医への紹介率（退院時加算等4 0%以上）の向上 平成24年度の診療報酬改定に柔軟に対応し、診 療収入の確保に繋がる施設基準についてはその体制 整備等を行い、速やかに届出等を行う。特に、総合 入院体制加算や地域医療支援病院入院診療加算など 収入への影響が大きい加算については、その算定基 準（要件）を維持する。 総合入院体制加算：退院時診療情報添付加算算定 割合 40%以上 地域医療支援病院入院診療加算：紹介率40%以 上、逆紹介率60%以上	・総合入院体制加算の要件である「地域の他の保険 医療機関との連携のもとに、診療情報提供料（I） の加算を算定する退院患者数及び治癒し通院の必 要のない患者数が直近の1ヶ月間の総退院患者数 のうち、4割以上であること」（退院時加算40% 以上）が達成できた。 ・実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>61.5%</td> <td>61.8%</td> <td>63.3%</td> <td>64.2%</td> </tr> <tr> <td>紹介実施 件数</td> <td>13,330 件</td> <td>13,538 件</td> <td>14,524 件</td> <td>15,079 件</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>73.4%</td> <td>72.7%</td> <td>75.7%</td> <td>78.1%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介実 施件数</td> <td>16,937 件</td> <td>16,867 件</td> <td>18,488 件</td> <td>19,587 件</td> </tr> <tr> <td>退院時加 算</td> <td>42.1%</td> <td>44.5%</td> <td>50.2%</td> <td>47.8%</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	H24	H25	紹介率	61.5%	61.8%	63.3%	64.2%	紹介実施 件数	13,330 件	13,538 件	14,524 件	15,079 件	逆紹介率	73.4%	72.7%	75.7%	78.1%	逆紹介実 施件数	16,937 件	16,867 件	18,488 件	19,587 件	退院時加 算	42.1%	44.5%	50.2%	47.8%	IV		
	H22	H23	H24	H25																																			
紹介率	61.5%	61.8%	63.3%	64.2%																																			
紹介実施 件数	13,330 件	13,538 件	14,524 件	15,079 件																																			
逆紹介率	73.4%	72.7%	75.7%	78.1%																																			
逆紹介実 施件数	16,937 件	16,867 件	18,488 件	19,587 件																																			
退院時加 算	42.1%	44.5%	50.2%	47.8%																																			

2-2-3 費用の削減

中期目標	薬剤・診療材料の購入方法の見直しや在庫管理の徹底や後発医薬品（ジェネリック医薬品）の採用などにより費用の削減に努めること。
------	---

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																							
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																																						
58	<p>・医薬品・診療材料等の購入方法の見直し、適正な在庫管理の徹底や後発医薬品（ジェネリック医薬品）の効率的採用などによる費用の削減</p> <p>専門職員を配置し、他病院での医薬品・診療材料等の購入価格や後発医薬品の使用状況を調査・分析し、効率的・経済的な購入に努め、費用の削減を図る。</p>	III	III	III		<p>・医薬品・診療材料等の購入方法の見直し、適正な在庫管理の徹底や後発医薬品（ジェネリック医薬品）の効率的採用などによる費用の削減</p> <p>・医薬品については、全国自治体病院協議会医薬品ベンチマーク・分析システム事業に参加し、医薬品の適正な管理、購入価格の削減に活かす。</p> <p>・医薬品費、診療材料費等の材料費を対前年度比で1%の削減を図る。</p> <p>・材料費について医薬収益の30%以下を目指す。</p> <p>・ジェネリック医薬品の使用率12.53%（使用単位数比較）以上を目指す。</p>	<p>・医薬品・診療材料等の購入方法の見直し、適正な在庫管理の徹底や後発医薬品（ジェネリック医薬品）の効率的採用などによる費用の削減を目指した。</p> <p>・医薬品のコスト削減への取り組み状況 先発品から後発品に、院内コンセンサスを得ながら変更した。</p> <p>・コンサルタント活用による情報収集と診療材料のコスト削減への取り組み。</p> <p>・ジェネリック医薬品使用単位数実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>増加率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>使用率</td> <td>11.27%</td> <td>11.85%</td> <td>+0.58%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ジェネリック医薬品の使用率 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品目ベース</td> <td>6.36</td> <td>6.51</td> <td>6.81</td> <td>6.53</td> </tr> <tr> <td>金額ベース</td> <td>3.87</td> <td>5.45</td> <td>5.12</td> <td>4.73</td> </tr> </tbody> </table> <p>・医薬収益に対する材料費比率 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td> <td>15.46</td> <td>14.34</td> <td>13.87</td> <td>13.76</td> </tr> <tr> <td>診療材料費</td> <td>13.07</td> <td>14.06</td> <td>13.46</td> <td>14.61</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H24	H25	増加率	使用率	11.27%	11.85%	+0.58%		H22	H23	H24	H25	品目ベース	6.36	6.51	6.81	6.53	金額ベース	3.87	5.45	5.12	4.73		H22	H23	H24	H25	薬品費	15.46	14.34	13.87	13.76	診療材料費	13.07	14.06	13.46	14.61	III		
年度	H24	H25	増加率																																													
使用率	11.27%	11.85%	+0.58%																																													
	H22	H23	H24	H25																																												
品目ベース	6.36	6.51	6.81	6.53																																												
金額ベース	3.87	5.45	5.12	4.73																																												
	H22	H23	H24	H25																																												
薬品費	15.46	14.34	13.87	13.76																																												
診療材料費	13.07	14.06	13.46	14.61																																												

3 予算（人件費の見積含む）、収支計画及び資金計画

中期目標	<p>経常収支比率 業務運営の改善及び効率化を効果的に進めることで、中期目標の期間の最終年度までに経常収支比率100%以上を達成すること。</p> <p>職員給与費対医業収益比率 職員給与費対医業収益比率については、同規模の全国自治体病院の黒字病院の当該比率の平均値を参考に、中期計画にその目標を定め、中期目標の期間の最終年度までに達成すること。</p>
------	---

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																																																														
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																																																																																													
59	<p>「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、中期目標の期間の最終年度までに、経常収支比率100%以上及び職員給与費対医業収益比率を50%以下とすることを旨とする。</p>	IV	III	IV	<p>「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、中期目標の期間の最終年度までに、経常収支比率100%以上及び職員給与費対医業収益比率を50%以下とすることを旨とする。</p>	<p>「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、経常収支比率103.2%、及び職員給与費対医業収益比率47.4%と年度計画を上回る結果となった。</p> <p>経常収支比率・職員給与費対医業収益比率 (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支</td> <td>97.2</td> <td>98.8</td> <td>103.1</td> <td>103.2</td> </tr> <tr> <td>職員給与費</td> <td>47.4</td> <td>47.2</td> <td>47.2</td> <td>47.4</td> </tr> </tbody> </table>		H22	H23	H24	H25	経常収支	97.2	98.8	103.1	103.2	職員給与費	47.4	47.2	47.2	47.4	IV																																																																																	
	H22	H23	H24	H25																																																																																																			
経常収支	97.2	98.8	103.1	103.2																																																																																																			
職員給与費	47.4	47.2	47.2	47.4																																																																																																			
<p>3-1 予算（平成22年度～平成26年度） (単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>79,993</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>74,758</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>3,816</td> </tr> <tr> <td> その他営業収益</td> <td>1,420</td> </tr> <tr> <td> 営業外収益</td> <td>1,156</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>1,017</td> </tr> <tr> <td> その他営業外収益</td> <td>138</td> </tr> <tr> <td> 資本収入</td> <td>1,025</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金</td> <td>5,963</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金</td> <td>4,339</td> </tr> <tr> <td> その他資本収入</td> <td>223</td> </tr> <tr> <td> その他の収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 計</td> <td>91,674</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		区分	金額	収入		営業収益	79,993	医業収益	74,758	運営費負担金収益	3,816	その他営業収益	1,420	営業外収益	1,156	運営費負担金収益	1,017	その他営業外収益	138	資本収入	1,025	長期借入金	5,963	運営費負担金	4,339	その他資本収入	223	その他の収入	0	計	91,674	支出				<p>3-1 予算（平成25年度） (単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>20,469</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>19,123</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>1,029</td> </tr> <tr> <td> その他営業収益</td> <td>316</td> </tr> <tr> <td> 営業外収益</td> <td>238</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>162</td> </tr> <tr> <td> その他営業外収益</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td> 資本収入</td> <td>2,674</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金</td> <td>1,898</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金</td> <td>499</td> </tr> <tr> <td> その他資本収入</td> <td>277</td> </tr> <tr> <td> その他の収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> 計</td> <td>23,382</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		区分	金額	収入		営業収益	20,469	医業収益	19,123	運営費負担金収益	1,029	その他営業収益	316	営業外収益	238	運営費負担金収益	162	その他営業外収益	76	資本収入	2,674	長期借入金	1,898	運営費負担金	499	その他資本収入	277	その他の収入	0	計	23,382	支出		<p>3-1 決算（平成25年度） (単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>20,575</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>19,190</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>1,008</td> </tr> <tr> <td> その他営業収益</td> <td>376</td> </tr> <tr> <td> 営業外収益</td> <td>228</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>161</td> </tr> <tr> <td> その他営業外収益</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td> 資本収入</td> <td>2,676</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金</td> <td>1,898</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金</td> <td>534</td> </tr> <tr> <td> その他資本収入</td> <td>243</td> </tr> <tr> <td> その他の収入</td> <td>104</td> </tr> <tr> <td> 計</td> <td>23,585</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		区分	金額	収入		営業収益	20,575	医業収益	19,190	運営費負担金収益	1,008	その他営業収益	376	営業外収益	228	運営費負担金収益	161	その他営業外収益	67	資本収入	2,676	長期借入金	1,898	運営費負担金	534	その他資本収入	243	その他の収入	104	計	23,585	支出	
区分	金額																																																																																																						
収入																																																																																																							
営業収益	79,993																																																																																																						
医業収益	74,758																																																																																																						
運営費負担金収益	3,816																																																																																																						
その他営業収益	1,420																																																																																																						
営業外収益	1,156																																																																																																						
運営費負担金収益	1,017																																																																																																						
その他営業外収益	138																																																																																																						
資本収入	1,025																																																																																																						
長期借入金	5,963																																																																																																						
運営費負担金	4,339																																																																																																						
その他資本収入	223																																																																																																						
その他の収入	0																																																																																																						
計	91,674																																																																																																						
支出																																																																																																							
区分	金額																																																																																																						
収入																																																																																																							
営業収益	20,469																																																																																																						
医業収益	19,123																																																																																																						
運営費負担金収益	1,029																																																																																																						
その他営業収益	316																																																																																																						
営業外収益	238																																																																																																						
運営費負担金収益	162																																																																																																						
その他営業外収益	76																																																																																																						
資本収入	2,674																																																																																																						
長期借入金	1,898																																																																																																						
運営費負担金	499																																																																																																						
その他資本収入	277																																																																																																						
その他の収入	0																																																																																																						
計	23,382																																																																																																						
支出																																																																																																							
区分	金額																																																																																																						
収入																																																																																																							
営業収益	20,575																																																																																																						
医業収益	19,190																																																																																																						
運営費負担金収益	1,008																																																																																																						
その他営業収益	376																																																																																																						
営業外収益	228																																																																																																						
運営費負担金収益	161																																																																																																						
その他営業外収益	67																																																																																																						
資本収入	2,676																																																																																																						
長期借入金	1,898																																																																																																						
運営費負担金	534																																																																																																						
その他資本収入	243																																																																																																						
その他の収入	104																																																																																																						
計	23,585																																																																																																						
支出																																																																																																							

項目 No.	中期計画		過年度の検証結果				H25 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																																																																																																													
			H22	H23	H24	H25			業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項		自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																																																																												
	<table border="1"> <tr><td>営業費用</td><td>73,180</td></tr> <tr><td> 医業費用</td><td>71,899</td></tr> <tr><td> 給与費</td><td>36,395</td></tr> <tr><td> 材料費</td><td>22,621</td></tr> <tr><td> 経費</td><td>12,385</td></tr> <tr><td> 研究研修費</td><td>497</td></tr> <tr><td> 一般管理費</td><td>1,281</td></tr> <tr><td> 給与費</td><td>1,063</td></tr> <tr><td> 経費</td><td>218</td></tr> <tr><td>営業外費用</td><td>1,624</td></tr> <tr><td>資本支出</td><td>16,430</td></tr> <tr><td> 建設改良費</td><td>5,554</td></tr> <tr><td> 償還金</td><td>10,826</td></tr> <tr><td> その他資本支出</td><td>50</td></tr> <tr><td>その他の支出</td><td>221</td></tr> <tr><td>計</td><td>91,454</td></tr> </table>		営業費用	73,180	医業費用	71,899	給与費	36,395	材料費	22,621	経費	12,385	研究研修費	497	一般管理費	1,281	給与費	1,063	経費	218	営業外費用	1,624	資本支出	16,430	建設改良費	5,554	償還金	10,826	その他資本支出	50	その他の支出	221	計	91,454					<table border="1"> <tr><td>営業費用</td><td>17,923</td></tr> <tr><td> 医業費用</td><td>17,621</td></tr> <tr><td> 給与費</td><td>8,766</td></tr> <tr><td> 材料費</td><td>5,719</td></tr> <tr><td> 経費</td><td>2,920</td></tr> <tr><td> 研究研修費</td><td>214</td></tr> <tr><td> 一般管理費</td><td>302</td></tr> <tr><td> 給与費</td><td>266</td></tr> <tr><td> 経費</td><td>35</td></tr> <tr><td>営業外費用</td><td>244</td></tr> <tr><td>資本支出</td><td>3,703</td></tr> <tr><td> 建設改良費</td><td>943</td></tr> <tr><td> 償還金</td><td>2,692</td></tr> <tr><td> その他資本支出</td><td>67</td></tr> <tr><td>その他の支出</td><td>0</td></tr> <tr><td>計</td><td>21,871</td></tr> </table>		営業費用	17,923	医業費用	17,621	給与費	8,766	材料費	5,719	経費	2,920	研究研修費	214	一般管理費	302	給与費	266	経費	35	営業外費用	244	資本支出	3,703	建設改良費	943	償還金	2,692	その他資本支出	67	その他の支出	0	計	21,871	<table border="1"> <tr><td>営業費用</td><td>18,006</td></tr> <tr><td> 医業費用</td><td>17,692</td></tr> <tr><td> 給与費</td><td>8,729</td></tr> <tr><td> 材料費</td><td>5,860</td></tr> <tr><td> 経費</td><td>2,920</td></tr> <tr><td> 研究研修費</td><td>182</td></tr> <tr><td> 一般管理費</td><td>313</td></tr> <tr><td> 給与費</td><td>278</td></tr> <tr><td> 経費</td><td>35</td></tr> <tr><td>営業外費用</td><td>242</td></tr> <tr><td>資本支出</td><td>3,771</td></tr> <tr><td> 建設改良費</td><td>1,027</td></tr> <tr><td> 償還金</td><td>2,692</td></tr> <tr><td> その他資本支出</td><td>51</td></tr> <tr><td>その他の支出</td><td>117</td></tr> <tr><td>計</td><td>22,137</td></tr> </table>		営業費用	18,006	医業費用	17,692	給与費	8,729	材料費	5,860	経費	2,920	研究研修費	182	一般管理費	313	給与費	278	経費	35	営業外費用	242	資本支出	3,771	建設改良費	1,027	償還金	2,692	その他資本支出	51	その他の支出	117	計	22,137															
営業費用	73,180																																																																																																																								
医業費用	71,899																																																																																																																								
給与費	36,395																																																																																																																								
材料費	22,621																																																																																																																								
経費	12,385																																																																																																																								
研究研修費	497																																																																																																																								
一般管理費	1,281																																																																																																																								
給与費	1,063																																																																																																																								
経費	218																																																																																																																								
営業外費用	1,624																																																																																																																								
資本支出	16,430																																																																																																																								
建設改良費	5,554																																																																																																																								
償還金	10,826																																																																																																																								
その他資本支出	50																																																																																																																								
その他の支出	221																																																																																																																								
計	91,454																																																																																																																								
営業費用	17,923																																																																																																																								
医業費用	17,621																																																																																																																								
給与費	8,766																																																																																																																								
材料費	5,719																																																																																																																								
経費	2,920																																																																																																																								
研究研修費	214																																																																																																																								
一般管理費	302																																																																																																																								
給与費	266																																																																																																																								
経費	35																																																																																																																								
営業外費用	244																																																																																																																								
資本支出	3,703																																																																																																																								
建設改良費	943																																																																																																																								
償還金	2,692																																																																																																																								
その他資本支出	67																																																																																																																								
その他の支出	0																																																																																																																								
計	21,871																																																																																																																								
営業費用	18,006																																																																																																																								
医業費用	17,692																																																																																																																								
給与費	8,729																																																																																																																								
材料費	5,860																																																																																																																								
経費	2,920																																																																																																																								
研究研修費	182																																																																																																																								
一般管理費	313																																																																																																																								
給与費	278																																																																																																																								
経費	35																																																																																																																								
営業外費用	242																																																																																																																								
資本支出	3,771																																																																																																																								
建設改良費	1,027																																																																																																																								
償還金	2,692																																																																																																																								
その他資本支出	51																																																																																																																								
その他の支出	117																																																																																																																								
計	22,137																																																																																																																								
	(注記 略)						(注記 略)		(注記 略)																																																																																																																
	3-2 収支計画 (平成22年度～平成26年度) (単位：百万円)						3-2 収支計画 (平成25年度) (単位：百万円)		3-2 収支計画に対する実績 (平成25年度) (単位：百万円)																																																																																																																
	<table border="1"> <thead> <tr><th>区 分</th><th>金 額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>収益の部</td><td>81,130</td></tr> <tr><td> 営業収益</td><td>79,937</td></tr> <tr><td> 医業収益</td><td>74,673</td></tr> <tr><td> 運営費負担金収益</td><td>3,816</td></tr> <tr><td> 資産見返負債戻入</td><td>50</td></tr> <tr><td> その他営業収益</td><td>1,399</td></tr> <tr><td> 営業外収益</td><td>1,153</td></tr> <tr><td> 運営費負担金収益</td><td>1,017</td></tr> <tr><td> その他営業外収益</td><td>136</td></tr> <tr><td> 臨時利益</td><td>39</td></tr> <tr><td>費用の部</td><td>85,259</td></tr> <tr><td> 営業費用</td><td>80,911</td></tr> <tr><td> 医業費用</td><td>79,528</td></tr> <tr><td> 給与費</td><td>36,070</td></tr> <tr><td> 材料費</td><td>21,570</td></tr> <tr><td> 経費</td><td>11,985</td></tr> <tr><td> 減価償却費</td><td>9,428</td></tr> </tbody> </table>		区 分	金 額	収益の部	81,130	営業収益	79,937	医業収益	74,673	運営費負担金収益	3,816	資産見返負債戻入	50	その他営業収益	1,399	営業外収益	1,153	運営費負担金収益	1,017	その他営業外収益	136	臨時利益	39	費用の部	85,259	営業費用	80,911	医業費用	79,528	給与費	36,070	材料費	21,570	経費	11,985	減価償却費	9,428				<table border="1"> <thead> <tr><th>区 分</th><th>金 額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>収益の部</td><td>20,699</td></tr> <tr><td> 営業収益</td><td>20,462</td></tr> <tr><td> 医業収益</td><td>19,104</td></tr> <tr><td> 運営費負担金収益</td><td>1,029</td></tr> <tr><td> 資産見返負債戻入</td><td>17</td></tr> <tr><td> その他営業収益</td><td>311</td></tr> <tr><td> 営業外収益</td><td>236</td></tr> <tr><td> 運営費負担金収益</td><td>162</td></tr> <tr><td> その他営業外収益</td><td>74</td></tr> <tr><td> 臨時利益</td><td>0</td></tr> <tr><td>費用の部</td><td>20,047</td></tr> <tr><td> 営業費用</td><td>19,367</td></tr> <tr><td> 医業費用</td><td>19,039</td></tr> <tr><td> 給与費</td><td>8,894</td></tr> <tr><td> 材料費</td><td>5,379</td></tr> <tr><td> 経費</td><td>2,805</td></tr> <tr><td> 減価償却費</td><td>1,753</td></tr> <tr><td> 研究研修費</td><td>206</td></tr> </tbody> </table>		区 分	金 額	収益の部	20,699	営業収益	20,462	医業収益	19,104	運営費負担金収益	1,029	資産見返負債戻入	17	その他営業収益	311	営業外収益	236	運営費負担金収益	162	その他営業外収益	74	臨時利益	0	費用の部	20,047	営業費用	19,367	医業費用	19,039	給与費	8,894	材料費	5,379	経費	2,805	減価償却費	1,753	研究研修費	206	<table border="1"> <thead> <tr><th>区 分</th><th>金 額</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>収益の部</td><td>20,869</td></tr> <tr><td> 営業収益</td><td>20,530</td></tr> <tr><td> 医業収益</td><td>19,170</td></tr> <tr><td> 運営費負担金収益</td><td>973</td></tr> <tr><td> 資産見返負債戻入</td><td>17</td></tr> <tr><td> その他営業収益</td><td>369</td></tr> <tr><td> 営業外収益</td><td>234</td></tr> <tr><td> 運営費負担金収益</td><td>161</td></tr> <tr><td> その他営業外収益</td><td>73</td></tr> <tr><td> 臨時利益</td><td>104</td></tr> <tr><td>費用の部</td><td>20,308</td></tr> <tr><td> 営業費用</td><td>19,416</td></tr> <tr><td> 医業費用</td><td>19,092</td></tr> <tr><td> 給与費</td><td>8,808</td></tr> <tr><td> 材料費</td><td>5,550</td></tr> <tr><td> 経費</td><td>2,805</td></tr> <tr><td> 減価償却費</td><td>1,751</td></tr> </tbody> </table>			区 分	金 額	収益の部	20,869	営業収益	20,530	医業収益	19,170	運営費負担金収益	973	資産見返負債戻入	17	その他営業収益	369	営業外収益	234	運営費負担金収益	161	その他営業外収益	73	臨時利益	104	費用の部	20,308	営業費用	19,416	医業費用	19,092	給与費	8,808	材料費	5,550	経費	2,805	減価償却費	1,751	
区 分	金 額																																																																																																																								
収益の部	81,130																																																																																																																								
営業収益	79,937																																																																																																																								
医業収益	74,673																																																																																																																								
運営費負担金収益	3,816																																																																																																																								
資産見返負債戻入	50																																																																																																																								
その他営業収益	1,399																																																																																																																								
営業外収益	1,153																																																																																																																								
運営費負担金収益	1,017																																																																																																																								
その他営業外収益	136																																																																																																																								
臨時利益	39																																																																																																																								
費用の部	85,259																																																																																																																								
営業費用	80,911																																																																																																																								
医業費用	79,528																																																																																																																								
給与費	36,070																																																																																																																								
材料費	21,570																																																																																																																								
経費	11,985																																																																																																																								
減価償却費	9,428																																																																																																																								
区 分	金 額																																																																																																																								
収益の部	20,699																																																																																																																								
営業収益	20,462																																																																																																																								
医業収益	19,104																																																																																																																								
運営費負担金収益	1,029																																																																																																																								
資産見返負債戻入	17																																																																																																																								
その他営業収益	311																																																																																																																								
営業外収益	236																																																																																																																								
運営費負担金収益	162																																																																																																																								
その他営業外収益	74																																																																																																																								
臨時利益	0																																																																																																																								
費用の部	20,047																																																																																																																								
営業費用	19,367																																																																																																																								
医業費用	19,039																																																																																																																								
給与費	8,894																																																																																																																								
材料費	5,379																																																																																																																								
経費	2,805																																																																																																																								
減価償却費	1,753																																																																																																																								
研究研修費	206																																																																																																																								
区 分	金 額																																																																																																																								
収益の部	20,869																																																																																																																								
営業収益	20,530																																																																																																																								
医業収益	19,170																																																																																																																								
運営費負担金収益	973																																																																																																																								
資産見返負債戻入	17																																																																																																																								
その他営業収益	369																																																																																																																								
営業外収益	234																																																																																																																								
運営費負担金収益	161																																																																																																																								
その他営業外収益	73																																																																																																																								
臨時利益	104																																																																																																																								
費用の部	20,308																																																																																																																								
営業費用	19,416																																																																																																																								
医業費用	19,092																																																																																																																								
給与費	8,808																																																																																																																								
材料費	5,550																																																																																																																								
経費	2,805																																																																																																																								
減価償却費	1,751																																																																																																																								

項目 No.	中期計画		過年度の検証結果				H25 年度計画		年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証	
			H22	H23	H24	H25			業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項		自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
	給与費支出	37,458					給与費支出	9,033		給与費支出	8,904		
	材料費支出	22,621					材料費支出	5,719		材料費支出	5,766		
	その他の業務活動 による支出	14,895					その他の業務活動 による支出	3,415		その他の業務活動 による支出	3,206		
	投資活動による支出	5,554					投資活動による支出	943		投資活動による支出	1,051		
	有形固定資産の取 得による支出	5,554					有形固定資産の取 得による支出	943		有形固定資産の取 得による支出	1,021		
	その他の投資活動 による支出	0					その他の投資活動 による支出	0		その他の投資活動 による支出	30		
	財務活動による支出	10,826					財務活動による支出	2,759		財務活動による支出	2,692		
	長期借入金の返済 による支出	0					長期借入金の返済 による支出	115		長期借入金の返済 による支出	114		
	移行前地方債償還 債務の償還による 支出	10,826					移行前地方債償還 債務の償還による 支出	2,577		移行前地方債償還 債務の償還による 支出	2,577		
	その他の財務活動 による支出	0					その他の財務活動 による支出	67		その他の財務活動 による支出	0		
	翌事業年度への繰越金	9,527					翌事業年度への繰越金	13,410		翌事業年度への繰越金	13,204		
	(注記 略)						(注記 略)			(注記 略)			

4 短期借入金の限度額

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
一	4-1 限度額 10億円 4-2 想定される短期借入金の発生理由 ・運営費負担金の受入れ遅延、賞与の支給等による 資金不足への対応 ・退職手当等突発的な出費への対応	/	/	/	/	限度額 10億円 想定される短期借入金の発生理由 ・運営費負担金の受入れ遅延、賞与の支給等による 資金不足への対応 ・退職手当等突発的な出費への対応	・限度額 10億円	/	/	

5 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画

一	なし	/	/	/	/	なし	・該当なし	/	/
---	----	---	---	---	---	----	-------	---	---

6 剰余金の使途

一	決算において剰余金が発生した場合は、病院施設の整備、医療機器の購入等に充てる。	/	/	/	/	決算において剰余金が発生した場合は、病院施設の整備、医療機器の購入等に充てる。	・該当なし	/	/
---	---	---	---	---	---	---	-------	---	---

8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項
8-1 職員の就労環境の向上

中期 目標	職員の実情等を考慮した柔軟な勤務形態の導入、院内保育施設等の整備・拡充といった育児支援体制の充実など、日常業務の質の向上を図るために必要な職員の就労環境の整備に努めること。 さらに、地方独立行政法人制度の特徴を十分に活かし、医療従事者を必要な人数確保することによって、病院職員全体の勤務環境を改善すること。
----------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
60	・職員の専門的能力が十分に活用される効果的な病院運営のため、病院職員の最適な勤務環境創出に努める。	III	III	III		・職員の専門的能力が十分に活用される効果的な病院運営のため、医師事務作業補助職員や看護事務補助職員を始めとする専門職の雇用を拡充し、病院職員の最適な勤務環境の改善に努める。	・専門職の雇用を拡充し、病院職員の最適な勤務環境の改善に努めた。 ・医療クラーク：51人、病棟等看護クラーク：28人（平成25年度末）	IV		

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																		
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																	
							り計画』に則り、メンタルヘルス対策の推進を図った。 ・院内に職員が相談しやすい相談窓口（さわやか健康相談）を設置するとともに専任の臨床心理士を雇用し、内部の相談窓口の充実を図った。 ・外部の相談窓口としては、「心の健康相談」事業を引き続き笠松クリニック及び県精神保健福祉センターで実施した。																				
63	・医師住宅、看護師寮などの福利厚生施設を充実したり、24時間保育の実施に向け、夜間保育を整備するなど病院の施設・設備を整備することで、ゆとりある職場環境を創造し、職員が安全かつ安心して勤務できる勤務環境づくりに努める。	III	III	III	・医師住宅、看護師寮などの福利厚生施設の整備や、24時間保育の実施に向け、夜間保育ができる環境を整備するなど病院の施設・設備の整備について検討し、ゆとりある職場環境を創造し、職員が安全かつ安心して勤務できる勤務環境づくりに取り組む。	・医師住宅の浄化槽保守点検、清掃等適切な管理に努めた。 ・平成24年2月1日から24時間保育の受入を開始している。 ・平成25年4月1日に保育料を月額から日額へ改定を行い、利便性を向上させた。	III																				
64	・職員が高い意欲を持ち、能力を発揮できる病院を目指し、学会等へ参加する機会の確保と、病院内における研修会、講演会等の開催に努める。	III	III	III	・職員が高い意欲を持ち、能力を発揮できる病院を目指し、学会等への参加を支援し、病院内における研修会、講演会等の開催回数を増やす。	・職員が高い意欲を持ち、能力を発揮できる病院を目指し、独法化後、法人全体として「職員教育研修体系」を策定し、これに基づき全職種を対象とした「平成25年度新規採用者職員研修」を計画した。 ・病院機能評価における重要と定義される分野についての研修会を法人全体で下記のとおり実施した。	III																				
							<table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>部門/回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療安全について</td> <td>全体14回、中央リハビリテーション部2回</td> </tr> <tr> <td>感染防止について</td> <td>全体4回、中央リハビリテーション部1回</td> </tr> <tr> <td>接遇研修について</td> <td>全体2回、看護部1回</td> </tr> <tr> <td>個人情報について</td> <td>全体1回</td> </tr> <tr> <td>情報セキュリティについて</td> <td>全体1回</td> </tr> <tr> <td>母乳育児支援について</td> <td>全体1回</td> </tr> <tr> <td>穏和ケアについて</td> <td>全体3回、看護部5回</td> </tr> <tr> <td>児童虐待予防について</td> <td>全体1回</td> </tr> </tbody> </table>	内容	部門/回数	医療安全について	全体14回、中央リハビリテーション部2回	感染防止について	全体4回、中央リハビリテーション部1回	接遇研修について	全体2回、看護部1回	個人情報について	全体1回	情報セキュリティについて	全体1回	母乳育児支援について	全体1回	穏和ケアについて	全体3回、看護部5回	児童虐待予防について	全体1回		
内容	部門/回数																										
医療安全について	全体14回、中央リハビリテーション部2回																										
感染防止について	全体4回、中央リハビリテーション部1回																										
接遇研修について	全体2回、看護部1回																										
個人情報について	全体1回																										
情報セキュリティについて	全体1回																										
母乳育児支援について	全体1回																										
穏和ケアについて	全体3回、看護部5回																										
児童虐待予防について	全体1回																										

8-2 県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項

中期 目標	人事交流など、県及び県の設立した他の地方独立行政法人との連携を推進すること。
----------	--

項目 No.	中期計画	過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価				評価委員会の検証																																																																							
		H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																																								
65	医師、看護師やコメディカルなどの医療従事者の人事交流など、県及び県が設立した他の地方独立行政法人との連携を推進する。	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ		医師、看護師やコメディカルなどの医療従事者の人事交流など、県及び県が設立した他の地方独立行政法人との連携を推進する。	職員の他法人への出向状況 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>准看護師</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>10</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>13</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> 他法人職員の受入状況 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>歯科医師</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>1</td> <td>2(3)</td> <td>2(1)</td> <td>2(1)</td> </tr> <tr> <td>准看護師</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2</td> <td>4(3)</td> <td>3(1)</td> <td>3(1)</td> </tr> </tbody> </table> 看護師欄にある（ ）は、助産師数					H22	H23	H24	H25	医師	—	—	—	—	歯科医師	—	—	—	—	看護師	3	3	3	3	准看護師	—	—	—	—	コメディカル	10	4	2	3	合計	13	7	5	6		H22	H23	H24	H25	医師	—	—	—	—	歯科医師	—	—	—	—	看護師	1	2(3)	2(1)	2(1)	准看護師	—	—	—	—	コメディカル	1	2	1	1	合計	2	4(3)	3(1)	3(1)	Ⅲ	
	H22	H23	H24	H25																																																																														
医師	—	—	—	—																																																																														
歯科医師	—	—	—	—																																																																														
看護師	3	3	3	3																																																																														
准看護師	—	—	—	—																																																																														
コメディカル	10	4	2	3																																																																														
合計	13	7	5	6																																																																														
	H22	H23	H24	H25																																																																														
医師	—	—	—	—																																																																														
歯科医師	—	—	—	—																																																																														
看護師	1	2(3)	2(1)	2(1)																																																																														
准看護師	—	—	—	—																																																																														
コメディカル	1	2	1	1																																																																														
合計	2	4(3)	3(1)	3(1)																																																																														

8-3 医療機器・施設整備に関する事項

中期目標	医療機器・施設整備については、費用対効果、県民の医療需要、医療技術の進展など総合的に勘案して計画的に実施すること。
------	---

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H25年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価			評価委員会の検証																	
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																	
66	<p>(1) 中期目標の期間における医療機器・施設整備に関する総投資額については、次のとおり</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設及び設備の内容</th> <th>予定額(単位:百万円)</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院施設、医療機器等整備</td> <td>5,554</td> <td>設立団体からの長期借入金等</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 医療機器・施設整備に当たっては、費用対効果、県民の医療需要、医療技術の進展などを総合的に判断し、高度先進医療機器(高速X線CT装置(MDCT)、MRI等)の整備、超音波室の増設等、着実に実施する。</p>	施設及び設備の内容	予定額(単位:百万円)	財源	病院施設、医療機器等整備	5,554	設立団体からの長期借入金等	III	III	III	<p>(1) 平成25年度における医療機器・施設整備に関する総投資額については、次のとおり</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設及び設備の内容</th> <th>予定額(単位:百万円)</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院施設、医療機器等整備</td> <td>1,261</td> <td>設立団体からの長期借入金等</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 医療機器・施設整備に当たっては、費用対効果、県民の医療需要、医療技術の進展などを総合的に判断し、高度先進医療機器(高速X線CT装置(MDCT)、MRI等)の整備、超音波室の増設等を検討する。</p>	施設及び設備の内容	予定額(単位:百万円)	財源	病院施設、医療機器等整備	1,261	設立団体からの長期借入金等	<p>(1) 平成25年度における医療機器・施設整備に関する総投資額については、次のとおり</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設及び設備の内容</th> <th>投資額(単位:百万円)</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院施設、医療機器等整備</td> <td>1,021</td> <td>設立団体からの長期借入金等</td> </tr> </tbody> </table> <p>医療機器については、計画どおりの整備を行っているが、器具備品類については、適切な整備を行った。</p> <p>(2) 医療機器・施設整備に当たっては、費用対効果、県民の医療需要、医療技術の進展などを総合的に判断し、カテーテルを使った手術と外科的な手術ができる施設(ハイブリッド手術システム)が完成し、高度先進医療機器(エキシマレーザー血管形成装置)を導入し、エキシマレーザー血管形成術を開始した。</p>	施設及び設備の内容	投資額(単位:百万円)	財源	病院施設、医療機器等整備	1,021	設立団体からの長期借入金等	III		
施設及び設備の内容	予定額(単位:百万円)	財源																									
病院施設、医療機器等整備	5,554	設立団体からの長期借入金等																									
施設及び設備の内容	予定額(単位:百万円)	財源																									
病院施設、医療機器等整備	1,261	設立団体からの長期借入金等																									
施設及び設備の内容	投資額(単位:百万円)	財源																									
病院施設、医療機器等整備	1,021	設立団体からの長期借入金等																									

8-4 法人が負担する債務の償還に関する事項

中期目標	法人は、岐阜県に対し、地方独立行政法人法第66条第1項に規定する地方債のうち、法人成立の日までに償還されていないものに相当する額の債務を負担すること。また、その債務の処理を確実に行うこと。
------	--

項目No.	中期計画	過年度の検証結果				H25年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証																																																						
		H22	H23	H24	H25		業務実績、自己評価の説明、特筆すべき事項	自己評価	検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項																																																					
67	<p>法人が岐阜県に対し負担する債務の償還を確実にやっていく。</p> <p>(単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>中期目標期間償還額</th> <th>次期以降償還額</th> <th>総債務償還額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>移行前地方債償還債務</td> <td>10,826</td> <td>9,088</td> <td>19,914</td> </tr> <tr> <td>長期借入金償還額</td> <td>0</td> <td>7,434</td> <td>7,434</td> </tr> </tbody> </table>	区分	中期目標期間償還額	次期以降償還額	総債務償還額	移行前地方債償還債務	10,826	9,088	19,914	長期借入金償還額	0	7,434	7,434	III	III	III		<p>法人が岐阜県に対し負担する債務の償還を確実にやっていく。</p> <p>・法人が岐阜県に対し負担する債務の償還を確実に実施した。</p> <p>債務の償還状況（合計）</p> <p>(単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22年</td> <td>1,419</td> <td>1,419</td> </tr> <tr> <td>23年</td> <td>5,366</td> <td>5,366</td> </tr> <tr> <td>24年</td> <td>805</td> <td>805</td> </tr> <tr> <td>25年</td> <td>2,577</td> <td>2,577</td> </tr> <tr> <td>26年</td> <td></td> <td>659</td> </tr> <tr> <td>中期計画期間計</td> <td>10,167</td> <td>10,826</td> </tr> </tbody> </table> <p>(内訳)</p> <p>移行前地方債償還債務 (単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>22年</td> <td>1,419</td> <td>1,419</td> </tr> <tr> <td>23年</td> <td>5,366</td> <td>5,366</td> </tr> <tr> <td>24年</td> <td>805</td> <td>805</td> </tr> <tr> <td>25年</td> <td>2,577</td> <td>2,577</td> </tr> <tr> <td>26年</td> <td></td> <td>659</td> </tr> <tr> <td>中期計画期間計</td> <td>10,167</td> <td>10,826</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績	計画	22年	1,419	1,419	23年	5,366	5,366	24年	805	805	25年	2,577	2,577	26年		659	中期計画期間計	10,167	10,826	年度	実績	計画	22年	1,419	1,419	23年	5,366	5,366	24年	805	805	25年	2,577	2,577	26年		659	中期計画期間計	10,167	10,826	III		
区分	中期目標期間償還額	次期以降償還額	総債務償還額																																																												
移行前地方債償還債務	10,826	9,088	19,914																																																												
長期借入金償還額	0	7,434	7,434																																																												
年度	実績	計画																																																													
22年	1,419	1,419																																																													
23年	5,366	5,366																																																													
24年	805	805																																																													
25年	2,577	2,577																																																													
26年		659																																																													
中期計画期間計	10,167	10,826																																																													
年度	実績	計画																																																													
22年	1,419	1,419																																																													
23年	5,366	5,366																																																													
24年	805	805																																																													
25年	2,577	2,577																																																													
26年		659																																																													
中期計画期間計	10,167	10,826																																																													

8-5 中期目標の期間を超える債務負担

項目 No.	中期計画					過年度の検証結果				H25 年度計画	年度計画に係る業務実績、法人の自己評価		評価委員会の検証	
						H22	H23	H24	H25		業務実績、 自己評価の説明、特筆すべき事項	自己 評価	検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
—	(単位：百万円)					—	—	—			—	—		
	区 分	契約期間	中期目標期 間事業費	次期以降 事業費	総事業費									
	新棟整 備事業	平成25年度 ～ 平成27年度	1,281	854	2,135									